

平成30年度
主要施策の説明に関する調書

主要施策の説明（一般会計）

- 事務事業は、款・項・目の順に掲載し、総合計画第3期基本計画の章・節・施策の番号を付しています。
- 本年度当初予算、前年度当初予算、前年度最終予算、前々年度決算、「事業内容」中の財源内訳は、それぞれ千円単位で記載しています。また、前年度最終予算は、平成29年度一般会計補正予算（第6号）後の額、前々年度決算は千円未満切り上げとしています。
- 前年度及び前々年度に予算計上が無い事業は、事業名横に【新規】と記載しています。ただし、平成29年度において、平成28年度からの繰越予算で事業執行を行った場合、継続事業扱いとしています。
- 「事業内容」中の財源内訳については、市債充当事業や新規事業について記載しています。
- 記載内容中「重点的に取り組む事項及び変更点」については、継続事業のみ記載しています。

款・項	目	事業・経費名	頁	新規
1	議会費			
1	議会費	1 議員報酬・手当・共済費	1	
		2 議員旅費	1	
		3 政務活動費交付金	1	
2	総務費			
1	総務管理費	1 一般管理費		
		1 国民保護協議会経費	2	
		2 いじめ調査委員会経費	2	
		3 市史編さん事業費	2	
		4 功労者・市民表彰経費	3	
		5 国際交流推進事業費	3	
		6 デンマーク友好都市中学生派遣交流事業費	3	
		7 職員研修経費	4	
		8 ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費	5	
		9 行政改革推進委員会経費	5	
		10 政治倫理審査会経費	5	
		11 職員倫理審査会経費	5	
		12 特別職報酬等審議会経費	6	
		13 行政不服審査会経費	6	
		14 旅券事務費	6	
	5 総務諸費	1 日本工学院北海道専門学校連携事業費	7	
		2 北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費	7	
		3 登別・白石・海老名姉妹都市交流事業費	7	
		4 四五都市連絡協議会少年スポーツ交流事業費	8	
	6 企画費	1 市民自治推進委員会経費	8	
		2 市民憲章推進事業補助金	9	
		3 市民憲章推進経費	9	
		4 コミュニティ助成事業補助金	9	
		5 東京登別げんきかい交流経費	10	
		6 ふるさと大使関係経費	10	
		7 移住促進経費	10	
		8 移住促進PR事業費	11	
	7 市民活動センター費	1 市民活動センター運営管理経費	11	
	9 行政情報費	1 広報広聴経費	12	
		2 北海道電子自治体共同システム運用経費	12	
		3 西いぶり広域連合共同電算事業負担金	13	
		4 地域情報化の推進	13	
		5 個人番号カード交付事業費	14	
	11 環境保全推進費	1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費	14	
		2 電気自動車普及促進事業費	14	
	12 男女共同参画推進費	1 男女共同参画社会づくり推進経費	15	
		2 民間シェルター運営補助金	15	
	13 幼稚園振興費	1 私立幼稚園就園奨励費補助金	16	
		2 私立幼稚園協会教職員研修費補助金	16	
		3 私立幼稚園教材教具費等補助金	16	
2	徴税费	3 徴収費		
		1 債権回収等推進事業費	17	
5	防災費	1 防災費		
		1 防災会議経費	17	
		2 防災対策強化事業費	17	
		3 高台避難誘導看板設置事業費	18	
		4 火山防災対策事業費	18	
		5 全国瞬時警報システム受信機等更新事業費	18	○

款・項	目	事業・経費名	頁	新規
3 民生費				
1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	1 社会福祉協議会補助金	19	
		2 民生委員児童委員活動経費	19	
		3 安心キット配付事業補助金	20	
		4 人権啓発活動事業費	20	○
		5 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）	20	
		6 生活困窮者自立支援事業費	21	
		7 日胆はまなす里親会補助金	21	
		8 室蘭登別防犯協会連合会助成金	21	
		9 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金	22	
		10 防犯灯設置事業補助金	22	
		11 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金	23	
		12 登別地区保護司会補助金	23	
		13 戦没者追悼式関係経費	23	
		14 無料法律相談業務委託料	24	
		15 生活交通路線維持対策事業費補助金	24	
		16 アイヌ文化普及啓発事業補助金	24	
		17 連合町内会助成金	25	
		18 町内会運営助成金	25	
	2 障害者福祉費	1 重度心身障害児介護手当支給経費	25	
		2 地域生活支援事業費	26	
		3 障害者介護給付費・訓練等給付費	29	
		4 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費	30	
		5 障害者補装具給付費	30	
		6 高額障害者福祉サービス経費	30	
		7 特別障害者手当等支給経費	30	
		8 障害認定審査会経費	31	
		9 自立支援医療費	31	
		10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金	31	
		11 障害者自立更生促進助成事業費	32	
		12 身体・知的障害者相談員設置事業費	32	
		13 肢体不自由児（者）父母の会補助金	32	
		14 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費	33	
		15 身体障害者自動車燃料費助成金	33	
		16 身体障害者福祉協会補助金	33	
		17 視力障害者協会補助金	34	
		18 手をつなぐ育成会補助金	34	
		19 障害者等生活支援経費	34	
		20 軽度・中等度難聴児補聴器給付費	35	
		21 第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会補助金	35	○
	3 医療助成費	1 重度心身障害者医療費助成経費	35	
		2 ひとり親家庭等医療費助成経費	36	
		3 乳幼児等医療費助成経費	36	
		4 未熟児養育医療給付経費	36	
	7 消費生活費	1 消費者行政推進経費	37	
		2 消費生活展開催補助金	37	
		3 消費者協会運営助成金	37	
		4 消費者被害防止ネットワーク事業費	38	
2 高齢者福祉費	1 高齢者福祉総務費	1 老人クラブ連合会補助金	38	
		2 老人クラブ運営補助金	39	
		3 敬老行事補助金	39	
		4 老人趣味の作業所運営経費	39	
		5 老人憩の家維持経費	39	

款・項	目	事業・経費名	頁	新規	
2 高齢者福祉費	1 高齢者福祉総務費	6 養護老人ホーム整備事業費補助金	40		
		7 介護サービス人材確保対策事業費	40		
	2 高齢者保健福祉費	1 外国人高齢者・障害者福祉給付金	41		
		2 老人措置関係経費	41		
		3 高齢者等緊急通報機器設置経費	41		
		4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金	41		
	3 後期高齢者医療費	1 後期高齢者保健事業費	42		
		2 後期高齢者健康診査経費	42		
		3 後期高齢者医療療養給付費負担金	42		
3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	1 ひとり親家庭等自立支援給付事業費	43		
		2 子育て支援センター運営経費	44		
		3 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費	44		
		4 産後子育てママ派遣事業費	44		
		5 家庭児童相談室・母子父子自立支援員経費	44		
		6 富岸子育てひろば運営委託料	45		
		7 登別子育て支援センター運営管理業務委託料	45		
		8 子ども・子育て会議経費	45		
		9 児童入所施設措置費（助産施設分）	46		
		10 こどもショートステイ経費	46		
		11 災害遺児手当支給経費	46		
		12 児童手当支給経費	47		
		13 児童扶養手当支給経費	47		
		14 児童虐待防止啓発事業費	47		
	2 保育所費	1 普通保育所運営管理経費	48		
		2 登別保育所運営管理業務委託料	48		
		3 延長保育実施経費	48		
		4 休日保育実施経費	49		
	3 のぞみ園費	1 のぞみ園運営管理経費	49		
	4 児童館費	1 児童館・児童センター運営管理経費	49		
		2 鷺別児童館移転改築事業費	50		
		3 旧鷺別児童館除却事業費	50	○	
	5 放課後児童育成費	1 放課後児童クラブ運営経費	50		
	6 障害児福祉費	1 障害児通所給付費	51		
	7 教育・保育給付費	1 特定教育・保育施設等給付費	51		
		2 一時預かり事業費	52		
		3 延長保育事業費	52		
4 特定教育・保育補足給付費		52			
4 生活保護費	1 生活保護総務費	1 生活保護適正実施推進事業費	53		
		2 被保護者就労支援事業費	53		
	2 扶助費	1 生活保護扶助費	53		
5 交通安全費	1 交通安全総務費	1 交通安全推進経費	54		
		2 交通安全協会交付金	54		
		3 交通傷害保険料	55		
		4 交通安全対策会議経費	55		
	2 交通安全施設費	1 カーブミラー設置費	55		
		2 照明灯設置事業費	55		
	6 災害救助費	1 災害救助費	1 災害見舞金	56	
	4 衛生費				
1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	1 北海道難病連運営事業助成金	57		
		2 母と子の健康づくり事業費	57		
		3 フッ化物洗口推進事業補助金	59	○	

款・項	目	事業・経費名	頁	新規	
1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	4 地域医療対策等経費	59		
		5 市立室蘭看護専門学院整備費負担金	59		
		6 広域救急医療対策事業負担金	59		
		7 初期救急医療対策事業負担金	60		
		8 小児救急医療支援事業負担金	60		
		9 周産期医療確保事業負担金	60		
		10 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費	61		
		11 特定不妊治療費助成事業費	61		
		2 予防費	1 エキノコックス症対策経費	61	
			2 予防接種経費	62	
			3 野犬掃討・畜犬登録等経費	62	
	3 保健事業費	1 健康増進事業費	63		
		2 はつらつママリフレッシュ講座経費	64		
		3 若い世代の健康診査事業費	64		
	4 環境衛生費	1 葬斎場運営管理経費	65		
		2 葬斎場中間改修事業費	65		
		3 墓地管理経費	65		
		4 墓参バス借上料	66		
		5 共同墓整備事業費	66		
	5 公害対策費	1 公害対策経費	66		
		2 自動車騒音常時監視委託料	67		
	2 清掃費	1 清掃総務費	1 衛生団体連合会運営事業助成金	67	
			2 資源回収団体奨励金	68	
			3 ごみ減量化推進等経費	68	
			4 リサイクルまつり開催経費	69	
			5 不法投棄等防止経費	69	
		2 塵芥収集費	1 塵芥収集運搬業務委託料	70	
3 塵芥処理費		1 クリニクルセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費	70		
		2 クリニクルセンター中間改修事業費	70		
4 し尿処理費		1 し尿収集業務委託料	71		
		2 し尿投入施設維持管理経費	71		
5 労働費					
1 労働諸費		1 労働諸費	1 登別市シルバー人材センター補助金	72	
			2 高校生就職フォローアップ事業費	72	
	3 雇用対策救援事業費		72		
	4 地域職業相談室運営管理経費		73		
	5 若年者等キャリアカウンセリング事業費		73		
	6 労働相談事業助成金		73		
	7 勤労者特別融資積立金		74		
	4 職業訓練センター費	1 事業内職業訓練助成金	74		
6 農林水産業費					
1 農業費	2 農業総務費	1 傷病鳥獣等保護経費	75		
		2 有害鳥獣駆除経費	75		
		3 農業振興特別補助金	75		
		4 農業次世代人材投資事業費（経営開始型）	75		
		5 登別産一次産品普及促進事業費	76		
	3 畜産費	1 胆振西部乳牛検定組合補助金	76		
		2 酪農ヘルパー事業運営補助金	77		
		3 牧場管理経費	77		
		4 草地生産力向上支援特別対策事業費	77		
	4 農地費	1 農業用施設等管理経費	78		

款・項	目	事業・経費名	頁	新規	
1 農業費	5 中山間地域 対 策 費	1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費	78		
		6 札内高原館費	1 札内高原館運営管理経費	78	
	2 林業費	1 林業振興費	1 民有林造林推進事業補助金	79	
			2 森林愛護啓蒙事業補助金	79	
			3 林業振興経費	80	
	3 水産業費	1 水産業総務費	1 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金	80	
			2 登別救難所運営事業補助金	80	
			3 漁業近代化資金利子補給金	81	
			4 ホッキ空貝処分事業補助金	81	
		2 漁港管理費	1 登別漁港維持管理事業補助金	81	
			2 鷺別漁港維持管理事業補助金	81	
	3 鷺別漁港機能保全事業負担金	82			
7 商工費					
1 商工費	1 商工総務費	1 登別ブランド推進事業補助金	83		
		2 ものづくり創出支援事業負担金	83		
		3 創業支援事業費	84		
		4 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費	84		
		5 商談会等出展補助金	84		
		6 中小企業相談事業補助金	85		
		7 中小企業特別融資利子補給金	85		
		8 中小企業特別融資積立金	86		
		9 住宅改良促進特別融資積立金	86		
		10 再生可能エネルギー普及促進事業費	86		
		11 商店街活性化事業補助金	87		
		12 中小企業者等人材育成事業負担金	87	○	
2 観光費	1 観光総務費	1 登別国際観光コンベンション協会助成金	88		
		2 フラワーファンタジーロード事業補助金	89		
		3 インフォメーションプラザ事業補助金	89		
		4 観光振興特別対策事業補助金	89		
		5 観光客誘客促進事業費	90		
		6 観光ホスピタリティ推進事業補助金	91		
		7 市民が育む登別観光事業費	91		
		8 道内周遊ルート構築事業費	91		
		9 J R 登別駅エレベーター等設置調査費負担金	92	○	
		10 登別温泉開湯160年記念事業補助金	92	○	
	2 観光施設費	1 観光施設維持管理経費	93		
		2 観光施設維持管理委託料	93		
		3 地獄谷木道改修事業費	93		
3 温泉供給 管 理 費	1 温泉供給施設維持管理経費	94			
8 土木費					
1 土木 管 理 費	1 土木総務費	1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費	95		
	2 道路 橋 梁 費	1 道路橋梁 総 務 費	1 道路台帳図作成委託料	95	
2 市道用地確定測量委託料			95		
3 市道用地買収費			96		
2 道路維持費		1 ロードマーク設置費	96		
		2 除雪対策経費	96		
		3 冬道対策経費	96		
4 市道常時補修費	97				
5 道路付属施設整備事業費	97				
6 除雪機械更新事業費	97				

款・項	目	事業・経費名	頁	新規
2 道路 橋梁費	3 道路新設 改良費	1 道路排水対策事業費	98	
		2 市道舗装排水整備事業費	98	
		3 道道上登別室蘭線東通改良受託事業費	99	
	4 橋梁維持費	1 橋梁維持補修経費	99	
		2 橋梁長寿命化事業費	100	
	3 河川費	2 河川維持費	1 河川維持補修経費	100
4 都市 計画費	1 都市計画 総務費	1 空家等対策事業費	100	
		2 都市計画マスタープラン更新事業費	101	○
		3 景観みどり推進経費	101	
	2 公園管理費	1 街区公園等清掃交付金	102	
		2 公園維持管理経費	102	
		3 都市公園施設長寿命化事業費	103	
3 緑化推進費	1 緑化推進経費	103		
5 住宅費	1 住宅管理費	1 市営住宅非常用照明改修事業費	104	○
		2 市営住宅等長寿命化計画策定事業費	104	○
	2 建築指導費	1 民間建築物の耐震化に対する支援	105	
	3 住宅建設費	1 市営住宅（幌別東団地）外壁改修事業費	106	
		2 市営住宅（千代の台団地）建替事業費	106	
		3 市営住宅（登別温泉団地）浄化槽改修事業費	107	
		4 市営住宅物置改修事業費	107	
9 消防費				
1 消防費	1 常備消防費	1 救急救命士養成事業費	108	
	3 消防施設費	1 消防支署新庁舎建設事業費	108	
		2 水槽付消防ポンプ自動車更新事業費	108	
10 教育費				
1 教育 総務費	3 指導教育 研究費	1 不登校・いじめ等対策経費	110	
		2 スクールカウンセラー活用事業費	110	
		3 心の教室相談員活動経費	110	
		4 スクールソーシャルワーカー活用事業費	111	
		5 いじめ重大事案対策委員会経費	111	
		6 学校図書館司書配置事業費	111	
		7 特色ある学校づくり推進経費	112	
		8 自然体験学習推進経費	112	
		9 小中学校情報教育推進事業費	112	
		10 コミュニティスクール活動支援事業費	113	
		11 言語障害通級指導教室運営経費	113	
		12 特別支援教育振興費	113	
		13 教育研究会運営事業補助金	114	
		14 教育実践研究奨励経費	114	
		15 教育指導研究奨励等経費	114	
		16 学校図書システム広域化事業費	115	
		17 情報教育システム広域化事業費	115	
	4 交流教育 推進費	1 外国青年招致経費	115	
	5 生涯学習 推進費	1 学校支援地域本部事業費	116	
	6 教育財産 管理費	1 教育施設運営管理委託料 （市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場）	116	
		2 市民会館整備事業費	116	
	7 教育諸費	1 児童生徒健康診断等経費	117	
		2 児童生徒遠距離通学費補助金	117	
		3 スクールバス・スクールタクシー運行経費	117	
		4 鷺別小学校落成記念式典経費	118	○

款・項	目	事業・経費名	頁	新規	
2 小学校費	1 学校管理費	1 スキー授業推進経費	118		
		2 特別活動推進経費	118		
		3 特別支援教育推進経費	119		
	2 施設管理費	1 小学校地下タンク整備事業費	119		
		2 小学校受変電設備整備事業費	119	○	
		3 幌別西小学校耐震化・改修事業費	120		
		4 富岸小学校耐震化・改修事業費	120		
		5 登別小学校耐震化・改修事業費	120	○	
	3 教育振興費	1 要保護・準要保護就学援助費	121		
		2 特別支援教育就学奨励費	121		
	3 中学校費	1 学校管理費	1 中学校体育連盟助成金	121	
			2 特別活動推進経費	122	
3 特別支援教育推進経費			122		
2 施設管理費		1 中学校地下タンク整備事業費	122		
		2 鷲別中学校グラウンドフェンス等整備事業費	123	○	
3 教育振興費		1 要保護・準要保護就学援助費	123		
	2 特別支援教育就学奨励費	123			
4 社会教育費	1 社会教育総務費	1 胆振女性リーダー養成研修経費	124		
		2 市民生涯学習推進講座経費	124		
		3 PTA連合会助成金	125		
		4 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金	125		
		5 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金	126		
	2 婦人研修施設費	1 婦人研修の家維持管理経費	126		
	4 図書館費	1 図書館運営管理経費	126		
		2 図書館ネットワークサービス広域化事業費	127		
		3 アーニス分館運営管理経費	127		
		4 ブックスタート・ライブラリースタート事業費	128		
	5 青少年対策費	1 放課後子ども教室推進事業費	128		
		2 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」	128		
		3 少年の主張大会経費	129		
		4 青少年育成指導経費	129		
		5 成人祭経費	129		
		6 子ども会活動振興助成金	130		
	6 郷土資料館費	1 郷土資料館運営管理経費	130		
	7 文化振興費	1 文化振興助成金	130		
		2 児童・生徒文化振興助成金	131		
		3 西いぶり定住自立圏文化事業負担金	131		
		4 文化伝承館運営管理経費	131		
		5 のぼりべつ文化交流館運営管理経費	132		
		6 文化財保護経費	132		
		7 アイヌ文化講座経費	133		
		8 アイヌ民族文化祭2018補助金	133		
	8 自然体験学習施設費	1 ネイチャーセンター運営管理経費	133		
	5 保健体育費	1 保健体育総務費	1 子ども健康・体力改善事業費	134	
			2 体育協会助成金	134	
			3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費	134	
			4 スポーツ少年団育成助成金	135	
			5 児童生徒スポーツ振興助成金	135	
			6 スポーツ推進委員会経費	135	
			7 6市町スポーツ交流会事業費	136	

款・項	目	事業・経費名	頁	新規
5 保健 体育費	1 保健体育 総務費	8 学校開放事業費	136	
		9 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業費	136	
	2 体育施設費	1 岡志別の森運動公園等運営管理経費	137	
	3 青少年会館費	1 青少年会館運営管理経費	137	
	4 市民プール費	1 市民プール運営管理経費	137	
2 市民プール整備事業費		138		
11 公債費				
1 公債費	1 元 金	1 市債償還元金	139	
		2 利 子	1 市債償還利子	139
		2 一時借入金利子	139	
	3 公債諸費	1 公債発行等手数料	139	
12 給与費				
1 給与費	1 職員給与費	1 職員等給与経費・非常勤職員等公務災害経費	140	

【特別会計】

国民健康保険特別会計	142
学校給食事業特別会計	144
簡易水道事業特別会計	144
介護保険特別会計	145
カルルス温泉スキー場事業特別会計	148
後期高齢者医療特別会計	148

【企業会計】

水道事業会計	149
下水道事業会計	150

【一般会計】

第1款 議会費 項1 議会費

目1 議会費 (予算説明書P51～P52)

1 議員報酬・手当・共済費 (議会事務局総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
—	—	—	133,720	134,103	134,818	131,028

2 議員旅費 (議会事務局総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
—	—	—	3,796	4,537	3,919	2,742
目的			総務・教育委員会、生活・福祉委員会、観光・経済委員会等の行政視察については、各委員会の所管事項について、先進地視察を通して、充実した政策提案につなげるとともに課題解決の方策を探ることを目的とする。			
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・ 常任委員会行政視察旅費 1,800千円 ・ 費用弁償、その他旅費 1,996千円 			

3 政務活動費交付金 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	4,560	4,560	4,560	3,776
目的			議員の調査研究活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			議員の調査研究に必要な経費の一部について、各会派に対し所属議員1人当たり月額2万円を交付する。			

第2款 総務費 項1 総務管理費

目1 一般管理費 (予算説明書P53～P56)

1 国民保護協議会経費 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	112	56	56	13
目的			武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、市民の保護のための措置に関する重要事項の審議、登別市国民保護計画の変更などの施策を総合的に推進することを目的とする。			
事業内容			市民の保護に関する重要事項を審議する場合や、国及び北海道が策定する国民の保護に関する計画との整合性を図るため、登別市国民保護計画を変更する場合に、登別市国民保護協議会条例に基づき、諮問機関である同協議会を開催する。 ・委員数 20人 ・開催回数 2回			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民の生命、身体及び財産を守るため、関係機関と連携し、迅速に武力攻撃事態等へ対処する体制づくりに努める。			

2 いじめ調査委員会経費 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	90	91	91	0
目的			いじめ防止対策推進法の規定により、いじめによる重大事態に係る調査について、その内容について調査審議を行うことにより、当該調査の公平性、中立性及び透明性を確保することを目的とする。			
事業内容			市立の小中学校において、いじめに係る重大事態が発生した際にいじめ防止対策推進法の規定により、重大事態への対処、再発防止等に必要な取組について再調査を行う。 ・委員数 5人 ・開催回数 3回			
重点的に取り組む事項及び変更点			いじめに係る重大事態が発生した際には、委員会を開催し、いじめによる重大事態に係る調査について調査審議を行う。			

3 市史編さん事業費 (総務部市史編さんG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	1,566	1,710	886	250
目的			郷土に関する有形無形の歴史資料を整理保存するとともに、先人の足跡を長く後世に継承する市史を刊行することにより、郷土・登別に対する市民の理解と関心を深め、今後のまちづくりに資することを目的とする。			
事業内容			市制施行50周年を記念した新しい市史の編さんに向けて、登別市史編さん委員会(委員数10人)において原稿の内容等			

	<p>について調査審議するとともに、次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集や聞き取り調査の実施 ・原稿の執筆等 ・市史編さんだよりの発行
重点的に取組む事項及び変更点	引き続き、資料の収集や聞き取り調査等に取り組み、それらを基に原稿の執筆を進めるとともに、市史編さんだよりを発行し、事業への参加等を市民に呼びかける。

4 功労者・市民表彰経費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	2,624	2,569	763	652
目的			市民の総意による感謝の反映として、市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とする。			
事業内容			市勢の振興発展に寄与した方や団体を招き、功労章や表彰盾等を授与する表彰式を11月3日に開催する。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き実施する。			

5 国際交流推進事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	2	589	510	290	39
目的			登別市における国際交流を推進し、市民の国際理解を深めることを目的とする。			
事業内容			<p>国際交流団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施するほか、友好都市協定を締結している海外都市との交流事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講座の開催（講座内容：諸外国の文化・風土の紹介・駐日デンマーク王国大使講演会など） ・サイパン市中学生の受入れ及び交流 ・友好都市からの政府訪問団や民間訪問団、研修生の受入れ 			
重点的に取組む事項及び変更点			<p>国際交流団体等との連携や国際理解講座の講座内容の充実及び周知に努めることで市民の国際理解を図る。</p> <p>また、駐日デンマーク王国大使による講演会等を開催するなど、市民のデンマーク王国への理解を深める。</p>			

6 デンマーク友好都市中学生派遣交流事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	2	2,558	2,428	1,567	2,126
目的			登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進することを目的とする。			

事業内容	<p>ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から参加希望者を募集し、ファボー・ミッドフュン市に派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣者 市内中学校及び明日中等教育学校前期課程生徒9人、市民サポーター（公募）1人、市職員1人、市内中学校教諭1人 ・出国前の活動 結団式の開催及び英会話やデンマークの文化・歴史、派遣先でのプレゼンテーションなどの事前研修（10回）の実施 ・派遣先での活動内容 学校訪問、授業体験、生徒との交流、ホームステイによる生活体験、歴史的施設などの見学 ・帰国後の活動 報告書の作成などの事後研修（6回）の実施及び帰国報告会の開催
重点的に取り組む事項及び変更点	派遣経験者等の意見等をもとに、必要な見直しを行い、事業内容の充実に努める。

7 職員研修経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	7,118	7,134	7,134	5,505
目的			職員の資質及び職務遂行能力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>職員数が減少している中、職員一人ひとりの能力の向上が一層求められていることから、資質の向上や人材育成に向けた研修に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本研修 18件、受講予定者数 400人 ※主な研修 新規採用職員研修、監督者政策立案研修、管理職コーチング研修、メンタルヘルス（セルフケア・ラインケア）研修、人事評価者研修 ・特別研修 22件、受講予定者数 216人 ※主な研修 市町村アカデミー、北海道市町村職員研修センター等での専門実務研修、新規採用者の指導者養成研修、タイムマネジメント研修、コーチング入門研修 ・自己啓発研修 職員の資質向上などを目的とした自主的な研修受講や研究活動に対し、経費の一部を助成する。 			
重点的に取り組む事項及び変更点			基本研修、専門実務研修、一般実務研修、能力開発研修の受講機会を充実するとともに、若年層を対象としたコーチング入門研修、新規採用者の指導者養成研修などを実施し、職員の更なる資質の向上と職務遂行能力の向上を図る。			

8 ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	88,487	86,280	86,280	69,296
目的			登別市を応援する人々からの寄附金を財源に、寄附者の意思を受け、活力あるまちづくりに資することを目的とする。			
事業内容			ふるさとまちづくり応援寄附金の寄附者に対して、感謝の気持ちを込めて特産品等を贈呈する。また、魅力ある返礼品やサービスの充実に努める。			
重点的に取り組む事項及び変更点			より効果的な情報発信に努める。			

9 行政改革推進委員会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	303	297	297	86
目的			社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な行政システムの確立と推進を図ることを目的とする。			
事業内容			登別市行政改革推進委員会条例に基づき、登別市行政改革推進委員会を設置し、行政改革大綱の策定及びその推進などに関する審議等を行う。 ・委員数 17人 ・開催回数 3回			
重点的に取り組む事項及び変更点			「登別市行財政改革プラン2014」に基づく「登別市行財政改革実施計画」の進捗状況等について、調査審議する。			

10 政治倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	35	35	35	18
目的			市長等及び市議会議員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容			登別市長等政治倫理条例及び登別市議会議員政治倫理条例に基づき、登別市政治倫理審査会を設置し、審議等を行う。 ・委員数 3人 ・開催回数 2回			
重点的に取り組む事項及び変更点			必要に応じ審査会を開催し、当該案件について調査審議する。			

11 職員倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	35	35	35	0
目的			職員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容			登別市職員倫理条例に基づき、登別市職員倫理審査会を設置し、審議等を行う。 ・委員数 3人 ・開催回数 2回			

重点的に取り組む 事項及び変更点	必要に応じ審査会を開催し、当該案件について調査審議する。
---------------------	------------------------------

12 特別職報酬等審議会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	131	131	131	0
目的			議会の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額を適正な額に定め、市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容			<p>登別市特別職報酬等審議会条例に基づき、審議会を設置し、議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額について審議等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 7人 ・開催回数 3回 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			必要に応じ審議会を開催し、当該案件について調査審議する。			

13 行政不服審査会経費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	86	86	86	29
目的			市が行った行政処分その他公権力の行使に当たる行為に関し、市民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保することを目的とする。			
事業内容			<p>行政不服審査法において第三者機関への諮問が義務付けられたことから、登別市行政不服審査会を設置し、審理員が作成した意見書等について審査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 5人 ・開催回数 3回 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			審査請求があった際には、随時審査会を開催し、市民の権利利益の救済と行政の適正な運営の確保に努める。			

14 旅券事務費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	229	229	229	229
目的			旅券（パスポート）の交付事務を行うことにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			北海道から権限移譲を受け、旅券の申請受付及び交付を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、旅券の迅速な交付に努める。			

目 5 総務諸費 (予算説明書 P 55～ P 58)

1 日本工学院北海道専門学校連携事業費 (総務部総務 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	16,874	8,690	5,745	2,538
目的			日本工学院北海道専門学校と連携・協力することにより、同校スタッフの高度な専門的知識や学生の活力をまちづくりに活用し、個性豊かな地域社会の形成・発展や未来を担う人材の育成、さらに市民の教育・文化活動の振興などを図ることを目的とする。			
事業内容			包括連携協定に基づき、同校が行う学生の確保に関する取組や、学校の魅力アップに対する取組等に対し支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理経費補助金 1,200千円 ・留学生支援補助金 15,624千円 ・報償費(謝礼) 50千円 			
重点的に取組む事項及び変更点			包括連携協定に基づく同校の取組等に対し、引き続き支援を行う。			

2 北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費 (観光経済部観光振興 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	2,500	2,500	2,500	3,500
目的			北海道新幹線開業を契機として胆振日高地域の交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			胆振日高地域の魅力を道内外に発信し、知名度の向上や胆振日高地域の資源を生かし交流人口の増加を図るため、胆振日高の18市町で構成される北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出するとともに、同会議が実施する各種事業等に積極的に参加する。 【会議の事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・2次交通関係整備事業(森蘭航路) ・函館市合同プロモーション事業 ・域外メディア招へい事業 ・域内周遊ルート整備事業 ・Web、SNS更新事業 			
重点的に取組む事項及び変更点			道内外に対し効果的に情報発信することを重点的に取り組む。			

3 登別・白石・海老名姉妹都市交流事業費 (総務部総務 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	1	3,685	3,634	3,101	3,556
目的			宮城県白石市、神奈川県海老名市との友好交流を図ることを目的とする。			
事業内容			白石市、海老名市との友好交流を図るため、物産展への支援などを行うとともに、民間交流事業を行っている登別市姉			

	<p>妹都市等都市間交流協会に対して補助金を交付する。</p> <p>【市の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市で開催される姉妹都市の物産展への支援 ・姉妹都市で開催される登別市物産展への支援 ・姉妹都市で開催される行事への職員の派遣 <p>【交流協会の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生絵画作品交流展 ・少年スポーツ交流事業 ・ふるさと豆記者交流事業 ・ふるさとのまちを語る交流事業 ・姉妹都市親善水泳大会 ・登別、白石交流登山 ・姉妹都市物産展
重点的に取り組む 事項及び変更点	3市間の関係がさらに発展した関係となるように交流を推進する。

4 四五都市連絡協議会少年スポーツ交流事業費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	1	917	0	0	764
目的			四五都市連絡協議会を組織している東京都福生市及び滋賀県守山市と、少年スポーツを通して交流を推進することを目的とする。			
事業内容			<p>守山市と包括連携協定を締結している日本体育大学に協力を依頼し、3市の小学生及び指導者が、大学施設を利用したトレーニングやメダリストによる講話等を体験する。</p> <p>【交流内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者や選手からのトレーニング指導 ・オリンピックメダリストからの講話 ・大学の先生等からの講義 ・スポーツ施設やクラブ活動の見学 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			昭和45年に市制施行した3市が、将来に渡り互いに協力し合う心情を醸成するため、スポーツ交流に取り組む。			

目6 企画費（予算説明書P57～P58）

1 市民自治推進委員会経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	1	40	100	100	0
目的			市の最高規範である「登別市まちづくり基本条例」の目的を達成するために、市民自治推進委員会を設置し、市民と行政による協働のまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>協働のまちづくりを推進するため、市民自治の推進に関すること、市民と市の協働のあり方に関すること、市の進める事務・事業に関すること、登別市まちづくり基本条例の見直しに関すること等について協議する。</p> <p>また、市民自治推進委員会6部会共通のテーマを「健康」とし、各部会が第3期基本計画をもとに具体的な取組について</p>			

	て議論し、各部会に所属する各団体がもつ特性と、行政による「協働」を用いた手法にて、市民と行政による協働のまちづくりを推進する。
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、「健康」をテーマとして取組を進めるが、市民自治推進委員会として一定の目的が達成されたと判断された場合は、市民と行政による協働のまちづくりを推進するための新たな取組について協議を行う。

2 市民憲章推進事業補助金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	150	150	150	150
目的			市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。			
事業内容			啓発物品等の配布活動など、市民憲章の啓発活動を実施する登別市民憲章推進協議会に対し、補助金を交付する。 【協議会の事業内容】 ・市民憲章制定日にちなんだ啓発活動の実施 ・啓発物品の作製、配布 ・小学4年生を対象とした啓発標語コンクールの実施 ・広報のぼりべつを活用した市民憲章の周知及び啓発			
重点的に取り組む 事項及び変更点			協議会が実施する市民憲章の普及、啓発等の活動への支援を継続する。			

3 市民憲章推進経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	573	214	214	227
目的			市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。			
事業内容			昭和43年9月20日に制定された登別市民憲章が制定50周年の節目を迎えるにあたり、改めて多くの市民に市民憲章に触れていただく機会として、「登別市民憲章制定50周年記念事業」を市民憲章推進協議会と共同開催する。 【記念事業内容】 ・記念式典 ・記念講演会 ・記念コンサート ・フォト&メッセージコンテスト ・記念誌の発行、配布			
重点的に取り組む 事項及び変更点			市民憲章推進協議会とともに、市民憲章制定50周年記念事業を実施する。			

4 コミュニティ助成事業補助金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	2,500	1,900	1,900	1,500

目的	市民団体に対して、活動に必要な経費の一部を補助することにより、コミュニティ活動の促進を図ることを目的とする。
事業内容	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助する。
重点的に取り組む事項及び変更点	本制度の周知を図り、市民団体の活動を支援する。

5 東京登別げんきかい交流経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	1	498	501	400	408
目的	首都圏等在住の登別市出身者などで構成されるふるさと会『東京登別げんきかい』と登別市との交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市の発展に寄与することを目的とする。					
事業内容	<p>総会や交流の場で市の情報を発信するとともに、会と市相互の情報交換や親睦、交流を行う。</p> <p>【会の活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会及び情報交換会 <p>【会との交流内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会での市政情報の提供など 					
重点的に取り組む事項及び変更点	本市と首都圏をつなぐパイプ役として、ふるさと応援のための活動を活発に行っている『東京登別げんきかい』に対し、本市の情報を発信するなど、交流事業を継続していく。					

6 ふるさと大使関係経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	1	17	17	17	12
目的	さまざまな機会において、ふるさと大使に登別市を宣伝していただくことにより、市の発展に寄与することを目的とする。					
事業内容	登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、観光パンフレットやPRカードを配布する。					
重点的に取り組む事項及び変更点	各地で本市の話題を宣伝していただくことは、市のPRとして有効であることから、引き続き、ふるさと大使に対する情報提供に努める。					

7 移住促進経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	3	1,130	1,038	828	901
目的	登別市の概要や各種イベント、セールスポイントなど、登別の魅力を発信し、登別市への移住体験参加者及び定住者の増加を図ることを目的とする。					

事業内容	<p>本市の魅力が多角的に紹介し、移住体験参加者及び定住者の増加を図るため、次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道移住促進協議会を通じた情報発信 ・移住情報パンフレットを一部改訂し、発行 ・移住相談ワンストップ窓口の継続設置 ・北海道暮らしフェアへの参加 ・本気の移住相談会への参加 ・移住体験事業「ちょっと暮らし」や体験型パッケージツアーの実施 ・関係団体と連携し、市内不動産物件等の情報提供 ・認定NPO法人ふるさと回帰支援センターを通じた情報発信
重点的に取組む事項及び変更点	<p>引き続き、移住情報パンフレットの情報を更新し、本市の魅力を発信するとともに、移住相談会等に参加し、交流人口の増加と移住・定住の促進を図る。</p> <p>また、新たに「認定NPO法人ふるさと回帰支援センター」を通じて本市の魅力の発信に努める。</p>

8 移住促進PR事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	2	3	1,000	1,000	900	1,000
目的			移住体験事業「ちょっと暮らし」や生活拠点としての本市の魅力などをPRすることにより、本市への完全移住、二地域居住、ショートステイを促し、定住人口・交流人口の増加を図ることを目的とする。			
事業内容			都市圏居住者を対象にさらなる移住促進に努めるため、ウェブサイトや雑誌などのさまざまな広告媒体を活用し、本市の魅力をもPRする。			
重点的に取組む事項及び変更点			都市圏居住者に対し、さまざまな広告媒体を活用することにより本市の魅力をも継続的にPRするほか、移住を検討される方の多くがインターネットによる情報収集を行っていることから、広告媒体と本市の移住・定住ポータルサイトを連動させ、効果的な情報発信に努める。			

目7 市民活動センター費（予算説明書P57～P58）

1 市民活動センター運営管理経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	6,407	15,392	15,392	15,296
目的			市民活動センターの運営を通じ、市民活動の総合的な促進を図ることを目的とする。			
事業内容			市民活動センターの施設運営を行うほか、市民活動の支援及び促進を図る。			

	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼりん通信及びのぼりんトピックスを発行し、情報の収集と発信を行う。 ・のぼりん文化講座を実施するとともに、市民活動の紹介や展示を行う。 ・市民活動に関する相談業務を随時行い、市民活動を支援する。
重点的に取り組む事項及び変更点	4月から市の直接運営となる同施設については、指定管理者制度を導入し、民間の手法を用いた弾力性や柔軟性のある運営を図るべきであることから、本年度中に新たな指定管理者による管理運営に移行できるよう事務を進める。

目 9 行政情報費 (予算説明書 P57～P60)

1 広報広聴経費 (総務部企画調整G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	3	17,884	14,758	14,150	13,148
目的			市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信 「広報のぼりべつ」毎月発行、NTTタウンページ(株)との官民共同事業による市民便利帳と電話帳の合冊版及び別冊版防災マップの発行、市職員出前フリートークの実施、市ウェブサイトやフェイスブック、行政情報アプリケーション、西いぶり生活情報メール配信システムによる情報の発信、報道機関への依頼、コミュニティFMを活用した各種情報の発信 ・市民意見の聴取 意見箱、手紙、来庁、電話、Eメール、市長室フリータイムなどによる聴取 ・その他 三市合同施設見学会及び市民見学会などの開催 			
重点的に取り組む事項及び変更点			広報紙やウェブサイトなど、さまざまな媒体を活用し、市政情報の発信に努める。			

2 北海道電子自治体共同システム運用経費 (総務部企画調整G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	2,147	2,248	2,248	2,245
目的			インターネットを通じて、申請業務等の行政サービスを提供することにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			電子自治体の実現にあたって必要となる各種システムの共通基盤及び市町村電子申請システムを北海道及び本市を含む			

	道内116市町村が共同で運用する。 本市は電子申請6種類、申請書ダウンロード91種類をサービス提供している。 これら北海道電子自治体共同システムの運用に係る経費の一部を負担する。
重点的に取り組む事項及び変更点	道や他市町村と協力してシステムの安定稼働に努め、国が進める社会保障・税番号制度及び情報セキュリティ対策の動向を注視し、更なる活用を検討する。

3 西いぶり広域連合共同電算事業負担金（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	168,858	166,847	170,457	167,644
目的			西胆振3市1町が共同で電算システムを運用することにより、市民サービスの向上及び電算システム運用に係る経費の節減を図ることを目的とする。			
事業内容			西いぶり広域連合に対して、室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町の3市1町が共同運用する戸籍、住民基本台帳、課税などの基幹業務システム運用に係る費用の一部を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			安定した稼働及び適正なセキュリティの管理に努めるとともに、各種制度改正等に対し、適切な対応を行う。			

4 地域情報化の推進（総務部企画調整G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	50,173	56,430	55,781	40,802
目的			行政事務の情報化を推進（継続）することにより、市民サービスの向上及び行政コストの節減を図ることを目的とする。			
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・OA化推進経費 23,721千円 事務処理に必要なパソコン、プリンター、庁内ネットワーク等の構成に要するサーバーなどの機器更新及び維持管理 ・地域イントラネット維持管理経費 21,628千円 公共施設を結ぶイントラネット(光ファイバーネットワーク) 機材などの機器更新及び維持管理 ・行政情報化経費 4,824千円 市民サービスに必要な窓口用パソコン、プリンターやメールサーバーなどの維持管理 			
重点的に取り組む事項及び変更点			情報機器の導入や維持管理を行い、庁内の情報化を推進し、行政事務の効率化に努める。 また、情報機器の利便性を確保しつつ、情報漏えいなどのリスクに対応するため、ネットワークセキュリティを確保し、適切に運用する。			

5 個人番号カード交付事業費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	10,335	5,758	5,758	8,577
目的			行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード・個人番号カードの交付を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容			通知カード・個人番号カードについて、製造、発行などの関連事務を委任しているため、地方公共団体情報システム機構へ交付金を支払うとともに、窓口において個人番号カードの適切な交付を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			円滑な窓口対応に努め、市民サービスの向上を図る。			

目 11 環境保全推進費（予算説明書P59～P60）

1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	1	607	844	844	389
目的			環境基本計画や環境配慮指針等に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市民、事業者、行政の協働により、環境保全の取組を計画的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全審議会経費（委員20人） 484千円 環境基本計画、公害の防止及び環境の保全等に関する基本的事項についての審議を行う。 ・総合的な環境保全の推進経費 123千円 小学生による環境ポスターの募集事業 小学生による「子ども環境家計簿」の実施 環境講演会の開催 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、環境保全の推進を図る。			

2 電気自動車普及促進事業費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	1	1,210	1,183	1,183	1,116
目的			電気自動車の普及促進を図ることにより、地球温暖化防止及び低炭素社会の実現を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>本市で導入した電気自動車及び市役所本庁舎前に設置した急速充電器の適正な維持管理を行うとともに、電気自動車の普及促進のため、広報紙や市ホームページなどへの掲載のほか、リサイクルまつりでの電気自動車の展示など、周知・啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の維持・管理等経費 556千円 ・急速充電器の維持・管理等経費 654千円 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	電気自動車の普及促進のため、積極的に啓発活動を行うとともに、電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行う。
---------------------	--

目 12 男女共同参画推進費 (予算説明書 P 59～ P 60)

1 男女共同参画社会づくり推進経費 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	4	1	159	145	145	96
目的			登別市男女共同参画基本計画に基づき、女性と男性が互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮して共に支え合う男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>情報紙や小学生向け啓発冊子を発行するほか、市民団体の活動や実行委員会による男女共同参画フォーラムの開催を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報のぼりべつ「小特集」の企画編集 (年 1 回) ・情報紙「アンダンテ」の発行 (年 1 回) ・小学校 4 年生向け啓発冊子の作成・配布 ・男女共同参画に関する市民団体の活動支援 (のぼりべつ男女平等参画懇話会、プラタナス) ・男女共同参画週間中の作品の募集・展示・表彰式の開催 ・男女共同参画フォーラムの開催支援 ・男女共同参画出前講座 (男性の料理教室) ・女性活躍推進に係る事業所等への情報提供 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			市民の男女共同参画に関する意識は着実に高まっており、現在の事業が一定の効果を得ていると判断されるので、男女共同参画の推進に資する各活動を継続して行う。			

2 民間シェルター運営補助金 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	4	1	300	300	300	300
目的			配偶者やパートナーなどの親密な関係にある者からの暴力から逃れる女性を守ることにより、女性の人権と尊厳を守り、男女が対等に生きることが出来る社会を実現することを目的とする。			
事業内容			<p>配偶者やパートナーからの暴力に苦しむ女性の心身の安全を確保する活動や自立のための支援を行う民間シェルター (NPO 法人ウィメンズネット・マサカーネ) の運営に対して補助を行う。</p> <p>【民間シェルターの活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVシェルターでの保護 ・自立等支援の活動 <p>自立後のサポート業務、ステップハウス運営事業、勇ハウス女性のためのデイサービス事業、交流会の開催、子どもの居場所ポケットの運営、シェルター入所中の</p>			

	子どもプログラムの実施、ティーンプログラムの実施、子どもボランティア研修事業
重点的に取り組む事項及び変更点	被害者からの相談・支援体制の充実に努めるためシェルターを支援する意義は大きいことから、引き続き、民間シェルターに対して補助を行う。

目 13 幼稚園振興費 (予算説明書 P 59～ P 60)

1 私立幼稚園就園奨励費補助金 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	19,249	30,048	26,448	78,479
目的			園児の保護者の経済的負担を軽減し、子どもを安心して育てられる環境を作ることを目的とする。			
事業内容			園児の保護者に補助金を支給する。(補助額は所得階層別等により設定) ・補助対象予定人数 119人			
重点的に取り組む事項及び変更点			保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育を推進する。 なお、前年度からの予算額の減は、施設型給付に移行する園が補助対象外となるため、対象予定人数の減少による。			

2 私立幼稚園協会教職員研修費補助金 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	125	125	125	500
目的			私立幼稚園の教職員の資質の向上のため研修費を補助し、幼児教育の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			登別市私立幼稚園協会に教職員の研修に要する経費の一部を補助する。 【補助の内容】 ・対象研修予定件数 9件 ・研修受講予定人数 延べ20人			
重点的に取り組む事項及び変更点			教職員の資質の向上を図り幼児教育を充実させる。			

3 私立幼稚園教材教具費等補助金 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	700	700	344	2,176
目的			園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			園児の学習活動に必要な教材教具の購入に係る経費の一部を補助する。 ・対象予定者数175人×4,000円			
重点的に取り組む事項及び変更点			保護者の経済的負担の軽減を図り幼児教育を推進する。			

第2款 総務費 項2 徴税費

目3 徴収費 (予算説明書P61～P62)

1 債権回収等推進事業費 (市民生活部税務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	3,000	2,797	1,376	0
目的			登別市債権管理条例に基づき、民事訴訟手続きによって債権の回収を進め、累積額の縮減、負担の公平性の確保を目的とする。			
事業内容			民事訴訟の専門的な知見を持つ弁護士に市営住宅使用料の回収業務を委託する。 【委託業務内容】 ・納付交渉、納付催告 ・和解、訴訟による債務名義の取得 ・強制執行の申し立て			
重点的に取組む事項及び変更点			主債務者、連帯保証人のいずれかに資力がありながら、支払う意思が見られず、未納額が累積する案件について、住宅の明渡しを含め、民事訴訟手続きによって債務の履行を請求する。			

第2款 総務費 項5 防災費

目1 防災費 (予算説明書P67～P68)

1 防災会議経費 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	161	240	240	30
目的			登別市地域防災計画による防災対応の実施を推進するほか、地域に係る防災に関する重要事項を審議し、登別市地域防災計画の適正な見直しを行うことを目的とする。			
事業内容			登別市地域防災計画を変更するにあたり、諮問機関である登別市防災会議を開催する。 ・委員数 29人 ・開催回数 2回			
重点的に取組む事項及び変更点			災害対策基本法等に基づき、登別市地域防災計画を修正する場合や、地域に係る防災に関する重要事項を審議する場合に、登別市防災会議を開催する。			

2 防災対策強化事業費 (総務部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	1,621	1,604	1,604	1,604
目的			東日本大震災等を教訓に、災害の備えとして備蓄品等を整備し、防災対策の強化を図ることを目的とする。			

事業内容	自然災害等に備え、非常用食糧等を備蓄する。 【主な備蓄品】 非常用食糧、燃料、乾電池
重点的に取り組む 事項及び変更点	備蓄品の定期的な点検等により、適切な管理を行う。

3 高台避難誘導看板設置事業費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	2,418	2,299	2,299	1,127
目的			平時における津波防災の啓発を図るとともに、大津波警報等発表時における市民等の安全な避難行動に資することを目的とする。			
事業内容			津波時における各地域の避難経路等に高台避難場所への誘導看板を設置する。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			津波浸水予測図において浸水が予測される地区と協議を行い、計画的に誘導看板の設置を進める。			

4 火山防災対策事業費（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	60	59	59	81
目的			常時観測火山である倶多楽について、活動火山対策特別措置法に基づき、火山防災協議会を設置し、防災関係機関等と連携して避難計画を作成する等により、適切な防災対応を図り、住民等の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			火山専門家を含む防災関係機関等で構成する火山防災協議会を運営するほか、火山防災に係る情報共有と火山防災知識の習得等のため、関係連絡会や研修会へ参加する。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			関係機関と連携し、火山現象の状況に応じた警戒避難体制を整備する。			

5 全国瞬時警報システム受信機等更新事業費【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
2	3	1	4,320	0	0	0								
目的			全国瞬時警報システム（Jアラート）の情報を適切に受信し、迅速かつ多様な防災情報の伝達手段を確保することにより、防災体制の充実を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>現行のJアラート受信機に対する情報発信が本年度末で終了することから、Jアラートの受信機を新型に更新するとともに、これにあわせて、閲覧用機器や無停電装置などを更新する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,320</td> <td>4,300</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	4,320	4,300	20
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
4,320	4,300	20												

第3款 民生費 項1 社会福祉費

目1 社会福祉総務費 (予算説明書P73～P74)

1 社会福祉協議会補助金 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	1	46,300	47,608	47,608	45,000
目的			社会福祉法人登別市社会福祉協議会の基盤強化に対し補助することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>同協議会の法人運営事業や地域福祉推進に係る事務局活動、地域福祉事業などに対し補助を行う。</p> <p>【協議会の主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人運営事業 社会福祉協議会活動の推進、法人運営の推進・強化 ・地域福祉事業 きずな活動の推進、小地域ネットワーク活動推進事業 ・ボランティア事業 ボランティア活動支援事業、ボランティアセンター運営事業 ・在宅福祉事業 福祉用具貸与事業 ・生活支援事業 生活あんしんサポートセンター事業 			
重点的に取り組む事項及び変更点			同協議会における町内会を基盤とした地域支え合い活動である小地域ネットワーク活動の推進や、社会的孤立や権利擁護等の多様な生活課題に対応するための生活支援活動の強化を支援する。			

2 民生委員児童委員活動経費 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	1	12,803	12,928	13,072	12,612
目的			市内各地区の民生委員児童委員の活動を支援することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>民生委員児童委員協議会に対して補助金を交付するなど、民生委員児童委員の活動支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会補助金 3,491千円 ・民生委員推せん会経費 (委員12人) 139千円 ・民生委員児童委員協議会経費 1,385千円 ・民生委員児童委員活動経費 (委員132人) 7,788千円 			
重点的に取り組む事項及び変更点			誰もが安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」を進めるため、引き続き、民生委員児童委員の活動を支援する。			

3 安心キット配付事業補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	1	38	100	100	455
目的			社会福祉法人登別市社会福祉協議会が実施する地域支え合い活動である小地域ネットワーク活動を支援することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			同協議会が推進する小地域ネットワーク活動に関し、支援対象者の的確な状況把握手段として実施する安心キット配付に要する経費について補助を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、小地域ネットワーク活動を推進するため、安心キット配付を支援する。			

4 人権啓発活動事業費【新規】（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
1	1	1	826	0	0	0								
目的			地域に密着した多用な人権啓発活動を実施することにより、人権尊重の理念に関する正しい理解と人権尊重思想の普及高揚を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>西胆振管内自治体の輪番制により、北海道の委託を受けて、人権啓発に関する講演会等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動（小学校2校） ・人権教室（小学校3校） ・人権啓発講演会（11月） <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>826</td> <td>700</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	826	700	126
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
826	700	126												

5 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	5,000	5,000	5,000	5,000
目的			低所得者世帯の経済的な安定を促進し、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>低所得者世帯に応急援護資金、高額療養費などの貸付を行う社会福祉法人登別市社会福祉協議会に対し、その原資の貸付を行う。</p> <p>【貸付内容】</p> <p>応急生活費、高額療養費、教育の臨時的経費、就職の臨時的経費、災害臨時的経費</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			低所得者の生活安定化を図るため、事業を継続する。			

6 生活困窮者自立支援事業費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	2,598	1,430	1,430	311
目的			包括的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの自立を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>生活困窮者自立支援法に基づき、各種事業を実施する。</p> <p>【必須事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業 生活全般の悩みごとを解決するためのプランを作成し、自立に向けた支援を行う。 ・住居確保給付金 離職等により住居を喪失している、または喪失の恐れがある者などを対象に、住居確保給付金を支給する。 住居確保給付金支給見込世帯数 3世帯 <p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労準備支援事業 就労の前段階として必要な生活習慣や社会的能力などの基礎能力の形成に係る支援を委託により実施する。 ・家計相談支援事業 金銭管理が難しい世帯の課題を把握し、自らが家計を管理できるよう支援する。 			
重点的に取り組む事項及び変更点			生活困窮に陥る恐れのある者に対して、早期発見、早期の課題解決を目指すため、関係機関との連携をより強固にし、自立した生活を確保するための支援を継続する。 また、自立支援策の強化を図るため、新たに任意事業を実施する。			

7 日胆はまなす里親会補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	30	30	30	30
目的			里親制度の普及により、児童福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			胆振、日高管内の里親で構成される日胆はまなす里親会の運営に対し補助を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			要保護児童を家庭的環境の中で養育する里親制度は、児童にとって望ましい養育形態であり、本市の要保護児童対策の中で重要な役割を担っていることから、引き続き、里親会の活動を支援する。			

8 室蘭登別防犯協会連合会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	650	650	650	650
目的			住民の防犯意識を高め、犯罪や事故のない安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			

事業内容	<p>関係機関・団体などと緊密な連携を図り、効果的な地域安全活動を展開して安全で安心な地域社会の実現のために活動する室蘭登別防犯協会連合会に対し、室蘭市と共同で事業運営費の一部を助成する。</p> <p>【連合会の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域安全ニュースの発行（月1回、点訳版含む） ・登下校時における児童の見守り、あいさつ活動 ・各種街頭啓発（春の地域安全運動、夏の暴力追放運動、全国地域安全運動、歳末特別警戒） ・研修会（実習型防犯教室）の開催（地域安全活動推進委員対象）
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、同連合会の活動を支援する。

9 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	500	500	500	500
目的			市内から暴力を追放・排除し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>暴力追放のために活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に対し、事業運営費の一部を助成する。</p> <p>【協議会の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別市、各関係機関等との連携により、市内各地区での啓発活動の実施（巡回街頭啓発、歳末防犯パトロール等） ・各種広報、啓発看板や旗の設置、啓発チラシの作成・配布 ・暴力団参入排除活動として幌別地区手づくり祭りの支援 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、同協議会の活動を支援する。			

10 防犯灯設置事業補助金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	12,930	15,000	15,000	13,593
目的			防犯灯の設置を促進することにより、犯罪を未然に防止し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>町内会等に対して、防犯灯の設置費や改修費等の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 2/3以内（上限30,000円） ・補助見込数 431基 			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>市では、節電対策及びCO₂削減に伴う地球温暖化防止対策の観点から、省エネルギー型防犯灯への移行を推奨していることから、すべての防犯灯が省エネルギー型防犯灯に切り替わるよう、引き続き普及促進に努める。</p> <p>なお、時限措置としていた省エネルギー型防犯灯に関する</p>			

	補助上限額の引き上げ（30,000円を50,000円に引き上げ）は平成29年度をもって終了とした。
--	---

11 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	180	180	180	180
目的			犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることにより、犯罪のない明るい社会を構築することを目的とする。			
事業内容			社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止に関する啓発活動経費の一部を負担し、その活動を支援する。 【委員会の主な事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージ伝達式 ・公開ケース研究会 ・地域住民との懇談会 ・社会を明るくする運動作文、標語募集 ・子ども育成者懇談会 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、同委員会の活動を支援する。			

12 登別地区保護司会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	250	250	250	250
目的			罪を犯した人たちの更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努めることにより、明るい社会が実現することを目的とする。			
事業内容			登別地区保護司会に対して、活動に要する経費の一部を補助する。 【会の主な事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・保護司活動充実のための研修会や情報交換 ・街頭啓発や補導活動等による犯罪予防活動の推進 ・就労支援等更生援助活動の推進 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、同会の活動を支援する。			

13 戦没者追悼式関係経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	5	491	434	434	453
目的			戦没者の霊を慰め追悼するとともに、平和を祈念し、二度と惨禍の起こることのない平和な社会の実現を目的とする。			
事業内容			戦没者の霊を慰め、追悼の誠を捧げるため、国などが行う式に準じて、市の戦没者追悼式を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 8月 ・会場 市民会館中ホール 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	戦没者の霊を慰め、追悼の誠を捧げるため、引き続き実施する。
---------------------	-------------------------------

14 無料法律相談業務委託料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	6	195	195	195	195
目的			市民生活における法律上の諸問題を解決し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、札幌弁護士会室蘭支部に相談業務を委託し、鉄南ふれあいセンターにおいて無料法律相談（月1回、1回あたり定員6人）を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			市民の利用を促進するため、広報紙や市民サービスグループだより等を通じた周知に努める。			

15 生活交通路線維持対策事業費補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	6,628	5,407	5,701	4,920
目的			市民の生活に必要なバス路線を維持することにより、学生や高齢者など、いわゆる交通弱者の地域生活における交通手段を確保することを目的とする。			
事業内容			国及び北海道と役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して、生活交通路線運行に係る経費を対象に市単独補助金を交付する。 ・補助対象路線数 市生活交通路線6路線を予定			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、乗合バス事業者に対して生活交通路線運行に係る経費を補助する。			

16 アイヌ文化普及啓発事業補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	200	200	200	200
目的			アイヌ民族の社会的地位向上と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。			
事業内容			アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う登別アイヌ協会に対して、運営費の一部を補助する。 【協会の主な事業】 ・アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の啓発や文化実践講座			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、支援を行う。			

17 連合町内会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	2,400	2,400	2,400	2,400
目的			単位町内会などの意見・意思を集約する連合町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			単位町内会と11地区の連合町内会を取りまとめる統括組織である登別市連合町内会に対して、その活動費の一部を助成する。 【連合町内会の主な事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会共催事業の推進 ・各種研修会の開催及び参加促進 ・花いっぱい運動の実施 ・クリーン作戦の実施 ・防災、防犯及び交通安全啓発運動の推進 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、連合町内会の活動を支援する。			

18 町内会運営助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	32,880	35,135	31,472	35,042
目的			町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会に対して、その運営費や市行政に協力するための活動費の一部を助成する。 【助成内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・団体割 1団体あたり30,000円 ・世帯割 1世帯あたり500円 ・防犯灯割 前年度電気料金の4/5 ・会館割 1会館あたり145,000円まで ・助成予定団体数 95町内会、1地区連合町内会 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、各単位町内会等の活動を支援する。			

目2 障害者福祉費（予算説明書P75～P78）

1 重度心身障害児介護手当支給経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	6,510	6,570	6,570	6,720
目的			障がい児世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進を図ることを目的とする。			

事業内容	心身に重度の障がいのある児童（20歳未満）の保護者に対し、介護手当（月額10,000円）を支給する。 ・支給対象者数 55人
重点的に取り組む事項及び変更点	市単独の福祉施策であるが、他障がい制度の利用者負担状況を考慮し、引き続き実施する。

2 地域生活支援事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	53,867	56,483	56,483	50,874
目的			障がい者（児）の地域における生活を支援することを目的とする。			
重点的に取り組む事項及び変更点			障害者総合支援法に基づき、引き続き、障がい者（児）の地域生活支援に係る各種事業を実施する。			

○日常生活用具給付費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	15,016	15,109	15,109	15,151
事業内容	在宅の障がい者（児）、難病患者の日常生活を容易にするための用具の給付を行う。 ・給付用具 蓄便・蓄尿袋、入浴補助用具、住宅改修等 ・給付見込件数 1,517件			

○社会参加事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	190	190	190	190
事業内容	障がい者（児）への情報の提供により社会参加を促進するため、声の広報及び点字広報等を作成し、視覚障がいのある人に配布等を行う。 ・発行広報 広報のぼりべつを音声化、点字化して発行 ・発行見込回数 声の広報 12回、点字広報 12回			

○総合相談支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	15,140	15,574	15,574	14,917
事業内容	障がい者（児）のニーズと地域の社会資源を適切に結びつけ、安心した自立生活を送れるよう、相談支援専門員を配置する指定特定相談支援事業者に事業を委託し、個々の相談支援を行う。 ・登別市総合相談支援センター ^{えん} による相談支援 相談見込件数 5,500件 ・障害者地域自立支援協議会の開催見込回数 4回			

○コミュニケーション支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	273	195	195	154
事業内容	聴覚、言語機能、音声機能、その他の障がいによって意思疎通に支障がある人の日常生活を支援するため、仲介として手話通訳者の派遣を行う。 ・派遣見込回数 52回			

○移動支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	1,389	1,666	1,666	963
事業内容	屋外での移動が困難な障がい者（児）の社会参加を促進するため、外出のための個別的支援を行う。 ・利用見込人数 15人			

○訪問入浴サービス事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	2,518	2,074	2,074	1,173
事業内容	自宅で入浴が困難な身体障がい者（児）の家族介護の負担を軽減し、在宅生活を継続するため、訪問入浴事業者が自宅に浴槽を持ち込んで入浴サービスを行う。 ・利用見込人数 4人			

○日中一時支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	1,201	1,612	1,612	848
事業内容	障がい者（児）の家族の就労等を支援するとともに、障がい者（児）を日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するため、日帰りショートステイを実施する。 ・利用見込人数 15人			

○成年後見制度利用支援事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	409	409	409	124
事業内容	障がい者の権利擁護を図るため、判断能力が不十分な障がい者のうち、親族等による裁判所への申し立てが困難な方を対象に、親族等に代わって裁判所への申し立てを行うほか、成年後見人等への報酬相当額の全部又は一部を給付する。 ・利用見込人数 1人			

○社会参加等事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	373	371	371	100

事業内容	<p>障がい者（児）の社会参加を促進するため、障がい者団体のボランティア活動を支援するほか、手話通訳者、要約筆記通訳者及びスポーツ・レクリエーション指導員の養成研修の参加に係る経費を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者団体ボランティア活動支援 登別回復者クラブひまわりサークルに対する助成 ・手話通訳者養成 1人 ・スポーツ・レクリエーション指導員養成 2人 ・要約筆記通訳者養成 1人
------	---

○地域活動支援センター事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	15,182	16,661	16,661	15,945
事業内容	<p>障がい者の社会参加を促進するため、社会福祉法人登別市社会福祉協議会への委託により、創作的活動の機会の提供、機能訓練、社会適応訓練、入浴サービス等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用見込人数 月平均 47人 			

○重度障害児入浴サービス事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	1,320	1,448	1,448	651
事業内容	<p>障がい児の生活の質の向上と保護者の介護負担の軽減を図るため、自宅での入浴が困難な重度の障がい児を対象に入浴サービスを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用見込人数 3人 			

○あいサポーター養成事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	176	410	410	440
事業内容	<p>障がいの特性や障がいのある方が困っていることを正しく理解してもらう研修会を開催し、障がいのある方が困っているときなどに、ちょっとした手助けをする応援者（あいサポーター）を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成見込人数 500人 			

○手話推進支援員養成等事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	251	240	240	122
事業内容	<p>講座の開催や研修会への参加経費の助成を行い、手話推進支援員の養成等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成見込人数 10人 			

○成年後見支援センター事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	429	524	524	96
事業内容	<p>現在室蘭市が設置し、社会福祉法人室蘭市社会福祉協議会に業務委託している成年後見支援センター事業を西いぶり定住自立圏共生ビジョン事業として行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談や申立支援に関する業務 ・成年後見制度の普及啓発に関する業務 <p>※前々年度決算額は、「成年後見支援センター運営負担金」について記載しています。</p>			

3 障害者介護給付費・訓練等給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算																																																						
1	1	3	1,066,788	991,117	991,117	902,451																																																						
目的			障がい者（児）の自立した日常及び社会生活を確保し、福祉の向上を図ることを目的とする。																																																									
事業内容			<p>障がい者（児）に対して、有する能力及び適性に応じ、必要とする障害福祉サービスに係る給付、その他の支援を行う。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>見込人数</th> <th>給付費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問系サービス</td> <td>68人</td> <td rowspan="5">34,787千円</td> </tr> <tr> <td> 居宅介護</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td> 重度訪問介護</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td> 同行援護</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td> 短期入所（ショートステイ）</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>日中活動系サービス</td> <td>346人</td> <td rowspan="6">659,219千円</td> </tr> <tr> <td> 療養介護</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td> 生活介護</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td> 自立訓練（生活訓練）</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td> 就労移行支援</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td> 就労継続支援（A型）</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td> 就労継続支援（B型）</td> <td>154人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>居住系サービス</td> <td>196人</td> <td rowspan="4">362,158千円</td> </tr> <tr> <td> 施設入所支援</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td> 共同生活援助（グループホーム）</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td> 特定給付費</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 宿泊型自立訓練</td> <td>3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談支援</td> <td>46人</td> <td rowspan="4">9,563千円</td> </tr> <tr> <td> 計画相談支援</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td> 地域移行支援</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td> 地域定着支援</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>国保連支払診査手数料</td> <td></td> <td>1,061千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	見込人数	給付費	訪問系サービス	68人	34,787千円	居宅介護	51人	重度訪問介護	1人	同行援護	7人	短期入所（ショートステイ）	9人	日中活動系サービス	346人	659,219千円	療養介護	9人	生活介護	148人	自立訓練（生活訓練）	2人	就労移行支援	6人	就労継続支援（A型）	27人	就労継続支援（B型）	154人		居住系サービス	196人	362,158千円	施設入所支援	82人	共同生活援助（グループホーム）	111人	特定給付費		宿泊型自立訓練	3人		相談支援	46人	9,563千円	計画相談支援	44人	地域移行支援	1人	地域定着支援	1人	国保連支払診査手数料		1,061千円
区分	見込人数	給付費																																																										
訪問系サービス	68人	34,787千円																																																										
居宅介護	51人																																																											
重度訪問介護	1人																																																											
同行援護	7人																																																											
短期入所（ショートステイ）	9人																																																											
日中活動系サービス	346人	659,219千円																																																										
療養介護	9人																																																											
生活介護	148人																																																											
自立訓練（生活訓練）	2人																																																											
就労移行支援	6人																																																											
就労継続支援（A型）	27人																																																											
就労継続支援（B型）	154人																																																											
居住系サービス	196人	362,158千円																																																										
施設入所支援	82人																																																											
共同生活援助（グループホーム）	111人																																																											
特定給付費																																																												
宿泊型自立訓練	3人																																																											
相談支援	46人	9,563千円																																																										
計画相談支援	44人																																																											
地域移行支援	1人																																																											
地域定着支援	1人																																																											
国保連支払診査手数料		1,061千円																																																										
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、必要なサービスに係る給付を行う。																																																									

4 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	56	56	56	0
目的			障がい者の就労を支援し、自立を促進することにより、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容			就労移行支援事業又は自立訓練事業の一定条件を満たす利用者の更生訓練に係る経費を給付する。また、入通所者で訓練等支援を終了し、一般就労が決まった利用者に対し就職支度金を給付する。 ・更生訓練費給付見込人数 1人 ・就職支度金給付見込人数 1人			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、給付を行う。			

5 障害者補装具給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	22,168	22,324	22,324	19,315
目的			障がい者（児）、難病患者の日常生活の便宜を図り、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			障がい者（児）、難病患者に補装具の給付を行う。 【支給見込件数】 ・義手・義足 10件 ・装具 48件 ・車いす 80件 ・電動車いす 18件 ・その他 36件			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、日常生活に必要な補装具の給付を行う。			

6 高額障害者福祉サービス経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	100	100	100	0
目的			障害福祉サービスの利用に伴う経済的負担を軽減することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			世帯における障害福祉サービス等の利用者負担額の合計が基準額を超えた場合、高額障害福祉サービス費を支給する。 ・支給見込人数 2人			
重点的に取り組む事項及び変更点			該当者があった場合、法令等に基づき支給を行う。			

7 特別障害者手当等支給経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	22,796	23,406	21,703	22,410
目的			障がい者（児）の介護に伴う経済的負担を軽減し、福祉の向上を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>重度の障がいにより、日常生活において常時介護を必要とする障がい者（児）に対し、手当を支給する。</p> <p>【支給見込人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別障害者手当 53人 ・障害児福祉手当 34人
重点的に取り組む事項及び変更点	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、引き続き、手当を支給する。

8 障害認定審査会経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	1,835	1,978	1,978	1,309
目的			障がい者の心身の状態を総合的に判断し、障害支援区分の審査・判定を行うことを目的とする。			
事業内容			<p>障がい者に係る障害支援区分の審査・判定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 10人 ・開催回数 12回 ・主治医意見書作成件数 118件 			
重点的に取り組む事項及び変更点			法令等により、継続して設置する。			

9 自立支援医療費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	113,112	73,996	103,996	78,221
目的			障がい者（児）の心身の障がいを除去・軽減するための医療の受診に係る経済的負担を軽減するほか、療養介護に係る医療費を給付することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>障害者総合支援法に基づき、人工透析や免疫療法等を受ける身体障害者手帳保持者等に対し、医療費の一部を給付するほか、療養介護を利用している障がいのある方に対し、医療に要した費用について療養介護医療費を給付する。</p> <p>【給付見込数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更生医療 140人 ・育成医療 20人 ・療養介護 9人 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、給付を行う。			

10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	153	183	183	66
目的			精神障がい者の自立と社会復帰を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>精神障がい者に対し、社会復帰施設への通所に要した交通費の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給見込数 7人 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	精神障がい者は、身体・知的障がいと比べ交通費の助成制度が整備されていないことから、引き続き、通所に要する費用の一部を助成する。
---------------------	---

11 障害者自立更生促進助成事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	443	443	443	215
目的			在宅障がい者に対し、自立更生に要する経済的負担を軽減するため、自動車運転免許取得費等の費用を助成することにより、社会活動への参加促進を図ることを目的とする。			
事業内容			在宅障がい者に対し、自立更生に要する経費の一部を助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転免許取得費助成（助成見込件数3件） 身体（4級以上）・知的・精神障がい者に対し、自動車運転免許取得に要する経費を助成 ・自動車改造費助成（助成見込件数1件） 肢体不自由の身体障がい者（1・2級）に対し、自動車の改造に要する経費を助成 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、助成を行う。			

12 身体・知的障害者相談員設置事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	112	111	111	101
目的			身体・知的障害者相談員を設置し、障がい者本人またはその保護者等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うことにより、障がい者の福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			身体・知的障がい者の日常的な相談に応じ、必要な助言・指導を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			障がい者の多様なニーズを把握するため、相談員相互のネットワーク化を図るほか、市と相談員の連携により様々な相談事例や各種情報の共有化を図る。			

13 肢体不自由児（者）父母の会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	200	200	200	200
目的			肢体不自由児（者）の自立更生を促進することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			会員交流及び関係機関との連携、勉強会などを行う登別肢体不自由児者父母の会に対し、運営費の一部を補助する。 【会の主な活動内容】 レクリエーション、施設見学、勉強会の開催、全道肢体不自由児者福祉大会への参加、ボランティア活動			

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、支援する。
---------------------	------------

14 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	4,366	4,576	4,576	4,320
目的			障がい者（児）のタクシー利用による経済的負担を軽減し、在宅で生活する重度障がい者（児）の生活圏拡大を促進することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			重度障がい者（児）を対象に福祉タクシー利用券を交付し、1人年間36回を限度に基本料金相当分を助成する。 ・支給対象見込数 650人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、助成を行う。			

15 身体障害者自動車燃料費助成金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	504	543	704	511
目的			身体障がい者（児）の自動車利用に係る経済的負担を軽減し、自立更生と社会参加を促進することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			障害者総合支援法に基づき車いすを受給している障がい者等で、免税購入資格者として自動車を購入した方を対象に、月30リットル分を限度に自動車燃料費の税相当分を助成する。 ・支給対象見込数 26人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、助成を行う。			

16 身体障害者福祉協会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	460	460	460	460
目的			身体障がい者の自立更生と社会参加を促進するため、登別身体障害者福祉協会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			福祉啓蒙事業や社会研修事業等を行う同協会に対し、運営費の一部を補助する。 【協会の主な事業内容】 軽スポーツ大会の開催、生活訓練（料理・パソコン教室）の実施、障害者週間記念事業等の協力			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、支援を行う。			

17 視力障害者協会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	50	50	50	50
目的			視覚障がい者の自立更生と社会参加を促進するため、登別視力障害者協会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			社会研修事業や学習会等を行う同協会に対し、運営費の一部を補助する。 【協会の主な事業内容】 はり・マッサージの治療奉仕活動、登別ブラインドボランティアの会との交流、出前福祉講座等の啓発活動			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援を行う。			

18 手をつなぐ育成会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	100	100	100	100
目的			知的障がい者（児）の自立更生と社会参加を促進するため、登別市手をつなぐ育成会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			知的障がい者（児）の地域生活支援や社会研修事業等を行う同会に対して、運営費の一部を補助する。 【会の主な活動内容】 保護者の障害福祉サービスに係る勉強会、知的障がい者（児）への理解を深めるための啓発活動			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援を行う。			

19 障害者等生活支援経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	982	1,027	1,027	1,018
目的			障がい者等在宅世帯の地域生活での経済的負担を軽減することにより、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			市内に居住する障がい者（身体障がい者1・2級、IQ50以下の知的障がい者、精神障がい者1・2級）在宅世帯及び65歳以上寝たきり高齢者在宅世帯に対し、家庭系指定ごみ袋30%用20枚を交付するほか、し尿汲み取り世帯に対し、し尿処理無料券1枚を交付する。 【交付見込数】 ・世帯数 800世帯 ・ごみ袋 15,500枚 ・し尿処理無料券 70枚			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、実施する。			

20 軽度・中等度難聴児補聴器給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	111	111	111	37
目的			身体障害者手帳の交付基準に該当しない軽度・中等度難聴児の日常生活の便宜を図ることにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			身体障害者手帳の交付基準に該当しない軽度・中等度難聴児に補聴器の給付を行う。 ・支給対象見込数 3件			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、給付を行う。			

21 第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会補助金【新規】
（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	30	0	0	0
目的			苫小牧市で開催される「第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会」の運営を支援することにより、知的障がい者（児）の自立更生と社会参加を促進することを目的とする。			
事業内容			道内各地の手をつなぐ育成会会員や関係者が参加し、知的障がい者が抱える諸課題について、報告や討議、情報交換等を行う「第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会」の運営に係る費用の一部を補助する。 ・開催予定 7月			

目3 医療助成費（予算説明書P77～P78）

1 重度心身障害者医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	109,152	118,553	118,553	113,163
目的			重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			市内に住所を有する重度心身障がい者に対し、医療費の一部を助成する。 【助成見込】 ・受診件数 21,539件 ・月平均受給者数 1,173人			
重点的に取組む事項及び変更点			関係部署と連携し制度の周知を図る。			

2 ひとり親家庭等医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	22,579	23,845	23,845	21,994
目的			ひとり親家庭等の母子または父子の医療費に係る経済的負担を軽減し、児童の健やかな育成を支援することを目的とする。			
事業内容			<p>市内に住所を有するひとり親家庭等の母または父及び児童に対し、医療費の一部を助成する。</p> <p>【助成見込】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診件数 7,890件 ・月平均受給者数 1,520人 			
重点的に取り組む事項及び変更点			関係部署と連携し制度の周知を図る。			

3 乳幼児等医療費助成経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	54,137	61,837	61,837	57,535
目的			乳幼児等の医療費に係る経済的負担を軽減し、乳幼児等の健やかな育成を支援することを目的とする。			
事業内容			<p>市内に住所を有する0歳から就学前の乳幼児及び小学生の入院に対し、医療費の一部を助成する。</p> <p>なお、8月診療分から対象者を拡大し、住民税非課税世帯の小学生の通院、中学生の入院及び通院に対しても、医療費の一部を助成する。</p> <p>【現行分助成見込】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診件数 28,654件 ・月平均受給者数 3,830人 <p>【拡大分助成見込】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診件数 1,150件 ・月平均受給者数 200人 			
重点的に取り組む事項及び変更点			8月診療分から助成対象を拡大するとともに、関係部署と連携し制度の周知を図る。			

4 未熟児養育医療給付経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	3,982	4,885	4,885	2,319
目的			医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>入院治療を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関における医療費の一部を給付する。</p> <p>【給付見込】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付件数 10件 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	関係部署と連携し制度の周知を図る。
---------------------	-------------------

目 7 消費生活費 (予算説明書 P79～P80)

1 消費者行政推進経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	4	793	720	720	547
目的			市民の消費者としての権利及び利益を保護し、もって消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容			消費生活への意識啓発のため、消費生活センターにおける消費生活相談への対応や、啓発活動等を行う。 ・消費生活センターにおける消費生活相談の実施 ・消費生活に関する啓発 (出前講座等) ・商品試買量目調査 (登別消費者協会への委託により実施)			
重点的に取り組む 事項及び変更点			相談体制を充実させ、高齢者や若年者の消費者被害の未然防止を図る。			

2 消費生活展開催補助金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	4	300	300	300	300
目的			消費生活展の開催を支援することにより、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容			消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助する。 ・開催予定 10月下旬～11月上旬 ・開催場所 登別市民会館中ホール等 ・実施内容 展示・体験・試食コーナー等			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、補助する。			

3 消費者協会運営助成金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	4	500	300	300	300
目的			登別消費者協会の活動を支援することにより、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容			消費生活知識の普及、啓発、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する同協会に対して、運営費の一部を助成する。 【協会の主な事業内容】 ・消費者被害防止講座の開催 ・くらしの安全・安心セミナーの開催 (年5回) ・食の安全・安心セミナーの開催 (年4回)			

	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者大会の開催 ・消費者月間街頭啓発（市内高校及び大型店舗） ・消費者協会だよりの発行（年6回） ・不用品ダイヤル市の開催 ・介護事業所・高校などへの出前講座【強化】 ・3歳児健康診査時における啓発（年12回）【新規】 ・年金支給日における街頭啓発（年6回）【新規】
重点的に取り組む事項及び変更点	新たな啓発事業を実施する同協会に対し、助成額を増額する。

4 消費者被害防止ネットワーク事業費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	4	643	626	626	0
目的			関係機関・団体と連携し、消費者に対して、消費生活に関する情報の提供及び消費者教育、啓発活動を推進するとともに、適切な相談活動等を通して、高齢者等の悪質商法等による消費者被害の防止を目的とする。			
事業内容			消費者被害の「未然防止」「早期発見」「拡大防止」を図るため、関係機関の構成員（民生委員や介護サービス事業者等）と連携を図り、消費者被害に関する情報発信等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害に関する情報収集 ・各構成機関、市民への情報発信 ・定例会議の開催（年1回） ・幹事会議の開催 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、各関係機関・団体と連携し、消費者被害の未然防止及び高齢者等の見守り強化を図る。			

第3款 民生費 項2 高齢者福祉費

目1 高齢者福祉総務費（予算説明書P81～P82）

1 老人クラブ連合会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	1,100	1,535	1,535	1,735
目的			老人クラブ連合会の活動を支援することにより、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			老人クラブ連合会に対して、運営費の一部を補助する。 【連合会の事業内容】 高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進、交通安全・防災対策運動の推進、女性リーダーの育成推進			
重点的に取り組む事項及び変更点			支援を継続する。			

2 老人クラブ運営補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	1,983	2,048	1,931	1,996
目的			各地域の老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の社会参加を促進し、もって高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			市内各地区の老人クラブに対して、運営費の一部を補助する。 ・団体見込数 38団体 ・会員見込数 1,879人			
重点的に取り組む事項及び変更点			支援を継続する。			

3 敬老行事補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	7,896	7,588	7,412	7,182
目的			市民の敬老意識の高揚を図り、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			敬老行事を行う町内会等に対して、対象者（75歳以上）一人あたり1,000円を補助する。 ・団体見込数 88団体 ・対象見込数 7,896人			
重点的に取り組む事項及び変更点			支援を継続する。			

4 老人趣味の作業所運営経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	295	271	271	233
目的			高齢者の地域での活動の場を提供し、高齢者の生きがいづくりに寄与することにより、老後の生活を豊かなものとし、もって高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			高齢者が陶芸などの趣味活動を行う老人趣味の作業所を運営する。 ・活動期間 4月～11月 ・活動内容 陶芸教室、陶芸体験指導 陶芸作品の展示会への出品 各団体への指導・助言など			
重点的に取り組む事項及び変更点			参加者の募集等市民に周知を行う。			

5 老人憩の家維持経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	10,813	14,469	14,469	7,775

目的	老人の心身の健康と福祉の増進を図るとともに、地域住民の活動拠点として住民同士の連携を図ることを目的とする。
事業内容	各町内会が指定管理者となっている37か所の老人憩の家の維持管理を行うほか、老朽化の状況等を踏まえて施設修繕を実施する。 【主な修繕内容】 ・光和園 床修繕 ・桜美園 軒先・軒天修繕 ・新生虹の家 外壁及び屋根修繕
重点的に取り組む事項及び変更点	指定管理者である各町内会の自主性を尊重しながら事業を継続する。

6 養護老人ホーム整備事業費補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	16,148	16,316	16,316	16,485
目的			社会福祉法人が行った養護老人ホーム移転改築事業に対して支援を行うことにより、高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			社会福祉法人彩咲会に対して、養護老人ホームの移転改築に係る借入金返済額の一部を補給する。 【補助内容】 ・交付先 社会福祉法人彩咲会 ・期間 平成22年度～平成42年度			
重点的に取り組む事項及び変更点			債務負担行為に基づき、平成42年度まで補助を行う。			

7 介護サービス人材確保対策事業費（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	500	500	500	52
目的			介護従事者等の人材確保と人材育成を図ることを目的とする。			
事業内容			福祉及び介護の仕事に関心のある方に対し、介護入門研修を実施する。また、介護職員初任者研修を修了し、かつ、市内の介護事業所に従事する方に対し、資格取得に係る費用の一部を助成する。 ・研修会実施予定回数 4日×1回 ・資格取得に係る助成見込 40,000円×10人			
重点的に取り組む事項及び変更点			事業者と連携するとともに、その内容を広く周知し受講者の確保を図る。			

目 2 高齢者保健福祉費 (予算説明書 P81～P82)

1 外国人高齢者・障害者福祉給付金 (保健福祉部高齢・介護G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	120	120	120	0
目的			国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者及び障がい者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援することを目的とする。			
事業内容			在日外国人高齢者の無年金者に福祉給付金 (月10,000円) を支給する。 ・支給見込人数 1人			
重点的に取り組む事項及び変更点			対象者の生活の安定に資するよう、引き続き事業を行う。			

2 老人措置関係経費 (保健福祉部高齢・介護G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	174,053	174,156	168,156	160,075
目的			生活環境上の理由や経済的な理由、虐待等により、在宅生活が困難な高齢者を養護することを目的とする。			
事業内容			在宅生活において養護を受けることが困難な高齢者に対し、養護老人ホームへの入所などの措置を行う。 【措置見込人数】 ・チボリの森 68人 ・他市町村所在養護老人ホーム 18人			
重点的に取り組む事項及び変更点			在宅生活が困難な高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定に資するよう、引き続き実施する。			

3 高齢者等緊急通報機器設置経費 (保健福祉部高齢・介護G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	14,353	14,841	13,641	13,639
目的			在宅高齢者の日常生活の不安解消や人命の安全確保を図ることを目的とする。			
事業内容			慢性疾患等により、常時注意が必要な一人暮らしの高齢者等に、緊急通報機器を貸与する。 ・設置見込台数 固定型213台、携帯型130台			
重点的に取り組む事項及び変更点			在宅高齢者が安心して生活できるよう、引き続き実施する。			

4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金 (保健福祉部高齢・介護G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	692	543	543	232
目的			社会福祉法人による介護サービス利用者の自己負担額軽減に対し助成することにより、介護サービスの円滑な実施を図ることを目的とする。			

事業内容	介護保険サービスの利用者負担の軽減を行う社会福祉法人に対して、その軽減額の一部を助成する。 ・負担軽減対象者 低所得者で特に生計が困難である者 ・対象見込人数 11人
重点的に取り組む事項及び変更点	低所得で特に生計を維持することが困難である者が、安心して介護サービスを利用できるよう、引き続き助成を行う。

目 3 後期高齢者医療費 (予算説明書 P81～P82)

1 後期高齢者保健事業費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	5	7,956	7,246	7,956	6,780
目的			検診や運動教室などに係る高齢者の経済的負担を軽減し、検診受診の促進と運動機会を増加させることにより、高齢者の健康増進を図ることを目的とする。			
事業内容			後期高齢者医療制度の被保険者を対象に各種検診の受診、水中運動教室への参加に要する費用の一部を助成する。 【助成対象見込人数】 ・短期人間ドック 203人 ・千円ドック 128人 ・脳ドック 61人 ・水中運動教室 366人			
重点的に取り組む事項及び変更点			各種検診等の周知に努め、受診率及び利用者の向上を目指す。			

2 後期高齢者健康診査経費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	5	16,153	15,253	16,184	13,671
目的			後期高齢者医療制度の被保険者を対象に健康診査を実施することにより、高齢者の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。			
事業内容			実施義務者である北海道後期高齢者医療広域連合から委託を受け、後期高齢者医療制度の被保険者の健康診査を実施する。 ・受診見込人数 1,809人			
重点的に取り組む事項及び変更点			制度の周知に努め、受診率の向上を目指す。			

3 後期高齢者医療療養給付費負担金 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	5	817,938	782,857	781,245	744,082
目的			後期高齢者医療制度の被保険者の医療費の一部を拠出することにより、高齢者医療の充実及び健康の増進を図ることを目的とする。			

事業内容	後期高齢者医療制度に基づき、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合に対し、本市被保険者分療養給付費に係る負担対象額の1/12相当額を負担する。
重点的に取り組む事項及び変更点	保健事業・健康診査事業の周知を図り、医療費の抑制に努める。

第3款 民生費 項3 児童福祉費

目1 児童福祉総務費 (予算説明書P83～P84)

1 ひとり親家庭等自立支援給付事業費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	2,840	2,436	2,790	0
目的			ひとり親の職業能力開発を促進することにより、ひとり親家庭の所得水準の向上と社会的自立を促すことを目的とする。			
重点的に取り組む事項及び変更点			訓練終了後、適職に就けるよう、引き続き支援する。			

○高等職業訓練促進給付金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	2,450	2,046	2,400	0
事業内容	職業訓練中のひとり親世帯の生活を支援するため、給付金を支給する。 ・利用見込人数 2人			

○自立支援教育訓練給付金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	240	240	240	0
事業内容	ひとり親の職業能力開発を促進するため、教育訓練終了後、自立支援教育訓練奨励金を支給する。 ・利用見込人数 2人			

○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	150	150	150	0
事業内容	高等学校を卒業していないひとり親家庭の親及びひとり親家庭の20歳未満の児童が、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合に、対策講座の受講費用の軽減を図り、ひとり親家庭の社会的自立を支援するため、給付金を支給する。 ・利用見込人数 1人			

2 子育て支援センター運営経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	1,914	1,099	1,099	784
目的			子育て家庭の育児不安についての相談や助言、親子の交流の場の提供などにより、地域全体で子育てを支援することを目的とする。			
事業内容			中央及び鷺別子育て支援センターにおいて、育児に不安などを感じている保護者に対し、育児相談や子育て講座を行うほか、子育て情報誌の発行など、子育て家庭に対する支援を行う。 ・育児相談 ・子育て講座・センター開放事業 ・育児サークルの育成・支援 ・あそびの広場の開催			
重点的に取り組む事項及び変更点			さまざまな育児支援を通して保護者をサポートし、子育て支援の充実を図る。			

3 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	7,829	7,818	7,818	7,550
目的			育児の援助を受けたい人と、提供したい人が相互に支援を行い、仕事と育児の両立を図ることを目的とする。			
事業内容			子どもの預かりの相互援助組織である登別市ファミリーサポートセンターを設置し、委託により、預かりの調整、預かりのための研修等を行う。 ・委託先 社会福祉法人登別市社会福祉協議会			
重点的に取り組む事項及び変更点			円滑な利用調整、預かり会員の資質の向上に努め、預かり需要に対し適切に対応する。			

4 産後子育てママ派遣事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	119	119	119	0
目的			出産後間もない母親の育児・家事の負担を軽減することを目的とする。			
事業内容			家事援助ヘルパーを派遣し、産後間もない母親の育児・家事を支援する。 ・利用見込件数 3件			
重点的に取り組む事項及び変更点			利用件数は少ないが、出産の際に援助を得られる家族・親類が無い場合の支援策として、引き続き実施する。			

5 家庭児童相談室・母子父子自立支援員経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	15	15	15	20

目的	ひとり親家庭や寡婦の福祉の充実と社会的自立を推進することを目的とする。
事業内容	家庭児童相談室に相談員を配置し、ひとり親家庭の母または父、寡婦に自立のための助言や情報提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・離婚に伴う諸手続きの相談 ・就業相談 ・母子父子寡婦福祉資金の貸付相談 ・教育訓練給付金等の相談と情報提供
重点的に取り組む事項及び変更点	積極的に教育訓練の受講を勧め、ひとり親家庭の社会的自立を促す。

6 富岸子育てひろば運営委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	7,486	7,486	7,486	7,486
目的			地域の実情に応じたきめ細かな子育て支援サービスの提供により、地域の子育て支援機能の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			子育て親子が気軽に集い、相互に交流できる常設のひろばを開設し、委託により、子育てに関する相談や情報提供などを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 亀田記念公園わんぱく内 ・実施内容 ひろば開放・子育て勉強会・出張子育てひろば等 ・委託先 特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 			
重点的に取り組む事項及び変更点			子育ての不安や負担感を解消するため、提供するサービスの充実を図る。			

7 登別子育て支援センター運営管理業務委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	7,541	7,553	7,553	7,453
目的			子育て家庭の育児不安についての相談や助言、親子の交流の場の提供などにより、地域全体で子育てを支援することを目的とする。			
事業内容			登別保育所内に設置している登別子育て支援センターの運営管理を同保育所の受託法人への委託により行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、委託による運営管理を行い、子育て支援の充実を図る。			

8 子ども・子育て会議経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	276	344	344	0

目的	登別市子ども・子育て会議条例に基づき会議を開催し、子ども・子育て支援施策に関し必要な事項を調査審議することを目的とする。
事業内容	市が特定教育・保育施設や特定地域型保育事業の利用定員を定める際や、子ども・子育て支援事業計画など、市の総合的・計画的な子ども・子育て支援施策の推進に関して、当該施策が地域の子ども・子育て家庭の実情やニーズを踏まえたものとなっているかなど、必要とする事項及び実施状況の調査審議を行う。 ・委員数 16人 ・開催回数 3回
重点的に取組む事項及び変更点	新制度に基づく子ども・子育て支援施策の実施状況の継続的な点検・評価・見直しを行っていく。

9 児童入所施設措置費（助産施設分）（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	420	420	420	0
目的			経済的理由が出産を妨げないよう支援することにより、安心して出産できる環境づくりを行うことを目的とする。			
事業内容			経済的理由により入院助産を受けることができない妊婦を入院措置する。 ・措置見込人数 1人			
重点的に取組む事項及び変更点			経済的理由が出産を妨げることのない環境を維持する。			

10 こどもショートステイ経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	164	164	164	33
目的			一時的に養育が困難となった保護者に代わって子どもを養育することにより、子どもの健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			疾病等により一時的に養育困難になった子どもを、委託により、児童養護施設で養育する。 ・対象見込人数 2人			
重点的に取組む事項及び変更点			緊急時の子ども等の受入態勢の連携を図る。			

11 災害遺児手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	120	120	120	0
目的			災害遺児を養育する保護者の負担軽減を図り、子どもの健全な育成を支援することを目的とする。			
事業内容			自然災害、交通事故により父母又は父母のいずれかが死亡若しくは重度の障がいとなった子ども（遺児）を養育する保護			

	者に対し、手当（遺児が中学校修了まで月額10,000円）を支給する。 ・支給見込人数 1人
重点的に取り組む 事項及び変更点	災害等が発生した際の遺児の把握に努める。

12 児童手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	625,845	649,755	636,680	647,125
目的			次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。			
事業内容			中学校修了までの子どもの父母などに手当を支給する。 ・支給見込延児童数 56,417人 【一人あたり支給額（月額）】 ・3歳未満 15,000円 ・3歳以上小学校修了前 第1、2子 10,000円 第3子以降 15,000円 ・中学生 10,000円 ・所得制限限度額以上の世帯の子ども 5,000円			
重点的に取り組む 事項及び変更点			子育て家庭の生活の安定を図り、子どもの健全な育成を支援する。			

13 児童扶養手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	263,014	268,318	263,518	269,058
目的			ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することを目的とする。			
事業内容			ひとり親世帯の所得に応じ、手当を支給する。 ・支給見込延件数 1,636件 【支給額（月額）】 ・子ども1人の場合 全部支給 42,500円 一部支給 42,490円～10,030円 ・子ども2人以上の加算額 2人目 10,040円 一部支給 10,030円～5,020円 3人目1人につき 6,020円 一部支給 6,010円～3,010円			
重点的に取り組む 事項及び変更点			ひとり親世帯の自立を促進する。			

14 児童虐待防止啓発事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	2	387	249	249	100

目的	子どもへの虐待に対する関心と理解を訴え、地域がひとつになって子どもを守ることを目的とする。
事業内容	<p>市民一人ひとりが子ども虐待に意識を向けるよう啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども虐待防止講演会の開催 ・広報紙・ホームページ・新聞広告による啓発 ・民生委員・児童委員との懇談会の開催 ・町内会へのチラシの配布 ・オレンジリボン運動の展開
重点的に取り組む事項及び変更点	虐待に対する啓発活動を行うとともに、各関係機関と連携を図りながら、子ども虐待の未然防止に努める。

目 2 保育所費 (予算説明書 P 83～ P 86)

1 普通保育所運営管理経費 (保健福祉部子育て G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	66,684	64,117	64,117	60,193
目的			保護者の家庭と仕事の両立を支援するとともに、安心して子どもを生き育てる環境をつくり、子どもの健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>保護者の就労や疾病、介護などの理由により、保育を必要とする子どもに保育サービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所定員児童数 480人 (各保育所 120人) ・予算人員 430人 (登別保育所を除き、広域入所受託分 2人を含む) 			
重点的に取り組む事項及び変更点			保護者が安心して子どもを預けられる保育に取り組む。			

2 登別保育所運営管理業務委託料 (保健福祉部子育て G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	81,853	81,706	76,224	70,511
目的			保護者の家庭と仕事の両立を支援するとともに、安心して子どもを生き育てる環境をつくり、認定こども園、保育所で区分することなく、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。			
事業内容			登別保育所の運営を民間事業者へ委託し、保育を必要とする子どもに保育サービスを提供する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、運営管理を委託し、保護者が安心して子どもを預けられる保育に取り組む。			

3 延長保育実施経費 (保健福祉部子育て G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	378	380	380	249

目的	保護者の就労形態の多様化を踏まえ保育時間を延長し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。
事業内容	保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施する。 ・延長時間 午後6時15分～午後7時15分
重点的に取り組む事項及び変更点	保護者のニーズを踏まえ、引き続き、保育時間を延長して保育を実施する。

4 休日保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	212	130	130	46
目的	保護者の就労形態の多様化に伴い、保育を必要とする子どもの健全育成を図ることを目的とする。					
事業内容	保育所の閉所日である日曜・祝日において、市内1か所の拠点保育所（富士保育所）で平日と同様の保育を実施する。 ・利用見込件数 518件					
重点的に取り組む事項及び変更点	保護者の就労支援のため、保育所の閉所日に保育を実施する。					

目3 のぞみ園費（予算説明書P85～P86）

1 のぞみ園運営管理経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	42,207	41,325	41,325	41,154
目的	障がい児や発達に不安のある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を行うことにより、児童の発育、発達を支援することを目的とする。					
事業内容	のぞみ園において、委託により児童福祉法に基づく障害児通所支援等を実施するとともに、発達に不安のある児童に関する相談、助言等を行う。 ・障害児通所支援事業 利用見込児童数 150人 ・子ども発達支援センター事業 利用見込件数 650件 (主な事業内容) 面談、専門機関同行・連携、体験療育、電話相談					
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、支援を行う。					

目4 児童館費（予算説明書P85～P86）

1 児童館・児童センター運営管理経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	12,482	12,551	12,551	10,420

目的	子どもに健全な遊びを与え、その情操を育み、健康を増進することにより、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。
事業内容	市内11か所の児童館（8施設）・児童センター（1施設）・児童室（2施設）において、子どもに遊びの場を提供する。
重点的に取り組む事項及び変更点	子どもの自主性、社会性、創造性がより高まるよう、指導・支援する。また、市内全児童館、児童室及び児童センターにおいて昼食持参での利用許可や、青葉児童館、常盤児童館、登別児童館及び鷺別児童館において、小学生が授業終了後一旦帰宅せずに直接児童館を利用できる「直接来館」を実施する。

2 鷺別児童館移転改築事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
1	3	1	10,472	127,032	121,499	18,188								
目的			児童の安全・安心な放課後等の活動拠点を確保することを目的とする。											
事業内容			移転改築した鷺別児童館の外構工事等を行う。 【財源内訳】											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,472</td> <td>7,800</td> <td>2,672</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	10,472	7,800	2,672
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
10,472	7,800	2,672												
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、鷺別児童館の整備を行う。											

3 旧鷺別児童館除却事業費【新規】（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
1	3	1	6,999	0	0	0								
目的			鷺別児童館の移転改築に伴い廃止となる旧鷺別児童館を除却することにより、施設の適正な管理を行うことを目的とする。											
事業内容			旧鷺別児童館の除却工事を行う。 【財源内訳】											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,999</td> <td>6,200</td> <td>799</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,999	6,200	799
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
6,999	6,200	799												

目5 放課後児童育成費（予算説明書P85～P88）

1 放課後児童クラブ運営経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	4,054	4,056	4,056	3,781

目的	保護者が就労等により日中不在となる小学生に遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図るとともに、保護者の就労を支援することを目的とする。
事業内容	市内7か所に設置している放課後児童クラブにおいて、保護者が日中不在の小学生を対象に、遊びや生活の場を提供する。 【登録見込児童数】 ・富岸児童クラブ 60人 ・常盤児童クラブ 25人 ・若草児童クラブ 50人 ・青葉児童クラブ 25人 ・幌別西児童クラブ 35人 ・鷺別児童クラブ 35人 ・登別児童クラブ 20人
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、保護者が日中不在の小学生を対象に、児童が安心して過ごせる場を提供する。

目6 障害児福祉費 (予算説明書P87～P88)

1 障害児通所給付費 (保健福祉部障がい福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	3	89,194	73,838	73,838	51,157
目的			障がいのある児童や発達に不安のある児童の発育や発達を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			児童福祉法による障害児通所支援に係る障害児通所給付費を支給する。 【利用見込人数】 ・児童発達支援事業 36人 ・放課後等デイサービス 153人 ・障害児相談支援 101人 ・保育所等訪問支援 4人			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、障がい児等の通所支援に係る給付を行う。			

目7 教育・保育給付費 (予算説明書P87～P88)

1 特定教育・保育施設等給付費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	350,816	273,876	277,052	501
目的			特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業における教育・保育を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容			子ども・子育て支援法に基づき、特定教育・保育施設での教育・保育に要する費用(公定価格)について、「施設型給付費」として給付を行う。 ・給付対象見込人数 536人			

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、必要な教育・保育に係る給付を行う。 本年度から施設型給付に移行する園があることから対象者数の増加を見込む。
---------------------	---

2 一時預かり事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	6,000	5,000	5,000	0
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ、施設型給付を受ける私立幼稚園等において一時預かり事業を実施し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			子ども・子育て支援法に基づき、施設型給付を受ける私立幼稚園及び認定こども園を利用する1号認定を受けた在園児に対し、教育時間の前後や長期休業日等における預かり保育の実施を委託する。 ・対象見込人数 476人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、一時預かり事業に係る委託を行う。 本年度から施設型給付に移行する園があることから対象者数の増加を見込む。			

3 延長保育事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	3,226	3,200	516	0
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ保育時間を延長する認定こども園等に対して、その運営に要する費用の一部を補助し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			子ども・子育て支援法に基づき、保育時間の延長ニーズに対応するため、2・3号認定を受けた在園児について延長保育を実施する特定教育・保育施設に対し、その運営に要する費用の一部を補助する。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、延長保育事業に係る補助を行う。			

4 特定教育・保育補足給付費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	420	420	420	0
目的			低所得で生計が困難な家庭の子どもについて、実費徴収費用の一部を補助することにより、子どもの健やかな成長を支援することを目的とする。			
事業内容			特定教育・保育施設を利用する低所得で生計が困難な家庭の子どもについて、保育料とは別に実費徴収される費用の一部について給付を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、必要な給付を行う。			

第3款 民生費 項4 生活保護費

目1 生活保護総務費（予算説明書P89～P90）

1 生活保護適正実施推進事業費（保健福祉部生活支援G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	3,776	3,152	3,152	2,981
目的			生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。			
事業内容			扶養義務者の調査、職員の資質向上のための研修への参加などを行う。 【主な実施内容】 診療報酬明細書等点検、扶養義務調査、関係職員等研修・啓発事業、生活保護システムの改修			
重点的に取り組む事項及び変更点			生活保護の適正な運営を確保するため、各種事業を推進する。			

2 被保護者就労支援事業費（保健福祉部生活支援G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	100	100	100	99
目的			生活保護受給者の経済的自立を促すことを目的とする。			
事業内容			就労支援相談員により、各種就労支援を行う。 【支援内容】 就労相談、公共職業安定所への同行訪問等			
重点的に取り組む事項及び変更点			自立更生世帯や稼働意欲がある方などを重点的に選定し、就労支援プログラム対象候補者として世帯の自立を促進するため事業を継続する。			

目2 扶助費（予算説明書P89～P90）

1 生活保護扶助費（保健福祉部生活支援G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	2,114,173	2,105,520	2,137,520	2,082,017
目的			生活困窮者に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。			
事業内容			生活保護受給者に対し、保護の適正化等の確保（保護費支給含む）や個別援助の充実、各自立に向けた事業等を実施する。 【予算内訳】 ・生活扶助（延 9,074人） 520,591千円 ・住宅扶助（延 6,972世帯） 167,360千円 ・教育扶助（延 600人） 7,812千円 ・医療扶助（延 23,496人） 1,387,625千円 ・その他 30,785千円			

重点的に取り組む 事項及び変更点	生活保護法に基づき事業を継続する。
---------------------	-------------------

第3款 民生費 項5 交通安全費

目1 交通安全総務費 (予算説明書P91～P92)

1 交通安全推進経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	1,746	993	993	895
目的			市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図ることにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			幼稚園、保育所や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全啓発看板、旗などの設置及び維持管理などを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童に対する交通安全啓発運動 (4月) ・人と旗の波街頭啓発 (年6回、8小学校付近) ・ジャンボ街頭啓発 (6月) ・腹話術による交通安全教室 (保育所・幼稚園) ・交通安全指導員 (33人) ・外国人観光客に対する啓発 ・飲酒運転根絶に向けた啓発 ・交通安全啓発塔の更新 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、市民の交通安全意識啓発に資する事業を実施する。			

2 交通安全協会交付金 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	4,300	4,300	4,300	4,300
目的			交通安全の啓発活動等を行う登別市交通安全協会の活動を支援することにより、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図り、もって安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			広報活動や指導員への教育活動などを行う同協会に対し、運営費の一部を補助する。 <p>【協会の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全市民運動の推進 ・交通安全教育広報活動の推進 ・主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導 ・高齢者に対する交通安全思想の普及 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、同協会の活動を支援する。			

3 交通傷害保険料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	1,008	864	864	711
目的			交通事故により傷害を受けた際の保険制度を市民に対して安価に提供することにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			小額の保険料で加入できる市民交通傷害保険の加入促進と加入手続きを行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、新入学生に配布する交通安全啓発物へのチラシの同封や町内会で回覧する「市民サービスグループだより」への定期的掲載などの周知活動を行い、加入促進に努める。			

4 交通安全対策会議経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	87	0	0	7
目的			交通安全対策を総合的かつ計画的に推進し、交通事故の防止に努めることを目的とする。			
事業内容			交通安全計画の作成や、交通安全に関する施策について審議を行う。 ・委員数 15人 ・開催回数 2回			
重点的に取り組む事項及び変更点			交通安全対策を総合的かつ計画的に推進する。			

目2 交通安全施設費（予算説明書P91～P92）

1 カーブミラー設置費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	367	365	365	200
目的			カーブミラーの設置により、安全確認の円滑化と交通事故の防止を図り、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			見通しの悪い交差点などの危険箇所に、カーブミラーを設置する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、町内会等を通じて危険箇所の把握に努める。			

2 照明灯設置事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	367	367	367	335
目的			市内の交通危険箇所の解消と交通事故防止を目的とする。			

事業内容	市内の交差点などの危険箇所に、照明灯を設置する。 ・設置予定箇所数 2か所
重点的に取組む 事項及び変更点	夜間の歩行者及び車両の安全を確保するため、交通量の多い交差点や急カーブ及び通学路等の危険箇所に照明灯を設置する。

第3款 民生費 項6 災害救助費

目1 災害救助費 (予算説明書P93～P94)

1 災害見舞金 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	4	300	300	300	110
目的			災害で被害を受けた市民の早期復旧等を支援し、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容			火災や自然災害により被害を受けた被災者に対し、被害状況に応じて災害見舞金を支給する。 ・支給額 被害状況に応じ10万円以内 ・支給見込件数 3件			
重点的に取組む 事項及び変更点			被災者の支援として、引き続き事業を継続する。			

第4款 衛生費 項1 保健衛生費

目1 保健衛生総務費 (予算説明書P95～P96)

1 北海道難病連運営事業助成金 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	1	50	50	50	50
目的			難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上・増進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている一般財団法人北海道難病連に対し、その運営費の一部を助成する。</p> <p>【北海道難病連の主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難病患者や家族への療育指導及び相談活動 ・ 難病患者等の各団体の育成援助 ・ 難病に関する調査研究 			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、北海道難病連の活動を支援する。			

2 母と子の健康づくり事業費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	1	26,220	26,166	25,166	24,845
目的			妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進を図ることを目的とする。			
重点的に取組む事項及び変更点			妊娠期から子育て期を一貫して支援する体制を強化し、アンケート等を活用しながら親の育児不安の解消に努める。			

○食育事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	389	297	297	226
事業内容	<p>将来的な生活習慣病の予防を図るため、規則正しい食習慣や栄養バランスの取れた食生活の大切さを啓発する。</p> <p>乳幼児期の子を持つ母親等を対象として、食に関する講話や健康相談を実施するとともに、学童期の親子を対象とした食育親子料理教室では、地場食品を利用し、地産地消の大切さについても啓発する。</p> <p>本年度は、地域における健康づくりを進めるために、食生活改善の中心となって活動できる担い手を養成することを目的に、食生活改善推進員養成講座を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もぐもぐ食育広場 (年6回) ・ 食育親子料理教室 (年4回) ・ へるしー親子相談 (年12回) ・ 食生活改善推進員養成講座(全5日間) 			

○幼児歯科保健対策経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	667	669	669	675
事業内容	<p>将来にわたり健康な歯を維持するため、親子むし歯予防教室を開催し、むし歯予防に関する生活習慣の啓発を図るほか、歯質の強化を図るためのフッ素塗布を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子むし歯予防教室 2回 歯科医による講話、歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布（希望者） ・フッ素塗布 対象：1歳6か月～4歳未満の希望者 			

○妊婦保健事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	22,825	22,884	21,884	21,653
事業内容	<p>妊婦の健康管理の充実及び経済的負担軽減を図るため、妊娠届出のあった妊婦に母子健康手帳を交付し、健康管理のための保健指導を行うとともに、妊婦健康診査に係る費用について、定額の範囲において助成する。</p> <p>また、妊婦及び乳幼児に必要な子育てに関する情報を配信する母子健康手帳アプリ（無料）を活用するほか、出産を控えた妊婦とその家族を対象に、子育て知識を提供するための教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 交付見込件数330件 ・妊婦健康診査費の助成 妊婦一般健康診査 14回 超音波検査 4回 ・すこやかマタニティ教室 11回 			

○乳幼児保健事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	2,339	2,316	2,316	2,291
事業内容	<p>乳幼児の順調な発達の確認及び疾病の早期発見のため、乳幼児期の成長・発達の節目にあたる月齢児を対象に、小児科医等による健康診査等を実施する。</p> <p>また、保健師等による妊産婦、乳幼児世帯に家庭訪問を実施し、育児支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査・健康相談（各12回） 4～5か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、10か月児健康相談 ・乳幼児等訪問指導 対象：妊産婦、新生児、乳児、幼児のいる家庭 ・育児相談 12回 育児相談の希望がある親を対象に、計測、保健師・栄養士による相談、助産師による授乳相談を実施 			

3 フッ化物洗口推進事業補助金【新規】（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	2	500	0	0	0
目的			幼児期のむし歯予防を進め、歯の健康維持・増進を図ることを目的とする。			
事業内容			4歳児及び5歳児を対象とした、フッ化物洗口を実施する幼稚園及び認定こども園等に対し、その実施に係る費用の一部又は全部を補助する。 ・補助見込数 4園			

4 地域医療対策等経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	1,384	1,375	1,375	1,349
目的			地域における歯科医療及び訪問看護体制を確保することにより、歯科医療と在宅ケアの充実を図ることを目的とする。			
事業内容			室蘭歯科医師会との連携により、年末年始、日曜日等の救急歯科診療を確保するとともに、口腔がんの早期発見・早期治療のため口腔がん検診を実施する。 また、本市に訪問看護ステーションを設置している北海道総合在宅ケア事業団に、ステーション設置市として会費を支出する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			継続して実施する。			

5 市立室蘭看護専門学院整備費負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	178	180	180	183
目的			地域で活躍する看護師の養成機能を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			平成21年度に実施した市立室蘭看護専門学院の移転及び定員拡大に伴う施設改修費等に係る経費の一部を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			債務負担行為に基づき、平成36年度まで負担金を支出する。			

6 広域救急医療対策事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	8,332	8,297	8,297	8,305
目的			2次救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			西胆振2次医療圏7病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する広域救急医療対策事業に係る費用の一部を負担する。 ・対象範囲 西胆振6市町			

	<ul style="list-style-type: none"> ・対応医療機関 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、JCHO登別病院、大川原脳神経外科病院、伊達赤十字病院、洞爺協会病院
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、救急医療体制の確保に努める。

7 初期救急医療対策事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	3,546	3,507	3,507	3,327
目的			1次救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			登別・室蘭市内の5病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する初期救急医療対策事業に係る費用の一部を負担する。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象範囲 登別市及び室蘭市 ・対応医療機関 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、JCHO登別病院、大川原脳神経外科病院 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、室蘭市と共同して実施することにより、救急医療体制の確保に努める。			

8 小児救急医療支援事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	2,782	2,384	2,384	2,773
目的			小児救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			西胆振2次医療圏2病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する小児救急医療支援事業に係る費用の一部を負担する。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象範囲 西胆振6市町 ・対応医療機関 日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、小児救急医療体制の確保に努める。			

9 周産期医療確保事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	11,215	9,316	9,316	3,052
目的			地域周産期母子医療センターを支援することにより、安心して出産できる医療環境の維持を目的とする。			
事業内容			西胆振2次医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターを設置している医療機関に対し、当該センターの体制維持に係る費用の一部を負担する。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象範囲 西胆振6市町 ・対象医療機関 日鋼記念病院 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、周産期医療の確保に努める。
---------------------	---

10 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	39	0	0	149
目的			小児慢性特定疾病児童等に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図ることを目的とする。			
事業内容			「小児慢性特定疾病医療受給者証」の交付決定を受けた者で、他法による施策（医療保険各法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）の該当にならない児童等に対し、日常生活用具（18種目）の給付を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、対象児童等の保護者等への給付を行う。			

11 特定不妊治療費助成事業費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	3,500	3,500	3,500	0
目的			特定不妊治療を受ける市民等の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>特定不妊治療の治療費は高額であり、また、治療は複数回に及ぶことが多いことから、一定の要件を満たす対象者に対し、北海道の特定不妊治療費助成事業に上乗せをして費用の一部を助成する。</p> <p>【助成の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 特定不妊治療に要した費用から、北海道の助成制度により助成を受けた額を控除した額（1回10万円上限） ・助成回数 初めて助成を受ける際の治療開始時の妻の年齢による 40歳未満 : 43歳になるまで通算6回 40歳以上43歳未満 : 43歳になるまで通算3回 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き助成を行い、高額な治療に係る経済的負担の軽減に努める。			

目2 予防費（予算説明書P95～P96）

1 エキノコックス症対策経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	2	63	83	83	38
目的			エキノコックス症の感染予防及び予防啓発を促進することにより、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>感染者の早期発見のため、北海道エキノコックス症対策実施要領に基づき、採血による検診（第1次検診）を実施する。</p> <p>また、広報紙による検診の周知や、立て看板を設置するなど感染予防啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <p>対象者：小学3年生以上でこれまでに検診を受けていない市民、または前回の検診から5年以上経過している市民</p> <p>会 場：総合福祉センター</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、エキノコックス症検診（第1次検診）を実施する。

2 予防接種経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算																												
1	2	2	147,278	148,449	138,449	137,054																												
目的			感染症による病気の発生を未然に防ぎ、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。																															
事業内容			<p>予防接種法に基づき、感染症予防、発病予防、症状の軽減、病気のまん延防止などを図るため、各種予防接種（定期接種）を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワクチン名</th> <th>延べ接種見込人数</th> <th>ワクチン名</th> <th>延べ接種見込人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td>330人</td> <td>ヒブ</td> <td>1,320人</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>1,320人</td> <td>小児肺炎球菌</td> <td>1,320人</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>389人</td> <td>日本脳炎</td> <td>3,141人</td> </tr> <tr> <td>ポリオ</td> <td>30人</td> <td>B型肝炎</td> <td>990人</td> </tr> <tr> <td>麻しん・風しん</td> <td>660人</td> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>2,001人</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>680人</td> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td>9,838人</td> </tr> </tbody> </table>				ワクチン名	延べ接種見込人数	ワクチン名	延べ接種見込人数	BCG	330人	ヒブ	1,320人	四種混合	1,320人	小児肺炎球菌	1,320人	二種混合	389人	日本脳炎	3,141人	ポリオ	30人	B型肝炎	990人	麻しん・風しん	660人	高齢者肺炎球菌	2,001人	水痘	680人	高齢者インフルエンザ	9,838人
ワクチン名	延べ接種見込人数	ワクチン名	延べ接種見込人数																															
BCG	330人	ヒブ	1,320人																															
四種混合	1,320人	小児肺炎球菌	1,320人																															
二種混合	389人	日本脳炎	3,141人																															
ポリオ	30人	B型肝炎	990人																															
麻しん・風しん	660人	高齢者肺炎球菌	2,001人																															
水痘	680人	高齢者インフルエンザ	9,838人																															
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、各種予防接種（定期接種）を実施するとともに、対象者への周知に努める。																															

3 野犬掃討・畜犬登録等経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	1	6,355	7,050	6,611	6,020
目的			狂犬病のまん延を未然に防ぎ、公共衛生の向上を図るとともに、野犬の掃討、蜂・カラスの巣の駆除等を行うことにより、市民の安全な生活を確保することを目的とする。			
事業内容			狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録及び狂犬病の予防接種を実施する。また、野犬の掃討、蜂・カラスの巣の駆除等を実施する。			

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">畜犬の登録及び狂犬病予防接種</td> </tr> <tr> <td>畜犬登録予定数 (うち新規登録予定数)</td> <td>2,401頭 (100頭)</td> </tr> <tr> <td>予防接種予定数</td> <td>1,700頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2">野犬及び畜犬の捕獲頭数等</td> </tr> <tr> <td>野犬及び畜犬の捕獲予定数</td> <td>21頭</td> </tr> <tr> <td>小動物死骸処理予定数</td> <td>74件</td> </tr> <tr> <td>カラスの巣の駆除予定数</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>蜂の巣の駆除予定数</td> <td>20件</td> </tr> </table>	畜犬の登録及び狂犬病予防接種		畜犬登録予定数 (うち新規登録予定数)	2,401頭 (100頭)	予防接種予定数	1,700頭	野犬及び畜犬の捕獲頭数等		野犬及び畜犬の捕獲予定数	21頭	小動物死骸処理予定数	74件	カラスの巣の駆除予定数	49件	蜂の巣の駆除予定数	20件
畜犬の登録及び狂犬病予防接種																	
畜犬登録予定数 (うち新規登録予定数)	2,401頭 (100頭)																
予防接種予定数	1,700頭																
野犬及び畜犬の捕獲頭数等																	
野犬及び畜犬の捕獲予定数	21頭																
小動物死骸処理予定数	74件																
カラスの巣の駆除予定数	49件																
蜂の巣の駆除予定数	20件																
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、狂犬病予防注射接種率向上の促進や、野犬の掃討、蜂・カラスの巣の駆除等に努める。																

目 3 保健事業費 (予算説明書 P97～P98)

1 健康増進事業費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	1	41,853	44,519	42,019	36,204
目的			死因第1位であるがんの早期発見や生活習慣病予防対策として、積極的な検診の受診勧奨を実施し、市民の主体的な健康づくりの意識の向上を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			各種検診の受診促進のために、特定年齢を対象としたがん検診及び肝炎ウイルス検査の個別勧奨を継続する。特に若年代層にがん発見が見られる乳がん検診、子宮頸がん検診については個別勧奨に加え、未受診者への再勧奨を継続する。			

○健康づくり事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	1,268	1,044	1,044	846
事業内容	<p>健康通信きらりを作成し、広報紙への折込みを行うほか、健康教室等を実施し、心の健康を含めた健康増進や生活習慣病の予防等に関する知識の普及啓発に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康通信きらりの発行(年4回) 健康教室 生活習慣病予防、がん検診、栄養等について 自殺予防対策 自殺対策計画の策定、こころの体温計、こころの健康教室、自殺予防ゲートキーパー研修、関係機関との連携体制の強化等 			

○健康診査事業費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	40,585	43,475	40,975	35,358

事業内容	主に40歳以上の市民を対象に各種検診等を実施する。			
	検診等	受診見込人数	検診等	受診見込人数
	健康診査	10人	肺がん検診	2,233人
	胃がん検診	527人	大腸がん検診	1,768人
	乳がん検診	1,270人	前立腺がん検診	1,043人
	子宮頸がん検診	867人	歯周病検診	200人
	肝炎ウイルス検査	784人	ピロリ菌検査(成人)	334人
	ピロリ菌検査(中学2年生)	357人	ピロリ菌2次検査・除菌治療(中学2年生)	25人

2 はつらつママリフレッシュ講座経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	1	905	871	871	799
目的			将来的な生活習慣病の発症予防及び母親の育児ストレスの解消を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>4歳未満の子を持つ母親を対象として、運動教室を開催する。なお、運動教室の開催中に託児を併せて行う。</p> <p>また、市民を対象に生活習慣病の予防などに関する講演会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動教室 開催回数：1クール10回を年間4クール実施 参加者数：1クールあたり10人以内 ・講演会 年2回 			
重点的に取り組む事項及び変更点			事業を継続し、参加者の健康づくりの意識向上に努める。			

3 若い世代の健康診査事業費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	2	1,116	1,096	1,096	826
目的			健康診査を受ける機会の少ない若い世代を対象に健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>健康診査を受ける機会の少ない若い世代を対象に、健康診査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診内容 血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測 ・対象 19～39歳の健診を受ける機会の少ない市民（妊婦・学生を除く） ・健診方法 集団健診（年2回） 登別市総合福祉センター 個別健診（通年） JCHO登別病院 ・定員 集団健診 120人 個別健診 50人 			

重点的に取り組む 事項及び変更点	個別健診と集団健診の併用実施を継続し、受診者数の増加を図る。
---------------------	--------------------------------

目 4 環境衛生費 (予算説明書 P97～P98)

1 葬斎場運営管理経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	31,128	34,525	34,525	35,849
目的			葬斎場の適切な運営管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。			
事業内容			指定管理により葬斎場の運営管理を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、適正な運営管理について指導する。			

2 葬斎場中間改修事業費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
2	2	1	6,380	6,372	6,264	0								
目的			葬斎場の計画的な設備改修を行い、設備の機能維持を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>供用開始から14年を経過した葬斎場の長寿命化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行う。</p> <p>【改修箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主燃焼炉耐火物積替 ・再燃焼炉耐火物積替 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,380</td> <td>4,700</td> <td>1,680</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,380	4,700	1,680
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
6,380	4,700	1,680												
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、計画的な設備改修を行い、機能維持等に努める。											

3 墓地管理経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	5,653	5,236	5,236	4,699
目的			墓地の適切な維持管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。			
事業内容			市内10か所の墓地の維持管理及び周辺整備等を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、墓地の維持管理及び周辺整備等に努める。			

4 墓参バス借上料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	148	148	148	105
目的			無料墓参バスを運行することにより、墓参者の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>交通手段の無い墓参者の利便性を考慮し、市街地から離れて位置する富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園への無料墓参バスを運行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行予定日 8月13日（月） ・運行ルート 富浦墓地・第二富浦墓地行 第1ルート：美園・上鷺別・鷺別・新川・幌別・登別地区 第2ルート：若草・新生・桜木・片倉・富士・千歳地区 亀田霊園行 イオン登別店前バス停～亀田霊園 			
重点的に取組む事項及び変更点			墓地を利用する墓参者の利便性を確保するとともに、利用者の増加を図るため、引き続き事業の周知に努める。			

5 共同墓整備事業費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
2	2	1	20,977	2,673	2,565	0								
目的			少子化や核家族化等の社会環境の変化に伴い、新たな埋蔵形態が求められていることから、将来にわたり安心して焼骨を埋蔵できる環境を整備することを目的とする。											
事業内容			<p>共同墓の設置に向け、用地取得、実施設計及び造成・本体工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成に係る実施設計委託 一式 ・造成工事及び本体工事 一式 ・公有財産購入 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,977</td> <td>20,900</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前年度予算額は、「合同墓整備事業費」について記載しています。</p>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	20,977	20,900	77
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
20,977	20,900	77												
重点的に取組む事項及び変更点			平成30年11月の供用開始に向け、共同墓整備及び受け入れ体制の構築に取り組む。											

目5 公害対策費（予算説明書P97～P98）

1 公害対策経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	1	1,308	1,272	1,272	1,152

目的	公害の発生を防止することにより、健康で住みよい生活環境を形成することを目的とする。
事業内容	市内の河川の水質調査、大気のダイオキシン類測定調査を実施する。 【調査内容】 ・河川水質調査 登別川、サト岡志別川 3回 上記以外の9河川 2回 ・ダイオキシン類大気測定調査 2回
重点的に取組む事項及び変更点	引き続き、公害状況の調査を実施する。

2 自動車騒音常時監視委託料（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	1	3,100	2,528	2,528	2,376
目的	自動車騒音常時監視を円滑に行うことにより、沿道地域で生活する市民に直接影響のある市内の自動車騒音の実態を把握することを目的とする。					
事業内容	道路に面する地域の自動車騒音や交通量等を測定し、これらの測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるかの評価（面的評価）を実施する。 ・調査内容 面的評価区間 5路線5区間 10.9km					
重点的に取組む事項及び変更点	引き続き、沿道地域における自動車騒音調査を実施する。					

第4款 衛生費 項2 清掃費

目1 清掃総務費（予算説明書P99～P100）

1 衛生団体連合会運営事業助成金（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	500	500	500	500
目的	公衆衛生の向上やリサイクルの啓発などに取組む団体の活動を支援することにより、きれいで住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図ることを目的とする。					
事業内容	ごみ減量やリサイクルに関する普及啓発、環境美化推進員（クリーンリーダー）の育成事業などを行う衛生団体連合会に対して、運営費の一部を助成する。 【連合会の活動内容】 ・クリーン作戦の実施（連合町内会と共催） ・研修事業の実施 クリーンリーダー研修会等 ・衛団連だよりの発行 活動実績等を町内会に周知					

	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰事業の実施 環境美化活動において、その功績が優れている個人や団体を表彰 ・各種事業への参加 不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり、登別消費生活展
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、同連合会の活動を支援する。

2 資源回収団体奨励金（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	4,500	4,500	4,500	4,006
目的			資源の有効活用の促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			新聞紙や段ボール、びんなど再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金を支給する。 ・回収見込量 1,500トン			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、資源回収団体に対し、奨励金を支給する。			

3 ごみ減量化推進等経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	40,166	34,295	29,991	29,425
目的			ごみの減量化及び循環型社会の実現を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、ごみの減量化や資源再利用の促進、ごみステーション周辺の生活環境の維持に努める。 なお、不用品ダイヤル市については、成立件数が減少傾向にあることなどから、平成29年度をもって業務委託を終了する。			

○ごみ袋管理経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	39,646	33,469	29,165	28,691
事業内容	家庭系ごみの有料化に要するごみ袋の製作、ごみ袋の保管、取扱店への搬送等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋製作経費 22,733千円 ・ごみ袋等保管・搬送経費 7,718千円 ・ごみ処理手数料収納業務委託外 9,195千円 			

○リサイクル・啓発経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	416	722	722	654
事業内容	びんやペットボトル等を回収し、委託により再商品化を行う。			

○ごみステーションネット化推進事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	104	104	104	80
事業内容	<p>ごみステーション周辺的生活環境の維持及びごみ収集の効率化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助する。なお、本事業は本年度をもって終了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 1枚あたり1,300円 ・助成見込数 80枚 			

4 リサイクルまつり開催経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	94	73	73	56
目的			ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>リサイクルまつりを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催予定 7月上旬 ・会場 クリックルセンター ・イベント予定 フリーマーケット、たい肥の無料配布、電気自動車の展示など 			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、ごみの減量やリサイクル意識向上に資するイベントを実施する。			

5 不法投棄等防止経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	231	244	244	146
目的			廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、良好な生活環境を維持し、きれいで住みよいまちづくりを進めることを目的とする。			
事業内容			不法投棄の防止に関する看板の設置、街頭啓発、不法投棄防止パトロール等を実施する。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、不法投棄の防止活動を行う。			

目 2 塵芥収集費 (予算説明書 P99～P100)

1 塵芥収集運搬業務委託料 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
2	1	2	129,212	129,212	129,212	129,212								
目的			家庭ごみの収集を効率的に実施することにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を民間事業者への委託により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集日 月曜日～土曜日 ・収集回数 (一部地域においては異なる) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">燃やせるごみ</td> <td style="text-align: right;">週 2 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">燃やせないごみ (有害ごみを含む)</td> <td style="text-align: right;">月 2 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">資源ごみ</td> <td style="text-align: right;">週 1 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">粗大ごみ</td> <td style="text-align: right;">年 2 回</td> </tr> </table>				燃やせるごみ	週 2 回	燃やせないごみ (有害ごみを含む)	月 2 回	資源ごみ	週 1 回	粗大ごみ	年 2 回
燃やせるごみ	週 2 回													
燃やせないごみ (有害ごみを含む)	月 2 回													
資源ごみ	週 1 回													
粗大ごみ	年 2 回													
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、家庭ごみの収集・運搬を民間事業者への委託により実施する。											

目 3 塵芥処理費 (予算説明書 P99～P100)

1 クリnulセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	648,744	643,351	639,338	614,610
目的			クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等で廃棄物の適正な処理を行うことにより、生活環境の保全及び循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等において廃棄物の適正な処理等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリnulセンター運営管理経費 601,630千円 ・最終処分場運営管理経費 47,114千円 			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等の効率的かつ適切な維持管理を行い、廃棄物の適正処理に努める。			

2 クリnulセンター中間改修事業費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	2	190,500	207,177	210,384	241,953
目的			クリnulセンター長寿命化のための計画的な改修を行うことにより、効率的なごみ処理を推進することを目的とする。			

事業内容	長寿命化計画に基づき改修を行う。			
	・焼却処理施設改修工事	154,959千円		
	・破碎・資源化処理施設改修工事	35,541千円		
	【財源内訳】			
	事業費	財源内訳		
		市債	諸収入	一般財源
	190,500	165,400	6,703	18,397
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、焼却処理施設及び破碎・資源化処理施設の計画的な改修を行う。			

目 4 し尿処理費 (予算説明書 P 101～ P 102)

1 し尿収集業務委託料 (市民生活部環境対策 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	3	34,938	34,971	34,971	34,884
目的			し尿収集を効率的に実施することにより、し尿収集世帯の良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。			
事業内容			し尿収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、し尿収集を民間事業者への委託により実施する。			

2 し尿投入施設維持管理経費 (市民生活部環境対策 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	1	3	47,312	48,775	48,775	46,512
目的			し尿及び浄化槽汚泥を下水道で処理するための前処理を行うし尿投入施設の維持管理を行い、生活排水の適正な処理を行うことにより、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。			
事業内容			し尿投入施設維持管理に要する経費を下水道事業会計に対し、負担金として支出する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、し尿投入施設の効率的かつ適正な維持管理を行い、生活排水の適正処理に努める。			

第5款 労働費 項1 労働諸費

目1 労働諸費 (予算説明書P103～P104)

1 登別市シルバー人材センター補助金 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	1	2	8,800	8,800	8,800	8,800
目的			公益社団法人登別市シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を促進することにより、高齢者の能力を生かした活力のある地域社会づくりを図ることを目的とする。			
事業内容			<p>高齢者事業を推進する同センターを支援するため、運営費の一部を補助する。</p> <p>【センターの主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発と就業開拓及び派遣事業の推進 ・安全就業の推進 ・知識・技能を習得する機会の充実 ・入会の促進と会員組織の充実 ・職業紹介の実施 ・関係機関及び団体との連携強化 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援する。			

2 高校生就職フォローアップ事業費 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	172	172	172	157
目的			進路選択を控えた高校生を対象に、就職応援講座や就業体験などを推進し、勤労観や職業観の醸成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座を実施する。</p> <p>また、市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク室蘭、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職応援講座（高校3年生を対象に、各市1回開催） ・キャリア教育講座（高校2年生を対象に、各市1回開催） ・インターンシップ事業（高校2年生を対象） 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、実施する。			

3 雇用対策救済事業費 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	27,336	27,547	27,547	22,275

目的	季節労働者の通年雇用化を促進するとともに、冬期就業の機会を確保し、就労の安定を図ることを目的とする。
事業内容	公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労に取り組む。 ・公共施設等清掃分（市役所本庁舎ほか） 延べ3,959人工 ・除雪等分（通学路歩道等） 延べ1,750人工
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、実施する。

4 地域職業相談室運営管理経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	2,613	2,613	2,613	2,539
目的			求職活動を行う市民の利便性の向上と就職の促進を図ることを目的とする。			
事業内容			登別中央ショッピングセンター・アークス内に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）の運営管理を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、ハローワーク室蘭と連携し運営する。			

5 若年者等キャリアカウンセリング事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	3,776	3,759	3,759	3,770
目的			若年者等が就職活動等で抱える不安や悩みなどを解消し、自主的・積極的に就職活動ができるよう支援することを目的とする。			
事業内容			就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施する。 ・キャリアカウンセラーによる就職相談の実施 ・キャリア形成等に関するセミナーの開催			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、実施する。			

6 労働相談事業助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	1,000	1,000	1,000	1,000
目的			労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を行うことを目的とする。			
事業内容			連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援する。			

7 勤労者特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算																																							
3	1	2	10,000	12,000	12,000	6,000																																							
目的			市内に居住する勤労者に対して、生活上必要な資金を低利で融資することにより、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とする。																																										
事業内容			<p>市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金種別</th> <th>利率</th> <th>1件あたり融資限度額</th> <th>償還期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活（一般）</td> <td>2.28%</td> <td>100万円</td> <td>10年以内</td> </tr> <tr> <td>生活（特別）</td> <td>1.00%</td> <td>30万円</td> <td>3年以内</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>1.94%</td> <td>300万円</td> <td>10年以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利率は、平成29年4月1日より適用している利率であり、経済情勢に応じて変更することがある。</p> <p>【予算額の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>積立金(千円)</th> <th>協調倍率</th> <th>融資枠(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅資金</td> <td>300</td> <td>5.0倍</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生活資金</td> <td>一般</td> <td>1,500</td> <td>1.5倍</td> </tr> <tr> <td>特別</td> <td>1,200</td> <td>1.0倍</td> </tr> <tr> <td>教育資金</td> <td>7,000</td> <td>1.5倍</td> <td>10,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>13,950</td> </tr> </tbody> </table> <p>※住宅資金については融資残高分のみの預託であり、新規融資の受付は行っていない。</p>				資金種別	利率	1件あたり融資限度額	償還期間	生活（一般）	2.28%	100万円	10年以内	生活（特別）	1.00%	30万円	3年以内	教育	1.94%	300万円	10年以内	項目	積立金(千円)	協調倍率	融資枠(千円)	住宅資金	300	5.0倍		生活資金	一般	1,500	1.5倍	特別	1,200	1.0倍	教育資金	7,000	1.5倍	10,500	合計	10,000		13,950
資金種別	利率	1件あたり融資限度額	償還期間																																										
生活（一般）	2.28%	100万円	10年以内																																										
生活（特別）	1.00%	30万円	3年以内																																										
教育	1.94%	300万円	10年以内																																										
項目	積立金(千円)	協調倍率	融資枠(千円)																																										
住宅資金	300	5.0倍																																											
生活資金	一般	1,500	1.5倍																																										
	特別	1,200	1.0倍																																										
教育資金	7,000	1.5倍	10,500																																										
合計	10,000		13,950																																										
重点的に取り組む事項及び変更点			融資制度を継続する。																																										

目4 職業訓練センター費（予算説明書P103～P106）

1 事業内職業訓練助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	2	2,100	2,100	2,100	2,100
目的			登別職業訓練協会が実施する職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練の運営を支援することにより、地域の企業で働く技能労働者の育成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>同協会に対し、事業内職業訓練の実施に要する経費の一部を助成する。</p> <p>【協会の活動内容（職業訓練課程）】</p> <p>2年間 木造建築科、建築板金科、建築塗装科、建築設計科</p> <p>1年間 経理事務科、OAシステム科</p>			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援する。			

第6款 農林水産業費 項1 農業費

目2 農業総務費 (予算説明書P107～P108)

1 傷病鳥獣等保護経費 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	194	105	105	76
目的			病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰すことにより、豊かな自然環境の形成を図ることを目的とする。			
事業内容			鳥獣等の知識を有する団体に業務を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰す。			
重点的に取り組む事項及び変更点			傷病鳥獣等を現場の状況に応じて適正に保護する。			

2 有害鳥獣駆除経費 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	4,098	4,134	4,134	3,484
目的			有害鳥獣による被害を最小限に食い止めることにより、農林業の振興及び生活環境の維持を図ることを目的とする。			
事業内容			市民からの被害及び苦情相談に基づき、エゾシカ・アライグマ・キツネ・カラス・タヌキ・ヒグマなどの有害鳥獣を駆除する。 ・市民の通報等に対応する有害鳥獣駆除業務委託 ・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、有害鳥獣の駆除に取り組む。			

3 農業振興特別補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	204	741	741	1,099
目的			土地改良事業に係る農業者の経済的負担を軽減することにより、土地改良事業を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容			平成3年以降に実施した土地改良事業(道営農免農道整備事業)に係る受益者負担金相当分を農業者に補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			償還が終わる本年度をもって補助を終了する。			

4 農業次世代人材投資事業費 (経営開始型) (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	2,250	2,250	2,250	2,250
目的			一定の条件を満たす新規青年就農者に対し、就農直後の所得を確保する給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と経営の確立を支援することを目的とする。			

事業内容	<p>地域の農業者が策定した「人・農地プラン」において中心経営体と位置付けられた新規青年就農者に対して、国の制度を活用し給付金を給付する。</p> <p>【給付要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付対象者：平成25年4月以降に農業経営を開始した、単独で自営就農する45歳未満の者 ・所得基準：所得350万円未満 ・給付期間：経営が安定するまでの間（最長5年） ・給付予定者：1経営体（2人） <p>※前年度予算額及び前々年度決算額は、「青年就農給付金（経営開始型）」について記載しています。</p>
重点的に取組む事項及び変更点	青年就農者の経営の安定に向け、引き続き給付事業を行う。

5 登別産一次産品普及促進事業費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	149	349	349	416
目的			市内で生産される農水産物について、地元食材としての認知度の向上と一次産品の価値を高めることにより、地域内での流通や消費の促進を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>市内で生産される牛乳や乳製品、登別牛、のぼりべつ豚、水産物などの一次産品を対象に、生産者等と協力して、市内で実施されるイベント等でPRするほか、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で開催されるイベントでの振る舞いの実施 ・市内宿泊施設や飲食店でのメニュー開発に係る食材サンプルの提供 ・PRのぼりの取扱事業者での掲示 			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、登別産一次産品の普及促進を図る。			

目3 畜産費（予算説明書P107～P108）

1 胆振西部乳牛検定組合補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	429	429	429	429
目的			乳質改善に取り組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助する。</p> <p>【組合の活動内容】</p> <p>乳牛個体ごとの乳量や乳成分、飼料効果、繁殖記録などの成績について解析処理を行う。</p>			

重点的に取組む 事項及び変更点	乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を促進する。
--------------------	---------------------------

2 酪農ヘルパー事業運営補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	660	668	668	672
目的			酪農ヘルパーの普及に取組む団体の活動を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容			酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して、運営費の一部を補助する。 ・組合の活動内容 ヘルパー要員の確保、利用農家との連絡調整等 ・加入農家数 9戸			
重点的に取組む 事項及び変更点			酪農家に対し、酪農ヘルパーの利用による定期的な休暇取得を呼びかけ、労働負担の軽減を図る。			

3 牧場管理経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	1,550	1,550	1,550	1,426
目的			市内畜産農家の育成牛等の預託を受け入れることにより、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容			指定管理制度により、市牧場（鉦山町）の草地の維持管理などを行うとともに、草地が不足している酪農家の育成牛などの受入れを行う。			
重点的に取組む 事項及び変更点			畜産経営の安定的な発展及び生活環境の改善に向け、市牧場への家畜の受入れを継続する。			

4 草地生産力向上支援特別対策事業費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	10,684	8,335	8,335	5,896
目的			草地整備を計画的に進め、良質粗飼料確保と飼料自給率向上により、生産性の高い畜産経営の育成及び安定を図ることを目的とする。			
事業内容			草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業 ・事業参加農家 7戸 草地改良整備総面積 94.20ha ・事業期間 平成27年度～平成30年度 ・事業主体 公益財団法人北海道農業公社 ・平成30年度実施分（6戸 24.60ha）			

重点的に取り組む 事項及び変更点	計画された草地の整備が完了する本年度をもって事業を終了する。
---------------------	--------------------------------

目 4 農地費 (予算説明書 P 107～ P 108)

1 農業用施設等管理経費 (観光経済部農林水産 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	671	649	649	631
目的			農業用施設を適切に維持管理することにより、農業者や地域住民の生活環境の改善、農業基盤の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			農業用通路、農業用排水路などの補修等を行う。 ・農業用通路修繕、海岸吐口閉塞除去作業等			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、農業用施設の機能保全に取り組む。			

目 5 中山間地域対策費 (予算説明書 P 109～ P 110)

1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費 (観光経済部農林水産 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	1,874	1,874	1,874	1,874
目的			農業生産条件が不利な中山間地域の耕作放棄地の発生を防止し、農地の多目的機能を確保することを目的とする。			
事業内容			中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、市牧場を利用している農業者で構成する集落(団体)に対して交付金を交付する。 ・交付対象農地 市牧場 ・実施事業 草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病まん延防止対策など			
重点的に取り組む 事項及び変更点			集落協定に基づく急傾斜農地保全のための活動に対して、引き続き、国や道とともに支援していく。			

目 6 札内高原館費 (予算説明書 P 109～ P 110)

1 札内高原館運営管理経費 (観光経済部農林水産 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	7,052	5,550	5,550	6,041
目的			体験学習及びコミュニティ活動を通して農業に対する市民の知識及び理解を深めることにより、地域農業の振興を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>運営管理を指定管理者に委託し、農畜産加工物に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習メニューの提供 (バターづくり、アイスクリームづくり) ・体育館等の開放 ・指定管理期間 平成30年度～平成32年度
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き、札内高原館の運営に取り組む。</p>

第6款 農林水産業費 項2 林業費

目1 林業振興費 (予算説明書P111～P112)

1 民有林造林推進事業補助金(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	2,061	2,991	2,991	1,420
目的			<p>民有林の所有者が実施する植栽、下刈等の活動を支援することにより、森林の荒廃防止や多面的機能の維持、森林資源の充実を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>民有林造林事業のうち、国、道から補助を受けた下刈、間伐等事業を対象に、事業費の一部を補助する。 【補助対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽面積 5.75ha ・下刈面積 12.54ha ・間伐等面積 9.95ha 			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>民有林に係る下刈等の活動を引き続き支援することにより、民有林の造林事業を推進する。</p>			

2 森林愛護啓蒙事業補助金(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	107	107	107	107
目的			<p>山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う団体を支援することにより、森林の保護及び森林に関連した事故の防止を図ることを目的とする。</p>			
事業内容			<p>登別市森林愛護組合連合会が行う山火事及び遭難防止の巡視活動、チラシの配布や旗の設置による啓発等の事業に対し、その経費の一部を補助する。 【連合会の活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各单位組合による山火事注意啓発用の旗等の設置 ・入山者に対する啓発巡視及びチラシの配布 			
重点的に取り組む事項及び変更点			<p>山火事及び遭難防止の巡視活動、チラシの配布や旗の設置による啓発を図る。</p>			

3 林業振興経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	1,861	815	815	677
目的			急傾斜地の保護などを行うことにより、地域住民の安全確保及び生活環境の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			森林の保護や治山施設の効果を高めるため、治山施設の点検と維持補修、保安林の保護等を行う。 ・治山施設の維持補修、保安林内支障立木枝払い			
重点的に取り組む事項及び変更点			保安林及び治山施設の維持管理を行い、引き続き、治山施設等の機能保全に取り組む。			

第6款 農林水産業費 項3 水産業費

目1 水産業総務費（予算説明書P113～P114）

1 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	300	300	300	300
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			登別漁港まつりにおいて、同協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			登別漁港産秋サケの鮮度をPRし、地場水産物の消費拡大を図るため、引き続き、同協同組合が行う「朝揚げ鮭の抽選即売会」を支援する。			

2 登別救難所運営事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	250	250	250	250
目的			登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う同救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助する。 【登別救難所の活動内容】 登別・白老・虎杖浜救難所合同夏季演習、定期訓練、海難防止パレード、海難事故時の救助活動、各種会議等			
重点的に取り組む事項及び変更点			近年、本市海域では、漁船による海難事故だけではなく、レジャー型の手乗船による海難事故も発生していることから、訓練による救助技術の向上を図るため、引き続き同救難所の活動を支援する。			

3 漁業近代化資金利子補給金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	1,185	535	535	396
目的			漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする。			
事業内容			漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、1%を上限に借入金利子を補給する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努め、更なる漁業資本装備の近代化の促進を図る。			

4 ホッキ空貝処分事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	164	216	216	141
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う漁場整備の取組を支援することにより、「資源管理型漁業」を推進することを目的とする。			
事業内容			同協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			ホッキ空貝の現存量が多いことから、引き続き、ホッキ空貝の処分に係る取組を支援する。			

目2 漁港管理費（予算説明書P113～P114）

1 登別漁港維持管理事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	261	277	277	280
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、安全で快適な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容			いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。			

2 鷺別漁港維持管理事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	2	1	111	110	110	103
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、安全で快適な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容			いぶり中央漁業協同組合に対して、鷺別漁港内の照明灯電気料の一部を補助する。			

重点的に取組む 事項及び変更点	引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。
--------------------	------------------------------------

3 鷺別漁港機能保全事業負担金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
3	2	1	7,065	1,500	1,000	0								
目的			漁港管理者である北海道が実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全事業費の一部を負担することにより、安全で安心な漁港利用の推進を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>「機能保全計画」に基づき、北海道が国の補助事業を活用して実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全工事等に係る費用の一部を負担する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,065</td> <td>6,300</td> <td>765</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	7,065	6,300	765
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
7,065	6,300	765												
重点的に取組む 事項及び変更点			引き続き、機能保全事業費の一部を負担し、安全で安心な漁港利用の推進を図る。											

第7款 商工費 項1 商工費

目1 商工総務費 (予算説明書P115～P116)

1 登別ブランド推進事業補助金 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	2,500	3,000	3,000	3,614
目的			市内の特産品のブランド化等に取り組む登別ブランド推進協議会の活動を支援することにより、登別ブランド事業を推進し、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>同協議会に対して、登別ブランド推奨品やご当地グルメの認知度向上のためのPR活動等に要する経費を補助する。</p> <p>【補助事業の内容】</p> <p>(1) 加工食品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別ブランド推奨認定制度の推進 ・登別ブランドの認知度向上に向けたPR ・登別ブランド推奨品の販売促進及び販路拡大への支援 <p>(2) ご当地グルメ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別閻魔やきそばの認知度向上に向けたPR ・イベント出展等への支援 <p>(3) 食品以外の特産品等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者等が自薦する食品以外の特産品等の募集及び周知 <p>(4) 閻魔大王おすすめ登別の逸品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客等がお薦めする商品等の募集及び周知 <p>(5) 外国人需要取り込み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニュー等翻訳支援及び外国人対応に係るアドバイス 			
重点的に取り組む事項及び変更点			登別ブランド推奨品やご当地グルメに加え、食品以外の特産品等の普及促進を行う同協議会の取組に対し支援する。			

2 ものづくり創出支援事業負担金 (観光経済部商工労政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	3,000	3,000	3,000	2,720
目的			市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			公益財団法人室蘭テクノセンターが行う「ものづくり創出支援事業」に対して、市内中小企業が活用した事業に係る経費を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、市内事業者活用分を負担する。			

3 創業支援事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	8,396	9,175	4,648	4,149
目的			登別商工会議所や金融機関等と連携しながら、創業に関する啓発事業を実施し、創業前から創業後まできめ細やかな支援を行うとともに、事業所の開設費や店舗賃借料の一部を支援することにより、市内における創業を促進し、市内経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所開設費補助金 10件分 5,000千円 市内において新たに事業活動を行う者に対し、事業所を開設する際に要する建物の新築・改造・改装等に係る経費の一部を補助する。 ・空き店舗活用事業補助金 9件分 3,061千円 市内において空き店舗になってから3か月以上経過している店舗を利用して事業を行う者に対し、店舗賃借料の一部を補助する。 ・特定創業支援事業等負担金 335千円 「創業支援事業計画」に基づき、登別商工会議所が実施する特定創業支援事業等（創業スクール等）に要する経費の一部を負担する。 			
重点的に取り組む事項及び変更点			事業所開設費補助金については、一部補助内容を拡充し、JR登別駅前周辺における観光客の取り込みによる消費の喚起、地域のにぎわい創出を目指す。			

4 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	73	73	73	6
目的			札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、実施する。			

5 商談会等出展補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	1,000	1,000	629	563
目的			市内事業者等が自ら開発・製造した製品、技術、サービス等の販路拡大に向けた取組を支援することにより、市内経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			市内事業者等が、自ら開発・製造した製品等の販路拡大に向けて商談会等に出展する際に要する経費の一部を補助する。			

	<p>【補助内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費 出展料、通信運搬費、設備リース料、旅費、宿泊費 ・補助割合 市内事業者 補助対象経費の1/2以内 (登別ブランド推奨認定事業者は2/3以内) 市内事業者で構成される任意のグループ 補助対象経費の3/4以内 ・補助上限額 1補助対象事業につき200千円
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、支援する。

6 中小企業相談事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	7,000	7,000	7,000	7,000
目的			登別商工会議所中小企業相談所が行う中小企業相談事業を支援することにより、市内中小企業者の経営の安定と発展を図ることを目的とする。			
事業内容			同相談所が行う、市内中小企業者の経営の安定と発展に向けた金融や税務等に関する相談事業に要する経費の一部を補助する。 【相談所の主な活動内容】 経営安定相談事業、各種融資制度のあっせんに伴う資金計画等の指導、円滑な事業承継、講演会等の開催の支援			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、支援する。			

7 中小企業特別融資利子補給金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	30	50	50	30
目的			中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減することにより事業活動を支援し、その経営の安定と発展を図ることを目的とする。			
事業内容			中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野進出支援資金の利用者に対し、利子補給を行う。 【補給率】 ・小口事業資金 年0.40% ・団体事業資金 年1.50% ・新分野進出支援資金 年0.70%			
重点的に取り組む 事項及び変更点			本年度より中小企業特別融資の新規受付を中止することから、既存融資分に対する利子補給のみ継続する。			

8 中小企業特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算																				
3	1	1	25,700	46,000	46,000	34,000																				
目的			中小企業者等に低利の融資を行い、円滑かつ積極的な事業活動を支援することにより、経営の安定と発展を図ることを目的とする。																							
事業内容			<p>中小企業者等が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。</p> <p>【予算額の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>積立金 (千円)</th> <th>協調 倍率</th> <th>融資枠 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般事業資金</td> <td rowspan="4">16,800</td> <td rowspan="4">3.0倍</td> <td rowspan="4">50,400</td> </tr> <tr> <td>団体事業資金</td> </tr> <tr> <td>事業所開設資金</td> </tr> <tr> <td>新分野進出支援資金</td> </tr> <tr> <td>小規模商工業近代化資金</td> <td rowspan="2">8,900</td> <td rowspan="2">1.0倍</td> <td rowspan="2">8,900</td> </tr> <tr> <td>小口事業資金</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25,700</td> <td></td> <td>59,300</td> </tr> </tbody> </table>				項目	積立金 (千円)	協調 倍率	融資枠 (千円)	一般事業資金	16,800	3.0倍	50,400	団体事業資金	事業所開設資金	新分野進出支援資金	小規模商工業近代化資金	8,900	1.0倍	8,900	小口事業資金	合計	25,700		59,300
項目	積立金 (千円)	協調 倍率	融資枠 (千円)																							
一般事業資金	16,800	3.0倍	50,400																							
団体事業資金																										
事業所開設資金																										
新分野進出支援資金																										
小規模商工業近代化資金	8,900	1.0倍	8,900																							
小口事業資金																										
合計	25,700		59,300																							
重点的に取り組む 事項及び変更点			本年度より新規受付を中止し、既存融資に係る預託のみ継続する。																							

9 住宅改良促進特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算																		
3	1	1	4,800	8,000	8,000	5,000																		
目的			市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う市民に対して低利の融資を行うことにより、市民の住環境の向上と市内産業の振興を図ることを目的とする。																					
事業内容			<p>市民が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金種別</th> <th>利率</th> <th>融資限度額</th> <th>償還期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅改良</td> <td>1.95%</td> <td rowspan="3">1件あたり 300万円</td> <td rowspan="3">10年以内</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー改良</td> <td>1.75%</td> </tr> <tr> <td>新エネルギー関連改良</td> <td>1.20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利率は、平成29年4月1日から適用している利率であり、経済情勢に応じて変更することがある。</p> <p>【予算額の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積立金（千円）</th> <th>協調倍率（倍）</th> <th>融資枠（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,800</td> <td>1.4</td> <td>6,720</td> </tr> </tbody> </table>				資金種別	利率	融資限度額	償還期間	住宅改良	1.95%	1件あたり 300万円	10年以内	バリアフリー改良	1.75%	新エネルギー関連改良	1.20%	積立金（千円）	協調倍率（倍）	融資枠（千円）	4,800	1.4	6,720
資金種別	利率	融資限度額	償還期間																					
住宅改良	1.95%	1件あたり 300万円	10年以内																					
バリアフリー改良	1.75%																							
新エネルギー関連改良	1.20%																							
積立金（千円）	協調倍率（倍）	融資枠（千円）																						
4,800	1.4	6,720																						
重点的に取り組む 事項及び変更点			融資制度を継続する。																					

10 再生可能エネルギー普及促進事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	328	328	328	532

目的	地域特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進を図ることを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西いぶり定住自立圏形成推進協議会と連携し、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利活用について講演会を開催する。 ・NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶと連携し、小中学校での再生可能エネルギーに関する出前授業や、ネイチャーセンター敷地内の水路に設置した小水力発電装置を活用して、再生可能エネルギーへの理解を深める取組を行う。 ・総合福祉センターの再生可能エネルギー設備を活用した施設見学を実施する。 ・小中学校や施設において、市内における再生可能エネルギーに関する取組を紹介するパネル展を開催する。 ・本市における再生可能エネルギーを利用した新たな取組の可能性について調査・研究を行う。
重点的に取組む事項及び変更点	再生可能エネルギー設備の施設見学やパネル展の開催等の取組を通し、再生可能エネルギーの普及促進に努める。

11 商店街活性化事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算						
3	1	1	4,000	4,000	3,102	2,339						
目的			商店街の活性化と地域の賑わいの形成を図ることを目的とする。									
事業内容			<p>商店会等を対象に、商店街の賑わい創出に向けた事業に要する経費の一部を補助する。</p> <p>また、既存店舗が集客力や買い物環境の向上を目指して行う店舗リフォームに要する経費の一部を補助する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店街活性化支援事業補助金</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業 補助対象経費の2/3以内、上限100万円 ・ソフト事業 補助対象経費の2/3以内、上限50万円 ※複数の商店会等が連携する事業は上限100万円 </td> </tr> <tr> <td>店舗リフォーム補助金</td> <td>補助対象経費の1/2以内、上限20万円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	補助率等	商店街活性化支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業 補助対象経費の2/3以内、上限100万円 ・ソフト事業 補助対象経費の2/3以内、上限50万円 ※複数の商店会等が連携する事業は上限100万円	店舗リフォーム補助金	補助対象経費の1/2以内、上限20万円
区分	補助率等											
商店街活性化支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業 補助対象経費の2/3以内、上限100万円 ・ソフト事業 補助対象経費の2/3以内、上限50万円 ※複数の商店会等が連携する事業は上限100万円											
店舗リフォーム補助金	補助対象経費の1/2以内、上限20万円											
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、支援する。									

12 中小企業者等人材育成事業負担金【新規】（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	1	100	0	0	0

目的	中小企業等の人材育成に係る経費の一部を補助し、生産性の向上や経営力を強化することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容	<p>登別商工会議所と連携して実施する中小企業者等人材育成事業に係る経費の一部を負担する。</p> <p>【補助内容】 中小企業者等が研修機関へ経営者や従業員を派遣し、人材育成を行う事業に係る経費の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費 派遣研修に係る受講料 ※1事業者につき2名までを補助対象とする。 ・補助割合 補助対象経費の1/2以内 ・補助上限額 1名につき1万円 <p>【負担割合】 登別市・登別商工会議所ともに1/4</p>

第7款 商工費 項2 観光費

目1 観光総務費 (予算説明書P117～P118)

1 登別国際観光コンベンション協会助成金 (観光経済部観光振興G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	20,600	20,600	20,600	20,600
目的			観光振興に重要な役割を担う一般社団法人登別国際観光コンベンション協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>同協会に対して、運営管理に係る経費の一部を助成する。</p> <p>【協会の活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総会、理事会、役員会等の開催 (2) 観光協会運営管理業務 (3) 協会ニュース、会報「ぬふるぺつ」の発行 (4) 各種研修会と講習会の実施、観光と温泉に関する調査研究 (5) 親切運動及びホスピタリティの向上 (6) 国内観光関係団体との交流・懇談 (7) 国際交流、親善の実施 (8) 関係機関への陳情・要望 (9) 観光功労者、功績者の表彰 (10) M I C Eの誘致 <p>※前年度予算額及び前々年度決算額は、「登別観光協会助成金」について記載しています。</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、同協会の活動を支援する。			

2 フラワーファンタジーロード事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	650	650	650	650
目的			主要道路の緑化風景を創出することにより、花観光を推進し、誘客に繋げることを目的とする。			
事業内容			<p>登別市観光ホスピタリティ推進協会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、それに要する経費の一部を補助する。</p> <p>【補助事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定時期 5月～10月 ・ 事業内容 草刈及び草取り（期間中4回）、一年草の植栽 			
重点的に取り組む事項及び変更点			観光地としての景観を維持するため、引き続き支援する。			

3 インフォメーションプラザ事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	3,000	3,000	3,000	3,000
目的			さまざまな観光情報等の発信を通じて観光客の満足度を向上させ、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			<p>観光客に安心して旅行を楽しんでもらうため、登別国際観光コンベンション協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、それに要する経費の一部を補助する。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） (2) 観光協会ホームページ及びブログ等の更新業務 (3) 観光イベントや誘客事業等における通訳業務 (4) 観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務 (5) 土産店・飲食店等における外国人観光客への対応支援、ツール等の作成 (6) 市内全域に係る観光情報の収集 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き支援する。			

4 観光振興特別対策事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	44,852	44,852	44,852	44,852
目的			一般社団法人登別国際観光コンベンション協会が行う誘客宣伝事業等を支援し、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>同協会が行う誘客宣伝事業等に対して、それに要する経費の一部を補助する。</p> <p>【補助事業の内容】</p> <p>(1) 誘客宣伝事業</p> <p>①国内向け観光誘客宣伝（道内、道外）</p> <p>②海外向け観光誘客宣伝</p> <p>③広域観光対策の推進及び共同宣伝</p> <p>④パブリシティの活用、各種取材に対する協力</p> <p>⑤ホームページ等の維持管理</p> <p>⑥特別観光団の受入事業</p> <p>⑦M I C E 誘致事業</p> <p>⑧各種観光パンフレット、ノベルティ等の作成</p> <p>⑨その他、誘客宣伝に係る事業</p> <p>(2) まつりイベント事業</p> <p>①特別イベント「鬼火が誘う地獄の谷」</p> <p>②第55回登別地獄まつり（8月25～26日）</p> <p>③第48回登別温泉湯まつり（2月3日～4日）</p> <p>④2019カルルス温泉冬まつり（3月3日）</p> <p>⑤その他、まつり・イベント</p> <p>(3) 環境整備事業</p> <p>①バイパス及び泉源公園等の花卉植栽による景観形成の推進</p> <p>②桜並木の整備及び温泉街等の植樹事業の促進</p> <p>③周辺道路及び温泉街の美化活動</p> <p>④イルミネーション、ライトアップ</p> <p>⑤カルルス温泉の環境整備</p> <p>⑥街路灯、閻魔堂、歓迎鬼像、三大史跡、案内看板等の維持管理</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、同協会の誘客宣伝事業等を支援する。

5 観光客誘客促進事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	1,804	2,128	1,878	1,597
目的			誘客事業の参加を通して、観光客入込の増加を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>観光客の誘客に資する次の事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント等への参加 ・各種行事等における特産品等の提供 ・新聞広告掲載 ・新幹線等に伴う誘客促進事業 ・海外への誘客促進事業 ・登別観光大使による講演会等 			
重点的に取り組む事項及び変更点			北海道新幹線関連等における誘客促進事業を実施するとともに、海外への誘客事業を含めた当該事業を継続する。			

6 観光ホスピタリティ推進事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	900	900	900	900
目的			登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う各種事業を支援することにより、地域ぐるみで観光客におもてなしの心で提供できる取組を推進することを目的とする。			
事業内容			<p>同協議会が行う次の事業等に対して、それに要する経費の一部を補助する。</p> <p>【補助事業の内容】</p> <p>(1) 自然観察事業 （一般財団法人自然公園財団登別支部と共催）</p> <p>①地獄谷散策会 ②日和山原生野草園等の植物観察会 ③橘湖散策会</p> <p>(2) 観光ボランティア支援事業</p> <p>①観光ボランティアガイド活動 ②観光ボランティアガイド研修事業 ③観光ホスピタリティ推進協議会全道大会等参加</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			登別を訪れる観光客を温かく迎えるホスピタリティの向上を図るため、引き続き、支援する。			

7 市民が育む登別観光事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	2,220	2,220	2,220	2,158
目的			市民に登別地獄まつり「鬼踊り」への参加や日帰り入浴を促すことにより、「観光都市のぼりべつ」の一員としての意識や一体感を高めることを目的とする。			
事業内容			<p>第55回登別地獄まつり鬼踊りの参加や市内温泉施設の利用を促すため、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登別地獄まつり鬼踊り参加者に対するバス運行 同参加者への日帰り入浴券（1,000円分）配付 町内会行事での市内温泉施設、テーマパーク等の利用に対する一部助成 <p>宿泊 20～50人 30,000円、51人以上 60,000円 日帰り 8～19人 5,000円、20～50人 20,000円 51人以上 40,000円</p>			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、市民全体に「観光都市のぼりべつ」の一員としての意識醸成を図る。			

8 道内周遊ルート構築事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	2,500	2,000	2,000	2,287
目的			道内他自治体と共同で、誘客促進及び受入環境整備事業を展開し、道内周遊ルートを構築することを目的とする。			

事業内容	<p>札幌市、函館市と共同で、道内周遊ルート（北海道ドラマティックロード）の構築を目指し、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社や交通事業者等と連携した情報発信・プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 周遊ルート専用冊子、チラシの作成 道外共同プロモーション ・レンタカー会社との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> レンタカーを利用し、3市を周遊するプランの造成 ・周辺自治体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 小樽やニセコエリアなどとの連携によるルートの構築 JR東日本管内における駅構内や東日本エリアの空港でのポスター掲出 ・インバウンド向け事業 <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者等とのタイアップによる訪日外国人観光客の誘客促進
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、3市合同によるイベントへの参加や情報発信などを行い、当該周遊ルートへの誘客を図る。

9 JR 登別駅エレベーター等設置調査費負担金【新規】（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
3	1	3	7,823	0	0	0								
目的			JR 登別駅へのエレベーター等の設置に向けて、工事費の積算に必要な調査等を行うことを目的とする。											
事業内容			<p>JR 登別駅は地盤が悪く、その対応方法等によって工事費が大きく変動する可能性があることから、エレベーター等の設置に係る工事費の積算のため、北海道旅客鉄道株式会社が行う地質調査等に係る費用の一部を負担する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,823</td> <td>6,500</td> <td>1,323</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		繰入金	一般財源	7,823	6,500	1,323
事業費	財源内訳													
	繰入金	一般財源												
7,823	6,500	1,323												

10 登別温泉開湯 160 年記念事業補助金【新規】（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	1,000	0	0	0
目的			一般社団法人登別国際観光コンベンション協会が行う登別温泉開湯 160 年記念事業を支援することにより、魅力的な観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			市民と観光客のふれあいの場となっている泉源公園の利便性の向上に向け、同協会が行う環境整備に要する経費の一部を補助する。			

目 2 観光施設費 (予算説明書 P117～P118)

1 観光施設維持管理経費 (観光経済部観光振興G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	2,241	3,177	2,259	1,964
目的			各観光施設の維持管理や美化清掃を行い、観光客に快適に利用してもらうことを目的とする。			
事業内容			観光客が快適に観光施設を利用できるよう次の事業に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・国立公園内観光施設維持事業 ・国立公園清掃活動費補助金 国立公園内の清掃美化を実施している一般財団法人自然公園財団登別支部に補助金を交付する。 ・カルルス温泉駐車場清掃業務 カルルス温泉駐車場トイレ等の清掃をカルルス温泉町内会に委託して実施する。 ・桜並木沿道景観向上事業 道道洞爺湖登別線中登別地域(桜並木部分)の景観向上を図るため、沿道の縁石際の草刈を実施する。 			
重点的に取り組む事項及び変更点			桜並木沿道の景観向上に努めるとともに、引き続き、安全・安心な観光施設の維持管理に努める。			

2 観光施設維持管理委託料 (観光経済部観光振興G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	1,000	1,000	1,000	1,000
目的			国立公園内にある各観光施設の安全・安心な利用の提供を目的とする。			
事業内容			国立公園内にある各観光施設の小破修繕等を登別国際観光コンベンション協会に委託し、観光客が快適に観光施設を利用できるよう維持管理に取り組む。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、安全・安心な観光施設の維持管理に努める。			

3 地獄谷木道改修事業費 (観光経済部観光振興G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
3	1	3	8,699	0	0	14,343											
目的			地獄谷の木道の安全・安心な利用の提供を目的とする。														
事業内容			硫黄や風雪雨により劣化が進行している地獄谷木道について、未改修部分の改修を行う。 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,699</td> <td>4,349</td> <td>3,200</td> <td>1,150</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			道支出金	市債	一般財源	8,699	4,349	3,200	1,150
事業費	財源内訳																
	道支出金	市債	一般財源														
8,699	4,349	3,200	1,150														

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、地獄谷木道の適切な維持補修に努める。
---------------------	-------------------------

目 3 温泉供給管理費 (予算説明書 P 117～ P 118)

1 温泉供給施設維持管理経費 (観光経済部観光振興 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
3	1	3	11,934	12,141	12,141	11,109
目的			上登別地区への安定的な温泉供給を図り、観光地の多様性を確保し、もって魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。			
事業内容			上登別地区への温泉供給及び温泉供給施設の維持や補修等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 給湯管やポンプ場等の点検整備及び修繕等 ・温泉供給件数 営業用 2 件、一般用 27 件 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、温泉供給施設の適切な維持補修に努める。			

第8款 土木費 項1 土木管理費

目1 土木総務費 (予算説明書P119～P120)

1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	1	2	437	378	378	331
目的			市民との協働による、きれいなまちづくりの推進を目的とする。			
事業内容			2人以上で構成する団体が道路・公園・河川敷など公共施設の里親となり、清掃や美化のボランティア活動を行うアダプトプログラムを実施する。 ・参加団体数 43 団体 ・活動箇所 52 か所 (道路 23、公園 16、河川 13)			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、アダプトプログラムによる道路等の清掃を実施する。			

第8款 土木費 項2 道路橋梁費

目1 道路橋梁総務費 (予算説明書P121～P122)

1 道路台帳図作成委託料 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	3,340	3,000	3,000	2,916
目的			新規認定した路線等の現況測量及び台帳作成等を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容			新規(変更)認定した路線の現況測量・台帳作成、道路工事により整備された道路の台帳修正等を委託により実施する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、新規認定路線等の現況測量及び台帳作成等を着実に実施する。			

2 市道用地確定測量委託料 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	4,794	5,946	5,946	3,596
目的			市道用地の現況測量や用地確定測量を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容			道路整備を完了している市道のうち、未処理となっている用地の現況測量や用地確定測量を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、市道・排水路用地の未処理用地について、適切な管理を行う。			

3 市道用地買収費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	1,000	1,500	1,500	294
目的			未処理用地の買収を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容			道路整備を完了している市道の未処理用地のうち、市道用地確定測量を行った用地の買収を行う。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、未処理用地の買収を着実に実施する。			

目2 道路維持費（予算説明書P121～P122）

1 ロードマーク設置費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	3	1,500	1,500	1,500	1,383
目的			ロードマーク管理を適切に行うことにより、通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			車道センターライン及びドット線等の区画線塗布を行う。			
重点的に取組む事項及び変更点			車両の走行や除雪等により摩耗し、不明確となっている区画線等について施工を行う。			

2 除雪対策経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	57,000	55,000	55,000	90,889
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			市道の除排雪や凍結防止剤の散布を行う。 【対象路線】 車道除雪 1,146 路線 除雪延長 L=268.5km 歩道除雪 103 路線 除雪延長 L= 63.3km 凍結防止剤散布 191 路線 散布実延長 L= 60.0km 【除雪実施要件】 おおむね降雪量 15 cmを基準に路面状況を考慮して出動			
重点的に取組む事項及び変更点			市道の除排雪及び凍結防止剤の散布を施工業者への委託により実施する。			

3 冬道対策経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	6,784	6,463	6,463	6,532
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			

事業内容	すべり止め用砂箱及びロードヒーティングの補修や砂、凍結防止剤等の購入を行う。
重点的に取組む事項及び変更点	ロードヒーティングを設置していない坂道や凍結しやすい路線等の安全確保のため、引き続き実施する。

4 市道常時補修費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	80,965	81,100	81,100	80,531
目的			市道の適切な維持管理を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			市道の維持管理・補修を行うとともに、排水・路面清掃、道路沿線草刈り及び道路パトロールを委託により実施する。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き実施する。			

5 道路付属施設整備事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
4	3	1	80,116	28,620	17,401	31,497											
目的			道路及び道路の付属施設であるトンネルや街路灯、擁壁、法面などを点検し、補修することで歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。														
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・大湯沼1号線法面補修工事 L=20.0m ・大湯沼1号線落石防護網改修工事 L= 8.0m ・鷲別学田路線凍雪害防止工事 L=90.0m ・フンベ山トンネル分電盤補修工事 1基 ・登別温泉中央通り擁壁補修工事 L= 5.0m ・登別温泉中央通り落石防護網改修工事 L=16.0m ・測量調査設計委託 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">80,116</td> <td style="text-align: center;">48,000</td> <td style="text-align: center;">28,900</td> <td style="text-align: center;">3,216</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	80,116	48,000	28,900	3,216
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
80,116	48,000	28,900	3,216														
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、施設点検を実施するとともに、点検結果に基づき補修が必要な施設について修繕を行う。														

6 除雪機械更新事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	45,603	0	0	31,597
目的			除雪機械を更新し、市道の除雪作業の円滑化を図ることにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			

事業内容	除雪グレーダ1台を更新する。 【財源内訳】			
	事業費	財源内訳		
		国庫支出金	市債	一般財源
	45,603	30,000	10,400	5,203
重点的に取り組む 事項及び変更点	除雪機械を計画的に更新し、安定した市道除雪の実施に努める。			

目3 道路新設改良費 (予算説明書P121～P122)

1 道路排水対策事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
2	3	1	170,200	186,000	186,000	166,883								
目的			大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。											
事業内容			<p>大雨による道路冠水多発地域を対象に、排水路改良、排水路清掃等を実施する。</p> <p>【対象地域】 若草町、新生町ほか</p> <p>【実施内容】</p> <p>(ポンプ施設関連工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設機械工事 一式 ・ポンプ施設電気工事 一式 ・ポンプ施設導水管工事 一式 <p>(排水路・改良工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水路工事 L=205m ・改良工事 L=200m <p>(排水路清掃)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線排水路清掃委託 一式 <p>(実測実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量調査委託 一式 ・実施設計委託 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>170,200</td> <td>138,900</td> <td>31,300</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	170,200	138,900	31,300
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
170,200	138,900	31,300												
重点的に取り組む 事項及び変更点			大雨等による道路冠水を軽減するため、全体計画に基づき事業を着実に実施する。											

2 市道舗装排水整備事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	145,000	150,000	150,000	109,385
目的			市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うことにより、総合的な道路交通網の整備や歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			

事業内容	市道の改良、舗装及び排水路工事、並びに工事に係る測量調査及び実施設計委託を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 12本 L=780m ・道路舗装工事 2本 L=140m ・排水路工事 3本 L=75m ・測量調査委託 一式 ・実施設計委託 一式 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>145,000</td> <td>119,700</td> <td>25,300</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳		市債	一般財源	145,000	119,700	25,300
	事業費		財源内訳						
市債		一般財源							
145,000	119,700	25,300							
重点的に取組む事項及び変更点	引き続き、市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うとともに、JCHO登別病院移転に伴い市道整備を実施する。								

3 道道上登別室蘭線東通改良受託事業費（都市整備部都市政策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
4	3	1	340,026	153,225	251,555	71,380								
目的			市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全を確保することを目的とする。											
事業内容			北海道により進められている道道上登別室蘭線東通の拡幅改良事業のうち、用地補償業務を北海道から委託を受けて実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 一式 ・物件移転等補償 一式 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>道支出金</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>340,026</td> <td>340,000</td> <td>26</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	340,026	340,000	26
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
340,026	340,000	26												
重点的に取組む事項及び変更点			事業の円滑な推進のため、引き続き、対象となる土地に係る用地補償業務を進める。											

目 4 橋梁維持費（予算説明書P121～P124）

1 橋梁維持補修経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	3	1	2,444	2,451	2,451	2,180
目的			橋梁の適切な維持管理を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容			橋梁の維持管理・補修を実施する。			
重点的に取組む事項及び変更点			引き続き、定期的な点検を行うとともに、橋梁施設の維持補修を行う。			

2 橋梁長寿命化事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
4	3	1	45,526	45,526	43,398	29,874											
目的			橋梁の延命化によるライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を行うことを目的に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。														
事業内容			橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修設計及び工事等を実施する。 ・補修工事 2橋 ・補修設計 2橋 ・補修委託 1橋 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,526</td> <td>24,000</td> <td>19,100</td> <td>2,426</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	45,526	24,000	19,100	2,426
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
45,526	24,000	19,100	2,426														
重点的に取り組む事項及び変更点			橋梁長寿命化修繕計画に基づき、点検や修繕を実施する。														

第8款 土木費 項3 河川費

目2 河川維持費（予算説明書P125～P126）

1 河川維持補修経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	1	7,338	4,572	4,572	4,517
目的			河川の適切な維持管理を行うことにより、治水対策の推進及び環境維持・安全性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			河川施設の修繕、河川敷地の草刈及び現況調査等を実施する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、河川の適正管理を行うとともに、現況調査により、異常箇所早期発見及び対策に努める。			

第8款 土木費 項4 都市計画費

目1 都市計画総務費（予算説明書P127～P128）

1 空家等対策事業費（都市整備部都市政策G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	6	4,716	1,647	1,647	0
目的			総合的かつ計画的な空家等対策を実施することにより、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする。			

事業内容	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法及び登別市空家等対策計画に基づき、総合的な空家等対策を実施するとともに、広く市民に周知・啓発を行い、空家等の発生抑制、所有者等による適切な管理及び利活用に向けた対策を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策審議会の運営 ・空家等対策事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> 特定空家等の除却費用の一部補助 除却工事費の 1/2 (上限額 50 万円) 空き家の改修費用の一部補助 対象工事費 300 万円以上 補助基本額 70 万円 加算額 子ども一人当たり 10 万円 (上限 30 万円)
重点的に取組む事項及び変更点	<p>引き続き、管理不全の空き家の所有者等に対し適切に管理するよう働きかけるとともに、空家等の利活用の促進、発生抑制のための対策を行う。</p> <p>また、特定空家等への対策として、必要に応じて調査及び認定等の取組を行う。</p>

2 都市計画マスタープラン更新事業費【新規】(都市整備部都市政策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
4	1	1	8,370	0	0	0								
目的			登別市都市計画マスタープランの見直しを行い、市民が安心して暮らすことのできるようなまちづくりの指針とすることを目的とする。											
事業内容			<p>急激な人口減少など、現在までの社会経済情勢の変化を踏まえ、新たな課題に対応した将来像の方向性を示すため、都市計画マスタープランの見直しに着手し、平成 33 年度の更新を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行都市計画マスタープランの検証 ・市民意識の把握 (市民アンケート調査) <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,370</td> <td>7,000</td> <td>1,370</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		繰入金	一般財源	8,370	7,000	1,370
事業費	財源内訳													
	繰入金	一般財源												
8,370	7,000	1,370												

3 景観みどり推進経費 (都市整備部都市政策G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	1	2	438	453	453	201
目的			良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これらを次の世代へ継承していくことを目的とする。			
事業内容			<p>登別市景観とみどりの条例に基づき、市民等との協働による良好な景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観・みどり審議会の運営 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・みどり推進会議の運営 ・条例に基づく各指定 登別景観・みどり遺産、眺望ポイント、保護樹 ・景観フォトパネル展の実施
重点的に取組む 事項及び変更点	引き続き、条例に基づく各種案件の指定に向け事務を進めるとともに、市と推進会議とが協働した活動の実施や、市民への景観とみどりに関する情報の発信及び意識啓発に努める。

目 2 公園管理費 (予算説明書 P127～P128)

1 街区公園等清掃交付金 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	1	605	620	620	610
目的			街区公園等の維持管理を町内会の協力を得ながら行うことにより、生活に身近な公園等の景観を保持するなど、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
事業内容			地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付する。 ・実施町内会 40 町内会 ・実施公園数 51 か所			
重点的に取組む 事項及び変更点			市民との協働により、快適な住環境づくりを推進するため、引き続き交付する。			

2 公園維持管理経費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	1	85,983	85,407	85,407	84,268
目的			市内 135 か所の公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
重点的に取組む 事項及び変更点			公園・広場を安全で安心して利用できるよう、引き続き、安全点検に重点的に取り組む。			

※当初予算額等には、下記4事業のほか事務費含む

○登別ビーチパーク分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	15,158	15,073	15,073	14,947
事業内容	登別ビーチパークの維持管理を行う。			

○指定管理者維持管理公園分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	36,783	36,772	36,772	36,758

事業内容	亀田記念公園、若草中央公園、富岸公園、新川公園、らいば公園及び川上公園（Aゾーン）の維持管理を行う。
------	--

○キウシト湿原分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	4,328	4,274	4,274	4,353
事業内容	キウシト湿原の維持管理を行う。			

○その他公園分

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	29,371	28,945	28,945	27,857
事業内容	登別ビーチパーク、指定管理者による維持管理公園、キウシト湿原を除く、127か所の公園・広場と街路樹の維持管理を行う。			

3 都市公園施設長寿命化事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
4	2	1	40,425	40,894	33,554	29,823											
目的			都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。														
事業内容			都市公園を対象に、公園施設の改築及び修繕等を行う。また、併せて公園施設長寿命化計画の更新を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設改築 1か所 ・公園施設修繕 一式 ・公園施設長寿命化計画更新 一式 【財源内訳】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="3">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>40,425</td> <td>19,000</td> <td>14,800</td> <td>6,625</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	40,425	19,000	14,800	6,625
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
40,425	19,000	14,800	6,625														
重点的に取組む事項及び変更点			公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改築及び修繕を行い、併せて公園施設長寿命化計画の更新を実施する。														

目3 緑化推進費（予算説明書P127～P128）

1 緑化推進経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	1	3,934	3,877	3,877	3,958
目的			市民参加による各種事業を行うことにより、みどり豊かなまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容			緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民緑化推進事業（6月） 公共施設に植栽する樹木や花苗を町内会へ配布する。 ・沿道美化事業（4月、7月） 道道弁景幌別線などの沿道へ花苗を植栽する。 ・試験育苗事業 6団体の参加のもと、ビニールハウス内で花苗の試験育苗を行い、その花苗を公共花壇等へ植栽する。 ・みどりの講習会 みどりに関する情報の発信を推進するため、各種講習会を開催する。 ・グリーンデータバンク 家庭で育てられなくなった樹木等の有効活用を図るため、受取り希望者への仲介を行う。
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、市民や関係団体と連携を図り、各種事業に取り組む。

第8款 土木費 項5 住宅費

目1 住宅管理費（予算説明書P129～P130）

1 市営住宅非常用照明改修事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	2	5,260	0	0	0
目的			非常用照明の機能を確保することにより、火災などの非常時に安全に屋外へ避難できることを目的とする。			
事業内容			設置から一定期間を経過した避難経路の非常用照明の改修を順次実施する。 ・緑ヶ丘団地1～5号棟 非常用照明取替 一式			

2 市営住宅等長寿命化計画策定事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
4	2	2	4,729	0	0	0								
目的			将来人口等から定めた目標管理戸数や築年数等を踏まえ、改修や建替え等の市営住宅の活用手法を定め、長期的な維持管理を行うことを目的とする。											
事業内容			市営住宅等長寿命化計画の改定に着手し、平成31年度の策定を目指す。 ・基本的な考え方の整理 ・基礎調査の実施 【財源内訳】											
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,729</td> <td style="text-align: center;">2,128</td> <td style="text-align: center;">2,601</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		国庫支出金	一般財源	4,729	2,128	2,601
事業費	財源内訳													
	国庫支出金	一般財源												
4,729	2,128	2,601												

目 2 建築指導費 (予算説明書 P129～P130)

1 民間建築物の耐震化に対する支援 (都市整備部建築住宅G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	2	15,562	11,744	593,161	64,423
目的			民間所有の住宅・建築物の耐震性向上に向けた取組に対して支援を行うことにより、地震発生時の住宅・建築物の倒壊等による被害の軽減を図ることを目的とする。			
重点的に取組む事項及び変更点			民間所有の住宅・建築物の耐震化を促進するため、耐震診断に要する費用の一部を引き続き補助するとともに、要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修等に要する費用の一部を補助する。			

○要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	13,462	9,644	593,161	64,423
事業内容	<p>建築物の耐震改修の促進に関する法律により、耐震診断の実施等が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進するため、耐震診断により耐震性を満たさないと判断された建築物について、補強設計を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建築物 ホテル・旅館で階数3階以上かつ5,000㎡以上の建築物 (市内で6棟が該当) ・補助金額 補助対象補強設計費用の23%以内 ・対象棟数 補強設計 2棟 			

○民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	2,000	2,000	0	0
事業内容	<p>耐震化が努力義務となっている多数の者が利用する民間特定既存耐震不適格建築物について、耐震診断を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建築物 民間特定既存耐震不適格建築物 ・補助金額 補助対象耐震診断費用の2/3以内 (限度額200万円) ・対象棟数 1棟 			

○木造住宅耐震化促進事業補助金

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	100	100	0	0
事業内容	<p>耐震化が努力義務となっている木造住宅について、耐震診断を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象建築物 戸建木造住宅等 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金額 補助対象耐震診断費用の2/3以内 (限度額 5 万円) ・対象棟数 2 棟
--	--

目 3 住宅建設費 (予算説明書 P 129～ P 130)

1 市営住宅 (幌別東団地) 外壁改修事業費 (都市整備部建築住宅 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
4	2	2	11,392	10,700	10,700	9,072								
目的			老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。											
事業内容			<p>幌別東団地のベランダ面外壁の劣化が進んでいるため、改修工事を行う。</p> <p>また、既存住棟等の外壁塗膜分析調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁改修工事 (ベランダ面のみ) 一式 ・外壁塗膜分析調査 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,392</td> <td>8,000</td> <td>3,392</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	11,392	8,000	3,392
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
11,392	8,000	3,392												
重点的に取り組む事項及び変更点			外壁の劣化が著しく、改善の緊急性が高いものが数棟あることから、優先順位により計画的に事業を進める。											

2 市営住宅 (千代の台団地) 建替事業費 (都市整備部建築住宅 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
4	2	2	87,703	81,829	75,500	46,554											
目的			老朽化した千代の台団地の建替えを実施することにより、入居者が安全で安心して快適に暮らせる住まいを提供することを目的とする。														
事業内容			<p>千代の台団地 1 号棟 56 戸のうち 32 戸分の建設工事を 2 年で行う。</p> <p>また、既存住棟等の外壁塗膜分析調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 号棟建替工事 一式 ・ 1 号棟建替工事監理委託 一式 ・ 既存住棟等外壁塗膜分析調査等 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87,703</td> <td>25,632</td> <td>60,900</td> <td>1,171</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	87,703	25,632	60,900	1,171
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
87,703	25,632	60,900	1,171														
重点的に取り組む事項及び変更点			前年度に行った実施設計に基づき、建替工事を行う。														

3 市営住宅（登別温泉団地）浄化槽改修事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
4	2	2	45,000	4,990	4,536	297											
目的			老朽化した既存の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に改修することにより、入居者が快適で安心して生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。														
事業内容			<p>老朽化により処理能力の低下した登別温泉団地1号棟の単独処理浄化槽を新たに合併処理浄化槽へ改修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽改修工事 一式 <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000</td> <td>15,750</td> <td>29,200</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	45,000	15,750	29,200	50
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
45,000	15,750	29,200	50														
重点的に取組む事項及び変更点			前年度に行った実施設計に基づき、改修工事を行う。														

4 市営住宅物置改修事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
4	2	2	6,600	6,600	6,340	0
目的			老朽化した市営住宅物置の改修を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>老朽化により市営住宅物置の戸の開閉困難や外壁の腐食等が進行しているため、改修工事を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏木団地物置改修工事（48戸分） 一式 			
重点的に取組む事項及び変更点			外壁等の腐食が著しく、改善の緊急性が高いものが数棟あることから、優先順位により計画的に事業を進める。			

第9款 消防費 項1 消防費

目1 常備消防費 (予算説明書P131～P132)

1 救急救命士養成事業費 (消防本部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	2	3	2,736	2,800	2,800	2,726
目的			救急救命士の有資格者を養成し、救急救命体制の強化を図ることを目的とする。			
事業内容			職員を救急救命士養成のため研修所へ派遣し、国家試験を受験させ、資格を取得させる。 ・派遣者数 1人 ・派遣期間 9月～3月			
重点的に取組む事項及び変更点			救急救命士養成計画に基づき、救急救命士の養成を進める。			

目3 消防施設費 (予算説明書P131～P134)

1 消防支署新庁舎建設事業費 (消防本部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算											
2	3	2	107,137	80,493	72,194	6,059											
目的			登別温泉支署と登別支署の統合支署を建設することにより、効率的かつ効果的な消防体制の強化を図ることを目的とする。														
事業内容			統合支署敷地の造成工事を行うほか、防災拠点機能を有し、女性消防職員にも対応した新庁舎の建設工事を2か年で行う。 ・造成工事 一式 ・本体工事(1年目) 一式 ・工事監理委託(1年目) 一式 【財源内訳】														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>107,137</td> <td>8,000</td> <td>79,600</td> <td>19,537</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			繰入金	市債	一般財源	107,137	8,000	79,600	19,537
事業費	財源内訳																
	繰入金	市債	一般財源														
107,137	8,000	79,600	19,537														
重点的に取組む事項及び変更点			平成32年度の供用開始に向け事業を進める。														

2 水槽付消防ポンプ自動車更新事業費 (消防本部総務G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	3	2	54,456	0	0	91,713
目的			水槽付消防ポンプ自動車を更新することにより、消防体制の強化を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>火災等の災害に対し、迅速かつ確実な消火活動を維持するため、消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新する。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" data-bbox="624 300 1385 418"> <thead> <tr> <th data-bbox="624 300 810 376" rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3" data-bbox="810 300 1385 338">財源内訳</th> </tr> <tr> <th data-bbox="810 338 1002 376">国庫支出金</th> <th data-bbox="1002 338 1182 376">市債</th> <th data-bbox="1182 338 1385 376">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="624 376 810 418">54,456</td> <td data-bbox="810 376 1002 418">15,820</td> <td data-bbox="1002 376 1182 418">29,800</td> <td data-bbox="1182 376 1385 418">8,836</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	54,456	15,820	29,800	8,836
事業費	財源内訳											
	国庫支出金	市債	一般財源									
54,456	15,820	29,800	8,836									
重点的に取組む事項及び変更点	消防車両を計画的に更新し、消防体制の強化を図る。											

第10款 教育費 項1 教育総務費

目3 指導教育研究費 (予算説明書P135～P138)

1 不登校・いじめ等対策経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	199	218	218	151
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容			<p>教育指導専門員による相談や研修会の開催、学習資料による啓発などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育指導専門員2人配置 月～金9:00～17:00 ・教育相談及びいじめ相談電話 随時受付 ・不登校・いじめ等対策会議 2回(5月・2月) ・教職員を対象とした研修会 2回(6月・11月) ・ふれあいサポート懇談会 2回(6月・10月) ・「いじめ学習資料」等の配布 5回(各小中学校に配布) ・自然体験(鷺別岳登山) 1回(8月) 			
重点的に取り組む事項及び変更点			いじめ、不登校問題の解決に向け、児童生徒、保護者、学校、関係機関等と連携を図りながら、引き続き、市が主体となり事業を実施する。			

2 スクールカウンセラー活用事業費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	50	50	50	49
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容			<p>カウンセリング体制の充実を図るため、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童生徒の相談等に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置校及び日数(拠点校方式) 幌別中学校、緑陽中学校、鷺別中学校 各28日 			
重点的に取り組む事項及び変更点			児童生徒の抱える問題が多様化し、相談内容も複雑化していることから、引き続き専門家によるカウンセリング機能の充実を図る。			

3 心の教室相談員活動経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	178	178	178	147
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するため、生徒が心にゆとりを持ち、ストレスをためることのない環境をつくることを目的とする。			
事業内容			心の教室相談員を全中学校に配置し、生徒の悩み相談等に対応する。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・配置校及び日数 幌別中学校、西陵中学校、鷺別中学校、 登別中学校、緑陽中学校 各80日 ・配置人数 各1人
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、地域の方による相談体制の充実を図る。

4 スクールソーシャルワーカー活用事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	25	25	25	6
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容			教育委員会に配置するスクールソーシャルワーカー（2人）を各小中学校へ派遣し、不登校やいじめの解決に向け、学校の支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 ・親との懇談 ・電話での相談対応 ・教職員向けの研修会の実施 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			学校との緊密な連携のもと、不登校の児童生徒や家庭へ効果的な働きかけを行う。			

5 いじめ重大事案対策委員会経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	96	91	91	0
目的			いじめによる重大事案発生時における調査等を行う組織を設置することで、重大事案の対処及び再発防止を図ることを目的とする。			
事業内容			いじめによる重大事案の対処や再発防止に向けて調査審議を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 5人 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			重大事案発生時、調査審議を行うとともに、同様の事態発生防止に努める。			

6 学校図書館司書配置事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	109	104	104	71
目的			学校図書館司書を配置することにより、学校図書館の機能向上を図ることを目的とする。			
事業内容			学校図書館司書を配置し、学校図書館の運営に参画することで、子どもが利用しやすい学校図書館を実現するための環境整備を図るとともに、子どもの読書活動を推進するための多様な支援活動等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・配置校 全小学校（2校につき1人配置） 			

	・活動内容 書籍の陳列方法や内容紹介の工夫 読書活動の企画・支援
重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、児童が利用しやすい図書館をつくるための環境 整備に努める。

7 特色ある学校づくり推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	5,235	5,380	5,000	4,288
目的			地域の特性を生かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。			
事業内容			総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進する。 ・登別温泉入浴体験事業（小学校3年生） 参加対象児童 330人 ・総合的な学習活動研究推進事業（全小中学校） 講師講演、野外体験学習、職場体験学習など ・生活科学習（小学校1、2年生） 動物の飼育や学校菜園、花いっぱい運動の実施			
重点的に取り組む 事項及び変更点			産業や自然など地域の素材を活用した、ものづくりや社会体験・観察を通じて、児童生徒が自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力の育成を図る。			

8 自然体験学習推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,370	1,365	1,365	1,302
目的			地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。			
事業内容			ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させる。			

9 小中学校情報教育推進事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	12,810	35,332	33,661	32,428
目的			情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。			
事業内容			パソコンや実物投影機等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することで、情報教育の推進及び校務等の効率化を図る。 また、平成32年1月のWindows 7サポート終了に対応するた			

	め、パソコンの更新を行う。 ・パソコン更新台数 194台
重点的に取り組む 事項及び変更点	情報通信機器を積極的に活用することにより、児童生徒の 学習への関心や理解の深化に努める。

10 コミュニティスクール活動支援事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,150	1,150	1,150	641
目的			学校・保護者・地域が一体となった「コミュニティスクール」の活動を支援・推進することにより、三者の意見が反映される「地域と共にある学校づくり」を実現することを目的とする。			
事業内容			学校運営に関する会議の開催、地域人材バンクの活用（登下校時の見守り隊、放課後学習サポートなど）、自然・社会体験行事などの地域連携活動事業を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			学校支援地域本部事業、PTAとの連携を深め、学校を核とした地域ネットワークの形成により、地域の教育力向上に努める。			

11 言語障害通級指導教室運営経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,060	761	761	152
目的			言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。			
事業内容			言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行う。 ・通級児童見込数 幌別小学校 幼児部25人、小学部36人 鷺別小学校 幼児部6人、小学部20人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			本年度4月から鷺別小学校にことばの教室を新設し、言語障がい教育の充実を図る。			

12 特別支援教育振興費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	365	362	362	362
目的			心身に障がいのある児童生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。			
事業内容			特別支援教育の指導内容の研究、実践等を行う。 ・市内小中学校特別支援学級の合同学習を通じた交流事業 ・就学指導に関する諸検査等の研修会 ・全道研究集会 ・地区研修交流会 ・地区会報発行			

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、特別支援教育の振興を図る。
---------------------	--------------------

13 教育研究会運営事業補助金（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	600	600	600	600
目的			教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図ることを目的とする。			
事業内容			各部会活動や研修会を行う登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助する。 ・教育研究会の活動内容 研究部会による研究活動、研究紀要作成、道内外研修視察			
重点的に取り組む 事項及び変更点			教職員の知識、指導力等の資質向上を図り、市全体の教育レベルの向上につなげる。			

14 教育実践研究奨励経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	476	521	521	345
目的			実践奨励校において教育実践研究を実施し、その成果を小中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする。			
事業内容			実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成する。 ・実践奨励校 10校 (新規) 未定 (4校予定) (継続) 幌別西小学校、青葉小学校、鷺別小学校 若草小学校、幌別中学校、登別中学校			
重点的に取り組む 事項及び変更点			教育実践研究の実施及び研究結果の共有などにより、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。			

15 教育指導研究奨励等経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	5,702	3,063	3,063	7,296
目的			指導方法の研究等を行うことにより、学校教育の一層の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			指導方法の研究において必要な図書等の購入や、各種教育研究団体への活動に要する経費の一部を負担する。 また、本年度から小学校において「道徳」が教科化されることから、指導書や指導資料等を購入する。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			学校教育の更なる向上のため、引き続き、教職員の研究活動の充実を図る。			

16 学校図書システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	261	260	260	248
目的			学校図書システムの運用を西いぶり定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、運用経費の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。			
事業内容			西いぶり定住自立圏の連携事業として、室蘭市と共同実施する学校図書システムの運用に係る費用を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、共同実施する。			

17 情報教育システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	6,794	6,395	6,395	7,539
目的			情報教育システムの運用を西いぶり定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、運用経費の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。			
事業内容			西いぶり定住自立圏の連携事業として、室蘭市、伊達市、壮瞥町と共同実施する情報教育システムの運用に係る費用を負担する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、共同実施する。			

目 4 交流教育推進費（予算説明書P137～P138）

1 外国青年招致経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	18,388	18,659	18,659	17,369
目的			英語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることにより、国際化社会で活躍することができる人材を育てることを目的とする。			
事業内容			<p>生きた英語を指導する外国語指導助手（ALT）を配置し、小学校での外国語活動や中学校での英語指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 4人（小学校2人、中学校2人） ・ALTの活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校での外国語活動、中学校での英語指導、 市民対象の英会話教室、 地域住民との交流（地獄まつりへの参加など） 			
重点的に取り組む事項及び変更点			小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通して、児童生徒の国際理解や英語を使ったコミュニケーション能力の向上を図る。			

目 5 生涯学習推進費 (予算説明書 P137～P138)

1 学校支援地域本部事業費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	3	2,962	3,039	3,039	2,668
目的			地域で学校をサポートするシステムを構築することにより、地域教育力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 各中学校区に設置された地域教育協議会を中心に、地域の特性を踏まえた学校支援事業を実施 ・実行委員会の構成 地域住民や教育経験者など 			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き学校支援活動の充実を図るとともに、支援から連携・協働へ発展するよう取組を進める。			

目 6 教育財産管理費 (予算説明書 P137～P138)

1 教育施設運営管理委託料 (市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場) (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	63,562	63,562	63,562	63,562
目的			市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整えることにより、市民の健全な心身の育成を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>指定管理者への委託により社会教育施設の運営管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設 市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競技場 ・指定管理者 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団 ・委託期間 平成28年度～平成32年度 			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民の文化・スポーツ活動振興のための拠点として、市民が利用しやすい環境を提供する。			

2 市民会館整備事業費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	1	28,000	11,589	8,997	0
目的			市民が安全・安心に文化活動を行うことができるよう、施設環境の整備を図ることを目的とする。			
事業内容			老朽化した大ホールの音響設備を更新する。			

重点的に取り組む 事項及び変更点	市民が安全・安心に文化活動を行うことができるよう、計画的に整備を行う。
---------------------	-------------------------------------

目 7 教育諸費 (予算説明書 P 137～P 140)

1 児童生徒健康診断等経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	17,787	18,071	17,831	17,878
目的			児童生徒の健康保持及び増進を図ることを目的とする。			
事業内容			市内小中学校の児童生徒並びに新入学児童の健康診断等を実施する。 ・全員実施 結核検診、尿検査、内科検診、歯科検診 ・小1、中1 心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診 ・フッ化物洗口 全小中学校で実施 ・新入学対象者数 344人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			法定項目を確実に実施するとともに、フッ化物洗口の実施により、児童生徒のむし歯の予防に努める。			

2 児童生徒遠距離通学費補助金 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	2,248	2,603	2,603	2,113
目的			バスで通学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			
事業内容			バスで通学する児童生徒の保護者に対して、通学に要する費用の一部を補助する。 ・補助対象 公共交通機関であるバスを利用して通学する児童生徒のうち、3か月定期券代金の1か月所要額が、小学生で2,700円、中学生で5,200円以上となる場合、その保護者。 ・対象人数 小学校2校4人、中学校3校74人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			引き続き、補助する。			

3 スクールバス・スクールタクシー運行経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	12,584	12,425	11,926	12,029
目的			学校統合に伴い遠隔地から通学する児童生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。			
事業内容			遠隔地に居住する児童生徒を学校へ送迎するスクールバス・スクールタクシーを運行する。 ・スクールバス カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地			

	区に居住する児童を登別小学校へ送迎 対象人数 登別小学校26人 ・スクールタクシー 札内町に居住する児童生徒を幌別小学校、幌別中学校へ送迎 対象人数 幌別小学校1人、幌別中学校1人
重点的に取組む事項及び変更点	引き続き、スクールバス及びスクールタクシーを運行する。

4 鷺別小学校落成記念式典経費【新規】（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	200	0	0	0
目的			これまでの発展に寄与した先人の労苦に感謝しながら、さらなる前途を祝し、教育環境等の一層の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			鷺別小学校の新校舎落成を記念し、式典を開催する。 なお、祝賀会を開催する協賛会に対し、必要となる経費の一部について、交付金により支援を行う。 ・開催時期 9月 ・開催場所 鷺別小学校体育館			

第10款 教育費 項2 小学校費

目1 学校管理費（予算説明書P141～P142）

1 スキー授業推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	4,514	4,619	4,619	3,581
目的			地域の自然を生かし、地域に根ざした魅力ある学習活動を推進することにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。			
事業内容			冬期間のスポーツとして、スキーを学校授業として取り組む。 ・対象児童：小学校5、6年生（登別小学校は1～6年生）			
重点的に取組む事項及び変更点			市内すべての小学校でスキーを学校授業として取り組むことで、冬のスポーツを体験する機会をつくり、冬期間の体力及び健康の維持増進を図る。			

2 特別活動推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	240	240	240	386
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			

事業内容	各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、児童による自主的・実践的な活動（児童会活動等）を助長する。 ・小学校における特別活動 学級活動、児童会活動、学校行事、クラブ活動
重点的に取り組む事項及び変更点	集団活動を通して、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な姿勢を身に付けさせるとともに、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

3 特別支援教育推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,160	1,453	1,453	1,441
目的			心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行う。 ・特別支援学級数 8校、20学級 ・児童数 66人			
重点的に取り組む事項及び変更点			児童の状況に即した教育環境を整備し、特別支援教育の推進を図る。			

目2 施設管理費（予算説明書P141～P142）

1 小学校地下タンク整備事業費（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算								
5	2	2	2,670	1,573	1,404	1,340								
目的			児童等の安全を確保し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容			老朽化した幌別西小学校の地下タンクについて、腐食防止措置としてFRP内部コーティングを行う。 【財源内訳】											
			<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,670</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> <td style="text-align: center;">670</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	2,670	2,000	670
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
2,670	2,000	670												
重点的に取り組む事項及び変更点			児童等の安全を確保するため、教育環境の改善に努める。											

2 小学校受変電設備整備事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	6,323	0	0	0
目的			児童等の安全を確保し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。			

事業内容	老朽化した幌別西小学校の受変電設備について、取替を行う。		
	【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
		市債	一般財源
	6,323	4,700	1,623

3 幌別西小学校耐震化・改修事業費（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	164,551	16,680	9,666	0
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震化及び改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			
事業内容			幌別西小学校校舎の耐震改修工事（I期）及び外壁改修工事を行う。 【財源内訳】			
			事業費	財源内訳		
				国庫支出金	市債	一般財源
			164,551	29,436	101,200	33,915
重点的に取り組む事項及び変更点			学校施設の耐震化に向け、計画的に事業を実施する。			

4 富岸小学校耐震化・改修事業費（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	111,083	6,025	5,757	0
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震化及び改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			
事業内容			富岸小学校校舎の耐震改修工事、外壁改修工事及び屋上防水改修工事を行う。 【財源内訳】			
			事業費	財源内訳		
				国庫支出金	市債	一般財源
			111,083	22,839	66,100	22,144
重点的に取り組む事項及び変更点			学校施設の耐震化に向け、計画的に事業を実施する。			

5 登別小学校耐震化・改修事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	8,230	0	0	0
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震化及び改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			

事業内容	登別小学校校舎の耐震化及び外壁改修等の実施設計を行う。		
	【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
		市債	一般財源
	8,230	6,100	2,130

目 3 教育振興費 (予算説明書P141～P142)

1 要保護・準要保護就学援助費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	36,951	32,176	36,627	31,540
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容			児童の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助する。 ・対象人数 444人			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、援助する。			

2 特別支援教育就学奨励費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,815	1,913	1,913	958
目的			特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的支援を行うことを目的とする。			
事業内容			特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助する。 ・対象人数 46人			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、援助する。			

第10款 教育費 項3 中学校費

目 1 学校管理費 (予算説明書P143～P144)

1 中学校体育連盟助成金 (教育部学校教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	1,400	1,400	1,400	1,400
目的			スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。			
事業内容			中学校の体育活動振興のために活動する登別市中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成する。			

	【連盟の活動内容】 ・ 体育大会の開催（春季、秋季） ・ 理事会及び専門委員会の開催 ・ 西胆振及び胆振中体連大会への参加
重点的に取り組む 事項及び変更点	中学校体育連盟が主催する体育大会等を通じ、生徒の体育振興、健康増進、生徒間交流などを推進する。

2 特別活動推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	2,820	2,820	2,820	2,968
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			
事業内容			各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、生徒による自主的・実践的な活動（生徒会活動・部活動等）を助長する。 ・ 中学校における特別活動 学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動			
重点的に取り組む 事項及び変更点			集団活動を通して、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な姿勢を身に付けさせるとともに、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。			

3 特別支援教育推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	873	660	660	804
目的			心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。			
事業内容			特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行う。 ・ 特別支援学級数 5校、12学級 ・ 生徒数 33人			
重点的に取り組む 事項及び変更点			生徒の状況に即した教育環境を整備し、特別支援教育の推進を図る。			

目 2 施設管理費（予算説明書P143～P144）

1 中学校地下タンク整備事業費（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	2,300	0	0	3,446
目的			生徒等の安全を確保し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。			

事業内容	老朽化した幌別中学校の地下タンクについて、腐食防止措置としてFRP内部コーティングを行う。 【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
		市債	一般財源
	2,300	1,700	600
重点的に取組む事項及び変更点	生徒等の安全を確保するため、教育環境の改善に努める。		

2 鷺別中学校グラウンドフェンス等整備事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	9,980	0	0	0
目的			生徒等の安全を確保し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容			授業や部活動時における市道・駐車場等へのボールの飛び出しを防止するため、鷺別中学校グラウンド防球フェンス及び防球ネットの整備を行う。 【財源内訳】			
			事業費	財源内訳		
				市債	一般財源	
			9,980	7,400	2,580	

目3 教育振興費（予算説明書P143～P144）

1 要保護・準要保護就学援助費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	33,111	30,171	33,993	28,675
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容			生徒の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助する。 ・対象人数 241人			
重点的に取組む事項及び変更点			本年度から新たにクラブ活動費と生徒会費を支給し、義務教育期間の経済的支援を強化する。			

2 特別支援教育就学奨励費（教育部学校教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	1,440	1,006	1,006	1,150
目的			特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的支援を行うことを目的とする。			
事業内容			特別支援学級への就学に必要な経費の一部を援助する。 ・対象人数 22人			

重点的に取り組む 事項及び変更点	引き続き、援助する。
---------------------	------------

第10款 教育費 項4 社会教育費

目1 社会教育総務費 (予算説明書P145～P146)

1 胆振女性リーダー養成研修経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	4	2	175	110	110	47
目的			地域で活動する女性を女性教育の先進地に派遣し、女性リーダーとしての資質の向上と地域づくりのための団体活動の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			<p>胆振管内社会教育共同事業として、女性教育の振興等を活動目的としている国立女性教育会館が開催するワークショップに地域で活動している女性を派遣し、女性リーダーの育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 8月下旬(3泊4日) ・派遣先 独立行政法人国立女性教育会館(埼玉県) ・予定人員 2人 ・職員随員 登別市、参加町教育委員会の担当職員(輪番)及び北海道教育庁胆振教育局の担当職員が随員 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			女性リーダーとしての活動の幅をより一層広げるため、引き続き実施する。			

2 市民生涯学習推進講座経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	889	889	889	512
目的			市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			<p>家庭教育学級については、幼稚園、小学校及び保護者と連携を図り、家庭における教育力の向上を図る。</p> <p>市民マイプラン講座については、多種多様な学習を活発に行うことができるよう支援する。</p> <p>登別ときめき大学については、登録者数を増加させるため、引き続き運営委員会とともに講座内容の充実と周知を図る。</p>			

○家庭教育学級経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	364	364	364	209
事業内容	幼稚園、小学校及び保護者の連携による各学級の学習会のほか、講演会(全体学習会)、活動展を行う。			

○市民マイプラン講座経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	150	150	150	50
事業内容	市民が自主的に企画し、複数人規模で行う学習等の活動に講師を派遣する。			

○登別ときめき大学経費

	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
	375	375	375	253
事業内容	登別ときめき大学事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースでそれぞれ講座を行う。			

3 P T A連合会助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	2	300	300	300	300
目的			研修活動や単位P T Aの連携協力等を行う登別市P T A連合会を支援することにより、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的とする。			
事業内容			市内の小中学校及び高等学校のP T Aで構成されるP T A連合会に対し、その活動に要する経費の一部を助成する。 【主な活動内容】 ・研究大会の開催 ・教育懇談会、交流会の開催 ・母親研修会の開催 ・広報誌の発行			
重点的に取り組む事項及び変更点			教育の充実・発展や家庭の教育力向上のため、引き続き助成する。			

4 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	4,950	4,909	4,909	4,909
目的			文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する事業を支援することにより、文化振興及びスポーツ推進を図ることを目的とする。			
事業内容			同財団に対して、文化・スポーツ活動へのきっかけとなる初心者向けの教室や芸術鑑賞事業、スポーツ大会などの実施に要する経費の一部を補助する。 【補助事業内容】 ・芸術鑑賞（3事業） 道新ジュニアクラシック 「小・中学生のための札幌コンサート」 歌謡コンサート クラシックコンサート ・文化教室（9事業） 初心者英会話教室、筆ペン習字教室等 ・スポーツ教室（10事業）			

	<p>ファミリーフィッシング体験、温泉散策ウォーキング、ソフトテニス教室等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会（４事業） 市民ソフトボール大会（夏季・秋季）、市民ボウリング大会（一般・シニア） ・共催事業（４事業） 市民ミニバレー大会、市民文化祭、小中学生書初展、文化講演会
重点的に取り組む事項及び変更点	市民ニーズを的確に把握し、効果的に事業を実施することにより、文化及びスポーツの振興を図る。

5 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	11,766	11,749	11,749	11,279
目的			一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の活動を支援することにより、質の高い文化やスポーツ活動の振興を図ることを目的とする。			
事業内容			同財団に対して、その運営に要する経費を補助する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			文化及びスポーツの振興を図るため、引き続き補助する。			

目2 婦人研修施設費（予算説明書P145～P146）

1 婦人研修の家維持管理経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	3,975	1,582	1,582	1,260
目的			婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域における婦人間の連携を図ることを目的とする。			
事業内容			各町内会が指定管理者となっている8か所の婦人研修の家の維持管理を行うほか、老朽化の状況等を踏まえて施設修繕を実施する。 【主な修繕内容】 ・桜木婦人研修の家 床修繕			
重点的に取り組む事項及び変更点			指定管理者である各町内会の自主性を尊重しながら事業を継続する。			

目4 図書館費（予算説明書P145～P148）

1 図書館運営管理経費（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	8,079	9,452	9,852	7,170

目的	図書館資料の整備と読書推進事業の実施、配本所の機能強化に努めることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的とする。
事業内容	<p>図書館資料の整備と市民の求める資料の提供に努めるとともに、すべての市民を対象にした読書推進事業を行う。</p> <p>また、図書館の維持に必要な修繕や点検等を実施する。</p> <p>・主な主催事業 小中学生の読書感想文・読書感想画コンクール、文化講演会、年長児の読書感想画募集、読み聞かせの研修会、子どもの本の相談室、ブックリスト発行（夏・冬）、季節等のテーマに合わせた本のロビー展示</p>
重点的に取り組む事項及び変更点	市民のニーズに応えられるよう多様な資料の収集・提供に努めるとともに、本に親しむ機会を創出する事業などを企画・展開する。

2 図書館ネットワークサービス広域化事業費（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	645	648	648	634
目的	近隣市との図書館相互利用を可能とすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。					
事業内容	西いぶり定住自立圏の連携事業として、登別・室蘭・伊達の3市において、図書館情報システムや図書資料等を一体で管理・運用する。					
重点的に取り組む事項及び変更点	利用者の利便性の更なる向上を図るため、物流やシステムなどの運用面の改善に取り組む。					

3 アーニス分館運営管理経費（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	5,941	5,924	5,924	5,805
目的	図書館アーニス分館を運営することにより、図書等の充実、バリアフリー化、夜間及び祝日の開館による利便性の向上を図ることを目的とする。					
事業内容	<p>図書館分館を運営し、高齢者を対象とした大活字本の充実、雑誌資料の拡充、インターネットを活用したデジタル資料・データベース資料の提供を行う。</p> <p>・開館時間 午前10時～午後8時 ・蔵書数 図書約10,000冊 雑誌約35タイトル ・資料 デジタル資料、データベース資料、視聴覚資料</p>					
重点的に取り組む事項及び変更点	市民のニーズに応えられるよう多様な資料の収集・提供に努める。					

4 ブックスタート・ライブラリースタート事業費（教育部図書館）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	1	1	1,028	1,028	1,028	982
目的			本にふれる機会を提供することにより、乳幼児の読書意欲の向上と図書館の利用を促進することを目的とする。			
事業内容			乳幼児及びその保護者に図書の提供等を行う。 ・ブックスタート 4か月児健診時に絵本3冊と絵本リスト等を配付する。 ・ライブラリースタート 3歳児健診時期に事業説明のチラシを送付し、その後来館した際に、施設の利用方法等を紹介するとともに、本1冊を提供する。			
重点的に取り組む事項及び変更点			本に親しむ機会を提供する中で、図書館の事業やサービスを周知し、図書館利用の促進を図る。			

目5 青少年対策費（予算説明書P147～P148）

1 放課後子ども教室推進事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
1	3	1	3,598	3,479	3,479	3,387
目的			放課後に子どもたちが安全・安心して過ごすことができる活動拠点（居場所）を設けることにより、子育て環境の整備を図ることを目的とする。			
事業内容			小学校の余裕教室や体育館に、子どもたちの安全・安心な活動拠点として放課後子ども教室を設置し、地域の方々の協力を得て、様々な体験活動や交流活動などの取組を推進する。 ・開設場所 鷺別小学校、幌別東小学校			
重点的に取り組む事項及び変更点			実行委員会を主体に地域と連携を図りながら、引き続き実施する。			

2 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	2,058	2,060	1,818	2,366
目的			共同生活を行う機会を提供することにより、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせるとともに、協調性や責任感を育むことを目的とする。			
事業内容			小学生（5、6年生）がネイチャーセンター等の施設で支援ボランティアの協力を得て共同生活し、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施する。 ・実施時期 5月、11月 年3回（1回あたり4泊5日） ・参加人数 延べ120人（40人×3回）			

重点的に取り組む 事項及び変更点	実行委員会を主体に、地域ボランティア団体等との連携や、北海道教育委員会の学校サポーター派遣事業の活用を図りながら、引き続き実施する。
---------------------	--

3 少年の主張大会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	3	27	27	27	27
目的			子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。			
事業内容			中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催する。 ・開催時期 6月 ・開催場所 西陵中学校			
重点的に取り組む 事項及び変更点			青少年が社会に向けて意見などを発信する重要な機会であることから、引き続き実施する。			

4 青少年育成指導経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	3	785	782	782	636
目的			青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			青少年問題協議会を設置し、青少年の指導に関して調査審議を行うとともに、青少年センターを運営し、専任指導員や指導委員による巡回等を行う。 通常巡回は、鷲別・緑陽中学校区、明日・西陵・幌別・登別中学校区の2区間を行う。 ・指導員等の構成 青少年問題協議会委員 13人 青少年支援員 1人 専任指導員 2人 青少年指導委員 60人 ・活動内容 青色防犯パトロールによる通常巡回、特別巡回、こども110番スタディちゃんの家の設置			
重点的に取り組む 事項及び変更点			青少年非行や犯罪被害等の未然防止に向け、地域や関係団体と連携を図りながら引き続き巡回等を実施する。			

5 成人祭経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	3	275	279	279	173

目的	新成人を祝い励ますことにより、新成人の大人としての意識の向上を図ることを目的とする。
事業内容	市内に勤務する青年や専門学校生、高校生などで組織する登別市成人祭実行委員会と市の主催により成人祭を開催する。 ・開催日 1月13日（日） ・場所 市民会館 ・対象人数 約600人
重点的に取り組む事項及び変更点	実行委員会を中心に、時勢にあった成人祭を開催する。

6 子ども会活動振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	3	830	830	830	830
目的	子どもたちの「生きる力」と健全な心身の育成を図ることを目的とする。					
事業内容	子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 ・加盟団体数 40団体（約2,200人） ・事業内容 かるた大会、体験学習等					
重点的に取り組む事項及び変更点	子どもたちの健全育成を図るため、引き続き助成する。					

目6 郷土資料館費（予算説明書P147～P148）

1 郷土資料館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	2,160	2,503	2,503	1,993
目的	郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。					
事業内容	郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行う。 ・資料の寄贈・寄託の受入れ ・特別展及び企画展の開催 ・市内外小中学生の見学受入れ等					
重点的に取り組む事項及び変更点	所蔵資料の定期的な点検を実施するとともに、引き続き、運営内容の充実に努める					

目7 文化振興費（予算説明書P147～P150）

1 文化振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	1	800	800	800	800

目的	地域に根ざした文化振興活動を行う文化団体を支援することにより、市民が文化に親しむことのできるまちづくりの推進を図ることを目的とする。
事業内容	文化の振興と裾野拡大のために活動を行う登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 【主な活動内容】 ・加盟団体数 29団体（約1,200人） ・活動内容 主催・主管事業：機関誌・文芸誌の発行（年1回） 共催事業：第54回市民文化祭 第42回道民・第49回胆振芸術祭 参画事業：市民活動センターへの参画 （のぼりん文化講座への協力） その他：道内外の文化協会との交流事業
重点的に取り組む事項及び変更点	文化の振興を図るため、引き続き助成する。

2 児童・生徒文化振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	1	800	800	800	797
目的	文化活動を行う児童生徒の保護者の負担の軽減と、児童生徒の文化の振興を図ることを目的とする。					
事業内容	市内の小中学校、高等学校及び中等教育学校に通う児童生徒又は市内に居住する児童生徒が、文化活動で全道や全国、国際大会に参加する場合に要する経費の一部を助成する。					
重点的に取り組む事項及び変更点	児童生徒の文化活動を支援するため、引き続き助成する。					

3 西いぶり定住自立圏文化事業負担金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	1	1,000	1,000	1,000	944
目的	市民がより質の高い文化に触れる機会を設けることにより、地域文化の振興を図ることを目的とする。					
事業内容	西いぶり定住自立圏（登別・室蘭・伊達・豊浦・壮瞥・洞爺湖）で実行委員会を組織し、3市の負担金により輪番で文化事業を行う。 ・開催市 室蘭市					
重点的に取り組む事項及び変更点	広域的な文化交流事業として、西胆振全体の文化振興に取り組む。					

4 文化伝承館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	927	319	319	285

目的	郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。
事業内容	郷土資料館ボランティアグループS L Gの協力を得て郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催するなど、文化伝承館の運営管理を行う。 ・布ぞうり作り、べこもち作り、らくがん作り、おひなさま人形作り等
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、郷土資料館ボランティアグループS L Gとともに体験学習の内容の充実を図る。

5 のぼりべつ文化交流館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	2,846	3,472	3,472	2,799
目的	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動を推進することを目的とする。					
事業内容	市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行う。 ・市内で出土した埋蔵文化財の展示 ・体験学習（まがたま作り、火起こし体験等）の実施 ・市内外小中学校の見学受入れ ・市民の文化作品の展示等					
重点的に取り組む事項及び変更点	引き続き、魅力ある博物館づくりのため、運営内容の充実に努める。					

6 文化財保護経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	514	400	400	305
目的	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にすることを目的とする。					
事業内容	市民に対して指定文化財等の周知を図るほか、文化財に関する調査・研究や保護活動を実施するとともに、文化財の活用等を図る。 ・文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・古文書）、講演の実施 ・歴史的つながりのあるマチとの交流の促進（宮城県白石市に学芸員を派遣） ・埋蔵文化財事前協議 ・史跡名勝天然記念物の事務手続き等					
重点的に取り組む事項及び変更点	郷土の文化財の保護と活用を図ることで、市民のふるさと登別を大切にすることを養うだけでなく、登別の魅力を市内外へ発信できるよう、事業を実施する。					

7 アイヌ文化講座経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	320	280	280	280
目的			アイヌ文化に触れ、学ぶ機会を設けることにより、アイヌ文化に対する理解・関心を深めることを目的とする。			
事業内容			アイヌ民族の歴史や文化の専門家を講師に招き、講演会及び制作体験を実施する。 ・アイヌ民族の歴史や文化に関する講演会 ・アイヌ刺しゅう等のアイヌ民族の伝統技法等を用いた作品の制作体験			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、事業を実施する。			

8 アイヌ民族文化祭2018補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	3	2	30	30	30	30
目的			アイヌ民族の尊厳の確立と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。			
事業内容			公益社団法人北海道アイヌ協会に対して、アイヌ民族の文化伝承等を目的に開催されるアイヌ民族文化祭の開催費用の一部を補助する。 【アイヌ民族文化祭の内容】 ・開催予定 10月 ・内 容 アイヌ文化講演、アイヌ古式舞踊指導 ムックリ・口琴演奏、アイヌ工芸作品の展示紹介等			
重点的に取り組む事項及び変更点			引き続き、支援を行う。			

目 8 自然体験学習施設費（予算説明書P149～P150）

1 ネイチャーセンター運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
2	2	1	39,567	39,756	39,756	38,611
目的			自然体験活動の拠点施設を運営管理することにより、市民の自然に関する意識の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			指定管理者への委託により、ネイチャーセンターの運営管理を行い、鉦山地区の自然を活用した体験活動を推進する。 ・指定管理者 特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ ・委託期間 平成29年度～平成33年度			
重点的に取り組む事項及び変更点			鉦山地区の自然を活用し、引き続き自然体験活動を推進する。			

第10款 教育費 項5 保健体育費

目1 保健体育総務費 (予算説明書P151～P152)

1 子ども健康・体力改善事業費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	2	1	3,738	5,525	5,525	5,938
目的			市内小学校にスポーツ指導員を派遣し、運動指導や教員の補助等を行うことにより、子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			派遣するスポーツ指導員が教員と連携を図り、体育授業や休み時間において運動の指導を行う。 また、健康維持、怪我からの回避といった指導を取り入れることにより、健康の大切さについて理解を深める。			
重点的に取り組む事項及び変更点			子どもたちの健康増進と運動能力の向上のほか、運動が苦手な子どもたちも楽しく運動できるよう、スポーツ指導員と教員の連携を強化し、より効果的な事業実施に努める。			

2 体育協会助成金 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	800	800	800	800
目的			市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図ることを目的とする。			
事業内容			スポーツ団体の育成、スポーツ振興と裾野拡大のために活動を行う登別市体育協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 【活動内容】 ・加盟団体数 15団体 (約2,100人) ・活動内容 加盟団体事業への援助、スポーツ指導者の育成、スポーツ表彰、胆振管内軽スポーツフェスタへの参加協力、姉妹都市交流事業への支援			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民のスポーツ振興を図るため、引き続き助成する。			

3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	252	540	540	131
目的			生涯スポーツの振興と市民の健康増進及び体力向上を図ることを目的とする。			
事業内容			スポーツ関連団体と連携し、スポーツイベントを実施する。 ・市民ラジオ体操会 開催時期 7月 開催場所 市内小学校2か所			

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ・健康フェスティバル 開催時期 10月 開催場所 岡志別の森運動公園、市民プールほか
重点的に取り組む 事項及び変更点	生涯スポーツの振興等を図るため、引き続き実施する。

4 スポーツ少年団育成助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	500	500	500	500
目的			子どもたちの体力づくり及びスポーツ技術の向上を図ることを目的とする。			
事業内容			子どもたちのスポーツの振興を図るため活動する登別市スポーツ少年団本部に対して、その活動に要する経費の一部を助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体数 21団体（約300人） ・活動内容 スポーツ少年団育成事業、リーダー養成事業、競技別交流会、指導者・母集団養成事業、姉妹都市交流事業支援、加盟団体への助成等 			
重点的に取り組む 事項及び変更点			子どもたちのスポーツ活動の推進や普及を図るため、引き続き助成する。			

5 児童生徒スポーツ振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	2,500	2,500	2,500	1,751
目的			スポーツ活動を行う児童生徒の保護者の負担の軽減と、児童生徒のスポーツ活動の推進を図ることを目的とする。			
事業内容			市内の小中学校、高等学校及び中等教育学校に通う児童生徒又は市内に居住する児童生徒が、スポーツ活動で全道や全国、国際大会に出場する場合に要する経費の一部を助成する。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			児童生徒のスポーツ活動を支援するため、引き続き助成する。			

6 スポーツ推進委員会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	567	476	476	335
目的			スポーツ行事への参画や軽スポーツなどの普及活動を行うスポーツ推進委員会の活動を支援することにより、体育・スポーツの振興を図ることを目的とする。			
事業内容			スポーツ推進委員会を設置し、各種スポーツイベントへの協力や軽スポーツの普及等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 15人 ・活動内容 各種スポーツ研修会への参加、市民ラジオ体操会にお 			

	ける体操指導、市民スポーツ・健康フェスティバルへの参画、軽スポーツの指導
重点的に取組む事項及び変更点	研修会の参加や開催等を通じ、スポーツ推進委員に関する知識を深め、軽スポーツの指導力の向上を図る。

7 6市町スポーツ交流会事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	140	140	140	138
目的			6市町（登別・室蘭・伊達・豊浦・壮瞥・洞爺湖）の小学生のスポーツ交流を推進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする。			
事業内容			6市町の小学生を対象とした、スポーツ大会の開催費用を負担する。 ・6市町小学生陸上競技大会 開催時期 5月 開催場所 室蘭市入江陸上競技場			
重点的に取組む事項及び変更点			西いぶり定住自立圏の連携事業として、引き続き実施する。			

8 学校開放事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	319	337	337	39
目的			学校の屋内運動場を開放することにより、地域におけるスポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。			
事業内容			小中学校とのぼりべつ文化交流館の屋内運動場を市民に開放する。 ・開放校 10校 ・開放期間 4月2日～2月28日 (のぼりべつ文化交流館は11月30日まで) ・管理方式 利用団体による自主管理			
重点的に取組む事項及び変更点			学校の屋内運動場を開放し、スポーツ振興を図るとともに、利用団体による自主管理が適切に行われるよう、引き続き管理する。			

9 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	1,220	1,000	1,000	1,200
目的			2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的とする。			
事業内容			オリンピック出場経験のある講師を招へいし、スポーツ講演会や実技指導等を実施する。 ・実施内容 スポーツ講演会・実技指導等			

	<ul style="list-style-type: none"> ・種目予定 卓球 ・講師予定 丹羽 孝希 氏 ・開催時期 未定 ・会場 総合体育館
重点的に取り組む 事項及び変更点	リオデジャネイロオリンピック等での日本人の活躍を踏まえ、実施種目として卓球を選択し、スポーツ講演会や実技指導等を実施する。

目 2 体育施設費 (予算説明書 P 151～ P 152)

1 岡志別の森運動公園等運営管理経費 (教育部社会教育 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	13,570	13,601	13,601	14,173
目的			岡志別の森運動公園及び川上公園 (Bゾーン) を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容			指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園 (Bゾーン) の運営管理を行う。 ・指定管理者 北海道曹達株式会社幌別事業所 ・委託期間 平成28年度～平成32年度			
重点的に取り組む 事項及び変更点			指定管理者への委託により、引き続き施設の運営管理を行う。			

目 3 青少年会館費 (予算説明書 P 151～ P 152)

1 青少年会館運営管理経費 (教育部社会教育 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	11,278	10,718	10,718	10,534
目的			レクリエーション活動等を推進することにより、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。			
事業内容			市内 2 か所に設置の青少年会館の運営管理を行う。			
重点的に取り組む 事項及び変更点			施設の設置目的に沿った利用と公平性の確保を図りながら、引き続き運営管理を行う。			

目 4 市民プール費 (予算説明書 P 151～ P 152)

1 市民プール運営管理経費 (教育部社会教育 G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	62,412	62,528	62,528	61,709
目的			プール施設を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。			

事業内容	<p>指定管理者への委託により、市民プールの運営管理を行うとともに、市民の健康増進と余暇活動の充実を図るため、各種水泳教室・運動教室などを実施する。</p> <p>また、施設の安定稼働を図るため、必要な点検や修繕を計画的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団 ・委託期間 平成28年度～平成32年度
重点的に取り組む事項及び変更点	<p>指定管理者への委託により、引き続き施設の運営管理を行うほか、プール内の可動床の定期点検や空調設備等の修繕などを行う。</p>

2 市民プール整備事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
5	4	1	4,796	6,956	6,696	5,633
目的			市民が安全・安心にプールを利用できるよう、施設環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容			日常点検や定期点検の結果を踏まえ、機械室防火扉の改修工事及び軒天の修繕を行う。			
重点的に取り組む事項及び変更点			市民が安全・安心に施設を利用できるよう、計画的に整備を行う。			

第11款 公債費 項1 公債費

目1 元金 (予算説明書P153～P154)

1 市債償還元金 (総務部財政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	2,470,360	2,398,713	2,398,713	2,385,115
目的			市の財政運営において、建設事業債や臨時財政対策債などを借入れし、世代間負担の公平性の確保及び平準化を図ることを目的とする。			
事業内容			平成28年度までに借入れた市債に係る元金の償還を行う。			

目2 利子 (予算説明書P153～P154)

1 市債償還利子 (総務部財政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	193,902	222,543	205,905	236,226
目的			市の財政運営において、建設事業債や臨時財政対策債などを借入れし、世代間負担の公平性の確保及び平準化を図ることを目的とする。			
事業内容			平成29年度までに借入れた市債に係る利子を支出する。			

2 一時借入金利子 (総務部財政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	4,000	4,000	4,000	396
目的			歳出予算の支出に係る当該年度内の資金調達を目的とする。			
事業内容			一時借入金に係る利子を支出する。			

目3 公債諸費 (予算説明書P153～P154)

1 公債発行等手数料 (総務部財政G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	325	334	334	343
目的			証券発行による市債の登録及び償還手数料を支出することにより、支払事務等を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容			北海道市町村職員共済組合より平成15年度及び平成16年度に借入れた市債の元利償還に係る手数料を支出する。			

第12款 給与費 項1 給与費

目1 職員給与費 (予算説明書P155～P156)

1 職員等給与経費・非常勤職員等公務災害経費 (総務部人事・行政管理G)

章	節	施策	本年度当初予算	前年度当初予算	前年度最終予算	前々年度決算
6	3	1	3,816,480	3,589,779	3,593,903	3,675,818

区分	平成30年度当初	平成29年度当初	増減額
給料	1,360,910	1,363,915	△3,005
職員手当等計	1,481,800	1,278,650	203,150
扶養手当	45,112	44,622	490
地域手当	272	404	△132
単身赴任手当	432	432	0
超過勤務手当	85,755	85,755	0
期末手当	314,726	318,333	△3,607
勤勉手当	213,125	203,057	10,068
寒冷地手当	31,077	30,853	224
通勤手当	14,647	14,862	△215
特殊勤務手当	13,208	12,449	759
管理職手当	38,132	37,859	273
管理職員特別勤務手当	300	300	0
退職手当	361,314	173,796	187,518
嘱託手当	279,383	271,878	7,505
住居手当	41,453	43,879	△2,426
夜勤手当	12,774	12,866	△92
児童手当	30,090	27,305	2,785
共済費	550,462	542,225	8,237
賃金	316,983	299,943	17,040
福祉協会負担金	1,006	1,019	△13
退職手当積立金	104,383	103,078	1,305
災害補償費	500	500	0
役務費	436	449	△13
合計	3,816,480	3,589,779	226,701

① 職員数（全会計）

（単位：人）

区分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	
	年度当初	年度当初	年度当初	年度末
職 員	439 (13)	437 (11)	433 (8)	423 (9)
嘱 託	180	180	181	166
計	619 (13)	617 (11)	614 (8)	589 (9)

※職員数には、市長、副市長、教育長を含みます。

※嘱託数には、法律相談員、嘱託医、心の教室相談員、スクールカウンセラーを含みません。

※（）内は、再任用短時間勤務職員数及び任期付短時間勤務職員数を外数として記載しています。

※年度当初の人数は、予算計上の基礎となった人数であり、各年度4月時点の実人数と一致しません。

②平均給料・平均年齢（全会計）及びラスパイレス指数

区分	平均給料月額	平均年齢	ラスパイレス指数
平成 29 年度	289,868 円	40 歳 3 月	95.7（全道 30 位）
平成 28 年度	291,153 円	40 歳 2 月	95.4（全道 30 位）
平成 27 年度	293,260 円	40 歳 1 月	95.0（全道 30 位）

※平均給料月額については、各年度4月支給分を記載しています。

【特別会計】

国民健康保険特別会計

国保財政は、平成 28 年度決算で 2 億 6,303 万円の決算剰余金が出たものの、実質単年度収支においては長期間赤字傾向にあることや、医療費が高水準で推移している状況にある。平成 30 年度予算にあたっては、こうした状況を踏まえつつ、制度改革による財政面への影響について慎重に検討したうえで予算編成を行った。

【制度改革に伴う予算編成における影響】

○予算総額について

これまで市町村は、単独で国保税や国・北海道等からの交付金等を財源に医療費を負担してきたが、制度改革に伴い、北海道が市町村の医療費を全額負担することになるため、市町村に交付されてきた国・北海道等からの交付金等の多くを北海道が一括管理することとなり、予算総額が前年度と比較して縮小した。

【国民健康保険税の税率等及び課税限度額】

○税率等及び課税限度額について

市町村は、北海道が負担する市町村の医療費総額の主たる財源となる「国保事業費納付金」を北海道に納めることになるため、平成 30 年度以降は「国保事業費納付金」を納めるための保険税収入の確保が重要となる。

本市の保険税率等については、年々減少傾向にある被保険者数及び被保険者の所得や、制度改革により変更となる国や北海道等からの交付金等の状況を考慮し、平成 30 年度は据え置くこととした。

なお、課税限度額については、地方税法施行令の改正が予定されており、医療給付費分の課税限度額が現行の 540,000 円から 580,000 円に引き上げられる予定である。

平成 30 年度国民健康保険税の税率等及び課税限度額

賦 課 の 区 分		平成 30 年度	平成 29 年度
医療給付費分	所得割額	9.1%	9.1%
	均等割額（1 人当たり）	30,000 円	30,000 円
	平等割額（1 世帯当たり）	29,000 円	29,000 円
	課税限度額	540,000 円	540,000 円
介護納付金分	所得割額	2.5%	2.5%
	均等割額（1 人当たり）	8,700 円	8,700 円
	平等割額（1 世帯当たり）	5,900 円	5,900 円
	課税限度額	160,000 円	160,000 円
後期高齢者支援金分	所得割額	2.9%	2.9%
	均等割額（1 人当たり）	8,400 円	8,400 円
	平等割額（1 世帯当たり）	8,300 円	8,300 円
	課税限度額	190,000 円	190,000 円

【平成 30 年度の事業運営】

○医療費について

平成 30 年度以降は、医療費を北海道全体で共有することになるため、被保険者の負担を抑えるには、本市単独の医療費の減少に加え、北海道全体の医療費の減少も重要となる。そのため、今後も引き続き医療費抑制に向けた取組として「かかりつけ医・薬局をつくる」「重複受診を控える」「ジェネリック医薬品を使用する」等の啓発を行うとともに、「特定保健指導対象外となった生活習慣病リスク保有者に対する保健指導の機会の増」により将来的な生活習慣病の発症や重症化の予防を強化する。

これらの取組と被保険者の協力による医療費抑制効果のほか、近年の本市の医療費の動向を踏まえ、医療費の伸び率を前年度当初予算比 5.1%減として計上した。

○国民健康保険税について

賦課のベースとなる被保険者の所得・人員・世帯については、過去の推移から試算し、今後も引き続き収納率向上の取組に重点を置くことを踏まえ、現年課税分の収納率を一般分 93.5%、退職分 98.5%として積算した。

○保健事業等の実施について

生活習慣病対策として、特定健診については、引き続き未受診者対策を継続する。

特定保健指導については、生活習慣の改善に取り組めるよう、支援を継続するとともに、特定保健指導対象外となった生活習慣病リスク保有者に対する保健指導の機会を増やすよう努める。

また、特定健診受診率の向上や健康の保持・増進、疾病の重症化予防対策として、特定健診受診者を対象に市民プールの利用料、水中運動教室の受講料の一部を助成する。

平均被保険者数の推移

(単位：人)

区 分	平成 30 年度 (当初予算)	平成 29 年度 (当初予算)	平成 28 年度 (決算)	平成 27 年度 (決算)
一般分	10,269	10,992	11,037	11,389
退職分	39	263	362	616
合 計	10,308	11,255	11,399	12,005

学校給食事業特別会計

市内の小中学校、登別明日中等教育学校前期課程及び保育所の児童生徒に、栄養基準を満たし、かつ安全で安心な給食を提供する。

なお、平成 30 年度給食費については、温食の食材等の価格が値上がり傾向となっているが、安価でより良い食材の選定及び献立の工夫等により改定を行わず現行価格で給食事業の運営を行う。

事業の概要

対 象		人員(人)	月額(円)	年額(円)	1食当たり(円)	回数(日)
小学校児童・教職員(8校)		2,348	4,160	49,920	—	185日
中学校生徒・教職員(5校)		1,223	4,960	59,520	—	
登別明日中等教育学校前期課程生徒・教職員		253	4,960	59,520	—	
保育所園児(4園)		236	—	—	119	実施日
試食会	小学校	1,300	—	—	270	随時
	中学校	900	—	—	322	随時

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業については、平成 11 年度に「登別市簡易水道事業特別会計」を設置し、運営している。

現在、簡易水道事業は、札内及び来馬地区等の地域へ水道水を供給しており、平成 30 年度予算では、経常的な維持管理費に加え、主な事業として、配水管改良工事、流量計改修工事及び水道メーター取替工事の事業費と、平成 31 年度からの地方公営企業法の適用に要する経費を計上した。

主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容	
配水管改良工事	φ 75mm	L=260m
流量計改修工事	流量計	1基
水道メーター取替工事	φ 13~φ 50mm	28個

介護保険特別会計

介護保険制度に対応するため設置された介護保険特別会計は、介護保険給付等事業と地域支援事業にかかる「保険事業勘定」となっている。

介護保険事業は、介護保険事業計画（3年ごとに策定）に基づき事業運営を進めることになっており、平成30年度は第7期介護保険事業計画の初年度となっている。

【介護保険給付等事業】

- 第1号被保険者数（各年度当初予算）

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
被保険者数	17,335人	16,801人	17,301人

- 介護保険料（第1号被保険者分）

基準保険料（年額）	平成30～32年度	平成27～29年度
第5段階	51,600円	44,400円

区 分	予算額	対象者数
特別徴収（現年分）	732,246千円	15,428人
普通徴収（現年分）	81,451千円	1,907人
普通徴収（滞納分）	3,155千円	—
合 計	816,852千円	17,335人

- 介護給付費内訳

区 分	給付額	平均受給者数
居宅サービス	1,209,794千円	1,561人
地域密着型サービス	616,007千円	343人
施設サービス	1,318,500千円	425人
審査支払手数料	3,654千円	—
高額介護サービス	84,416千円	—
高額医療合算介護サービス	12,060千円	—
特定入所者介護サービス	164,310千円	—
合 計	3,408,741千円	2,329人

- 介護認定審査会関係

区 分	委員数	開催回数
介護認定審査会	23人	96回

- 介護認定調査関係

区 分	主治医意見書作成件数	認定調査委託件数
介護認定調査	3,001件	480件

【地域支援事業】

介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業の3事業で構成される地域支援事業を実施する。

○介護予防・日常生活支援総合事業

＜介護予防・生活支援サービス事業＞

・介護予防・生活支援サービス事業

要支援者等に対し、訪問型サービス及び通所型サービスを提供し、要介護状態になることの予防または要介護状態への悪化の防止を図る。

・介護予防マネジメント事業

要支援者等の心身の状況や置かれている環境等に応じて、その状態等にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう支援する。

＜一般介護予防事業＞

高齢者が要介護状態等になることを予防し、自立した生活を長く続けることができるよう、地域住民が主体的に行う介護予防教室の支援や介護予防を推進する人材の育成等を実施する。

○包括的支援事業

団塊の世代が75歳以上となり、医療・介護等の需要の急増が予測される2025年に向け、医療・介護サービス提供体制の改革を本格的に進めるため、包括的支援事業（社会保障充実分）を実施する。

＜包括的支援事業＞

・総合相談支援事業

高齢者の各種相談を幅広く受け、制度の垣根にとらわれない横断的・多目的の支援を行う。

・権利擁護事業

高齢者に対する虐待の防止や早期発見のための事業、権利擁護のための事業を行う。

・包括的・継続的マネジメント事業

地域のケアマネジャーへの個別指導、困難事例等への助言等、ケアマネジャーへの支援を行う。

・認知症地域支援推進員の配置

認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チーム等の関係機関と切れ目のない連携を図り、地域における認知症ケア体制の強化を推進していく。

＜認知症地域支援・ケア向上推進事業＞

認知症の人の家族の介護負担の軽減を図るため、地域とのつながり等を支援する認知症カフェ事業にかかる経費の一部について助成を行う。

＜認知症初期集中支援推進事業＞

認知症の早期診断、家族支援など初期の支援を集中的に行う本事業を委託し、認知症の人やその家族への早期支援を行う。

<在宅医療・介護連携推進事業準備経費>

在宅医療と介護の一体的な提供に向け、地域の医療と介護関係者による会議や研修等を開催する。

<生活支援体制整備事業費>

高齢者の生活支援ニーズに対応するため、セルフケア（自助）や地域の助け合い（互助）を促進するよう、市場のサービスやNPO、住民団体等の活動を調査するとともに、地域の支え合いの機運醸成を図るため住民向け講演会等を実施する。

○任意事業

任意事業は、国が定めた事業以外の事業で、次の事業を行う。

<高齢者等介護用品給付事業>

市民税非課税世帯で、要介護4以上で在宅生活をしている高齢者に対し、介護用品の購入に要する経費を給付し経済的負担の軽減を図る。

<住宅改修支援事業>

介護保険法施行規則に基づき、居宅介護住宅改修費及び介護予防住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成する介護支援専門員等に対し、助成する。

<高齢者見守り支援事業>

認知症の人や家族を支援する認知症サポーターの養成や認知症高齢者の見守り体制、はいかい高齢者の早期発見できる仕組みを構築し、誰もが安心して暮らしやすい環境を整備する。

<成年後見制度利用支援事業>

親族がいない方などに市長が成年後見制度の申し立てを行い、判断能力が不十分な高齢者の権利・利益を保護する。

<成年後見支援センター事業>

西いぶり定住自立圏で設置した「室蘭成年後見支援センター[西いぶり2市3町]」で、成年後見制度等の利用促進を図るとともに、権利擁護に関する総合的な相談や支援を行う。

<認知症高齢者等GPS貸与事業>

在宅等で、はいかい行動のある認知症高齢者等を介護している家族等に対しGPS機器を貸与し、事故の未然防止や介護する家族等が安心して生活できる環境を整備する。

カルルス温泉スキー場事業特別会計

観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図る。

- リフト3基（ペアリフト）
- 7コース 全コース延距離 5,150m
- リフト利用見込人員 285,437人
- 修学旅行等受入見込人員 15校 延べ 5,599人
- 事業 カルルス温泉冬まつり（3月第1日曜日）
手ぶらでスキー・スノーボード体験（胆振地域の住民限定でスキー・スノーボードフルセットのレンタル料金の割引を実施する）
ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験
バレンタインデー・ホワイトデー割引の実施
ひな祭り、女性特別割引の実施
毎日が半額のチャンス
2回目・1日券半額事業（加森観光グループ取組事業）
スキー教室等（登別スキー連盟協力事業）
- 大規模修繕見込 圧雪車修繕
第1ペアリフトワイヤーロープ交換修繕
- 修学旅行誘致プロモーション予定
（対象：九州・四国・中国方面及び関東地方を中心としたエージェント）
- 経営診断等調査業務委託
経営診断等の調査業務を実施して、将来的なスキー場の在り方について検討を行う。

後期高齢者医療特別会計

- (1) 対象者
 - 75歳以上の方
 - 65歳以上75歳未満で一定の障がいのある方
- (2) 被保険者数（平成30年4月1日現在見込数）
 - 登別市 8,490人
- (3) 保険料
 - ・均等割額 50,205円 ・所得割率 10.59% ・賦課限度額 62万円
 - 平成30年度は次の2つの見直しが行われる。
 - ア 保険料軽減措置に係る所得判定基準の見直し
世帯主及び世帯に属する被保険者の所得の合計額が次の金額以下の場合、均等割額が次のとおり軽減される。
 - 【現行】 5割軽減 33万円＋（27万円×世帯の被保険者数）
2割軽減 33万円＋（49万円×世帯の被保険者数）
 - 【平成30年度】 5割軽減 33万円＋（27.5万円×世帯の被保険者数）
2割軽減 33万円＋（50万円×世帯の被保険者数）
 - イ 保険料軽減特例の見直し
 - (ア) 所得割額の軽減について
平成29年度まで所得割額の軽減措置があったが、平成30年度以降廃止。
 - (イ) 被用者保険の被扶養者であった被保険者に対する軽減について

高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）第 99 条第 2 項に規定する被用者保険の被扶養者であった者に対する被保険者均等割額について、次のとおり軽減される。

【現 行】 均等割額を 7 割軽減

【平成 30 年度】 均等割額を 5 割軽減

(4) 被保険者の一部負担割合

- 1 割負担（現役並み所得者は 3 割負担）

(5) 制度の運営財源（高齢者負担率の調整有り）

- 公費 5 割（国 4：道 1：市 1）
- 支援金 4 割（国民健康保険、健康保険組合、共済組合など）
- 保険料 1 割（被保険者保険料）

(6) 運営主体

- 北海道後期高齢者医療広域連合（道内全ての市町村で構成）
 - ・被保険者の資格管理や被保険者証等の発行
 - ・保険料の賦課決定
 - ・医療給付に関する事務 など
- 登別市
 - ・資格管理、医療給付に関する申請や各種届出の受付などの窓口業務
 - ・保険料の徴収
 - ・被保険者証等の交付 など

【企業会計】

水道事業会計

水道事業は、地方公営企業法により、地方自治体が経営する企業（地方公営企業）として位置づけられ、その事業に必要な経費は、水道料金収入で賄う独立採算を原則に経営を行っている。

平成 30 年度予算では、経常的な維持管理等に加え、主な事業として、平成 29 年度からの継続事業である幌別浄水場の改修を行うほか、老朽管の改良や道路工事等に伴い配水管の移設、布設を行う。

また、今後予定している登別温泉浄水場の更新に伴い、既存施設の解体を行う。

主な事業内容

区 分	事 業 実 施 内 容
配水管改良事業	φ 50～φ 150mm L=1,340m
配水管移設事業	φ 75～φ 150mm L= 170m
配水管布設事業	φ 50～φ 100mm L= 240m
浄水場改修事業	幌別浄水場 電気設備改修
施設解体事業	既存施設解体
水道メーター購入（新設、修理、破損分）	φ 13～φ 50mm 248 個
水道メーター取替（検満メーター分）	φ 13～φ 50mm 3,302 個

下水道事業会計

下水道事業は、地方公営企業法の財務規定等を適用した地方公営企業として、一般会計との適正な経費負担区分のもと、独立採算を原則に経営を行っている。

本市の下水道事業では、公共下水道事業と個別排水処理施設事業を運営しており、このうち、公共下水道事業においては、公共下水道の整備区域を対象に、汚水管渠や雨水管渠、浄化センターなどの整備や改築更新、維持管理を行っている。

また、個別排水処理施設事業においては、公共下水道の整備区域以外の区域などを対象に、住民要望に基づき、浄化槽の整備、維持管理を行っている。

平成30年度予算においては、公共下水道事業、個別排水処理施設事業それぞれ、年間有収水量及び接続戸数（設置戸数）を次のように見込んだ。

【平成30年度における年間有収水量等の見込み】

区 分	公共下水道事業	個別排水処理施設事業
年間有収水量	3,199,166 m ³	17,540 m ³
接続戸数（設置戸数）	20,507 戸	88 戸

また、主要な建設改良事業としては、公共下水道事業で、常盤町地区の雨水管渠新設工事や既設汚水管渠の改築更新、若山浄化センターの機械設備等の改築更新などを計上するとともに、個別排水処理施設事業で、浄化槽10基の整備費を計上した。

【建設改良事業の内訳】

（単位：千円）

区 分	事 業 費
公共下水道事業	710,866
管渠建設費	505,914
処理場建設費	204,952
個別排水処理施設事業	16,100
個別排水処理施設整備費	16,100
合 計	726,966